



HONDA

Odyssey

オーナーズマニュアル

クイックガイド

安全なドライブ

計器の見かた

各部の操作

オーディオ

運転

メンテナンス

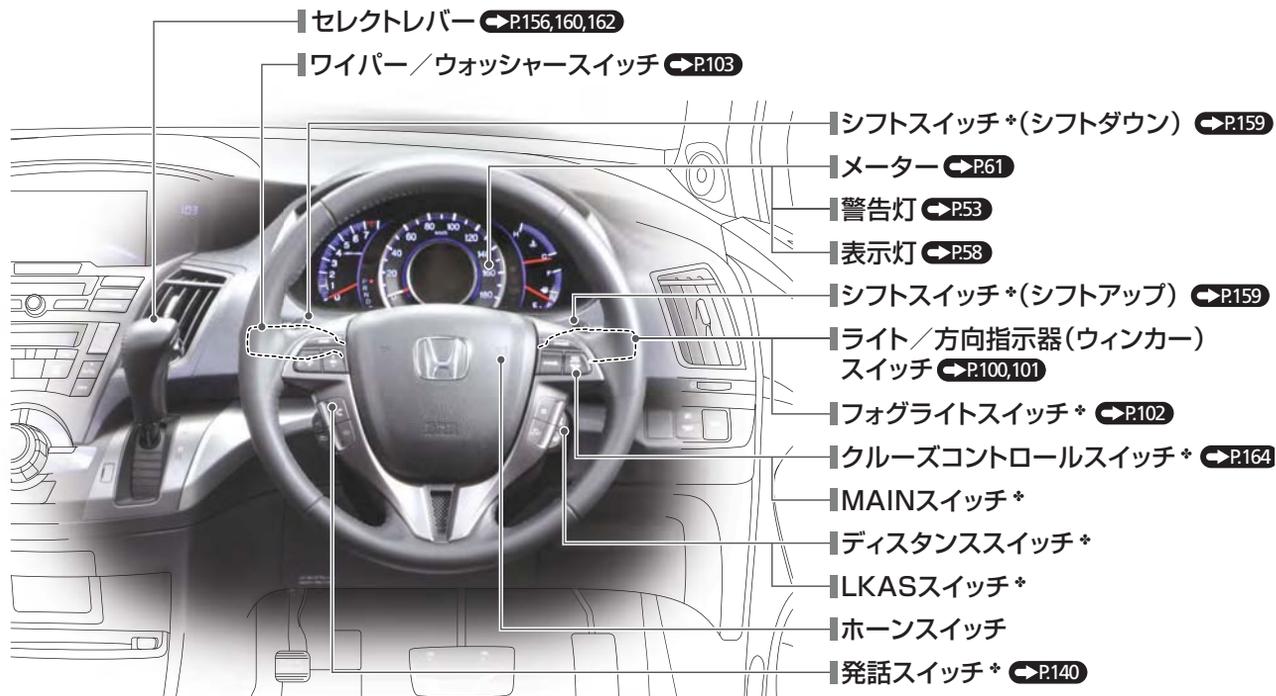
万一の場合には

資料

索引

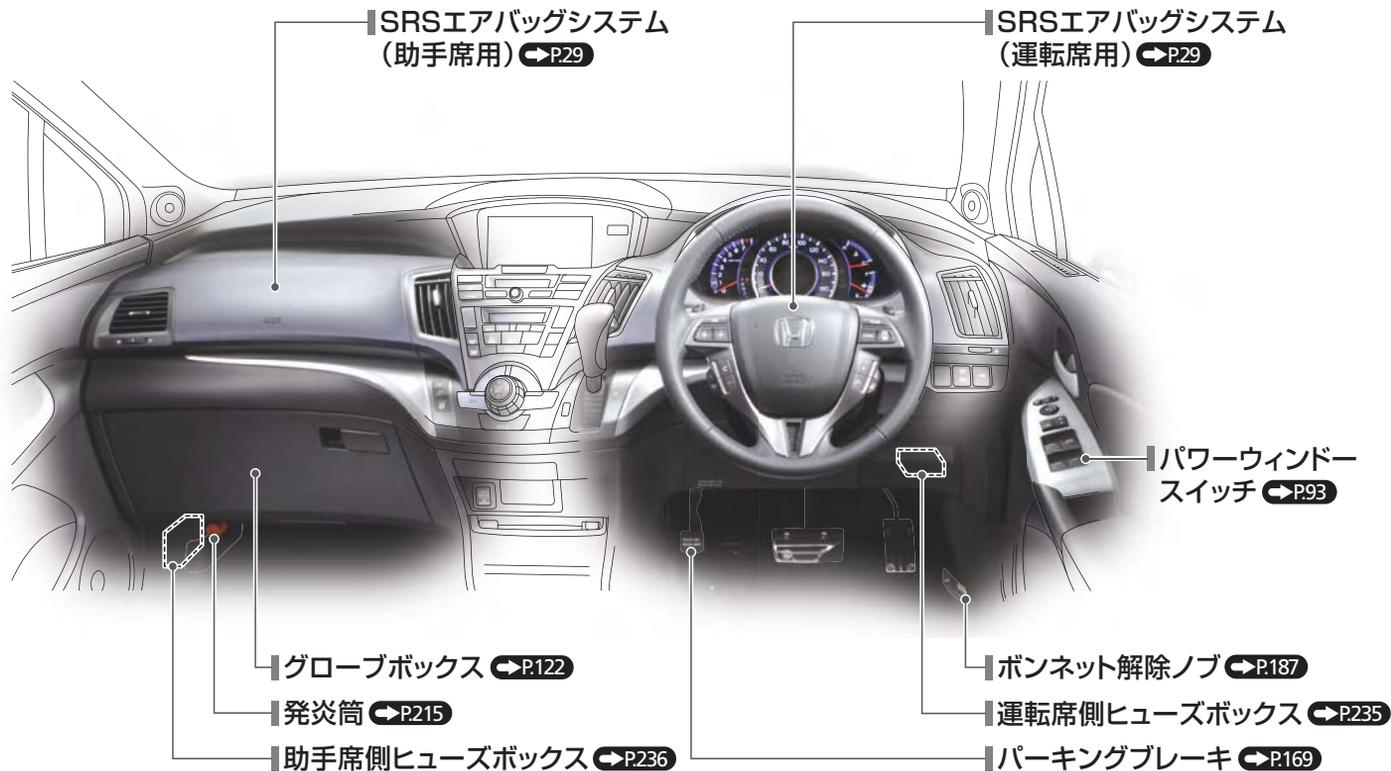
ビジュアル目次

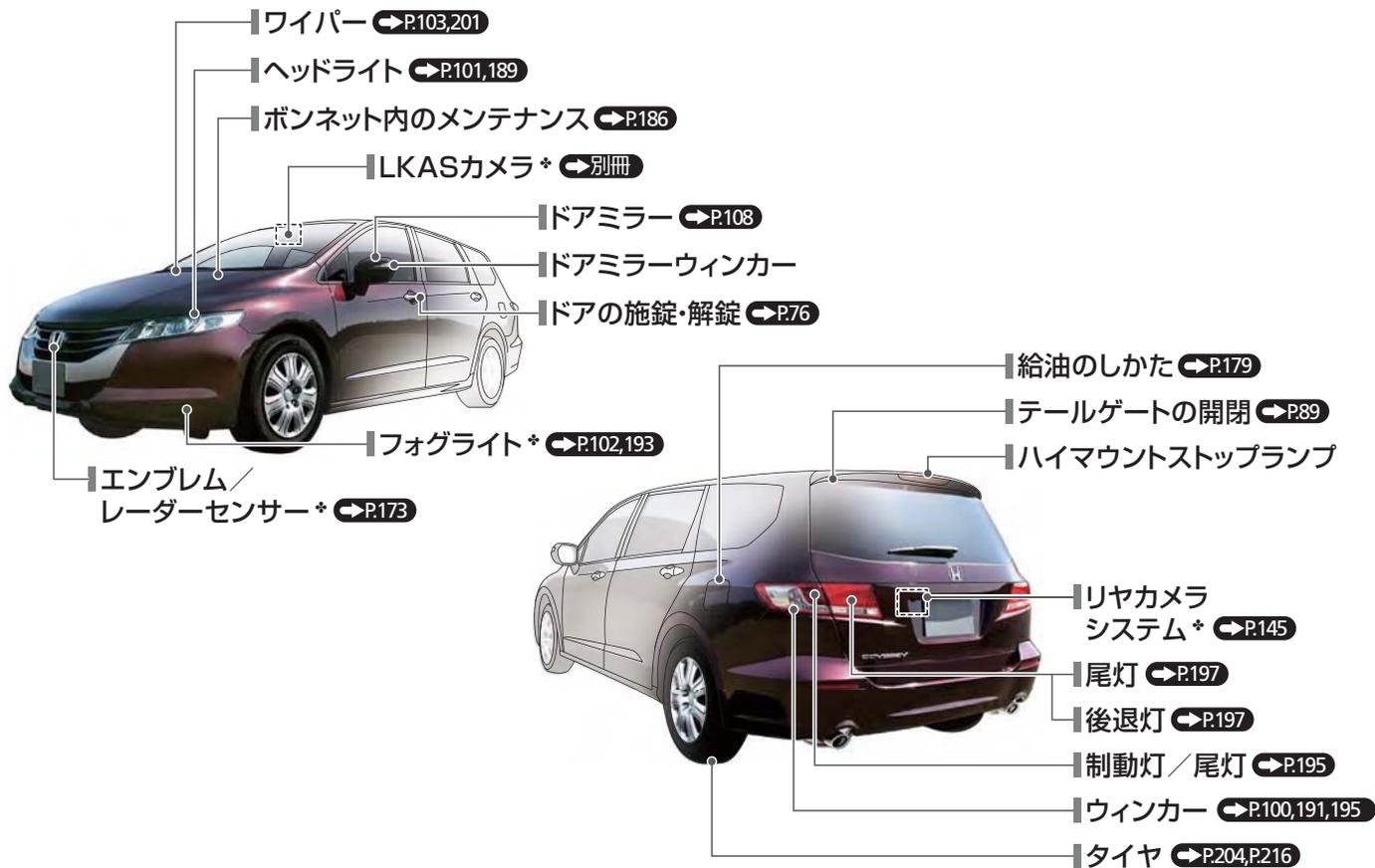




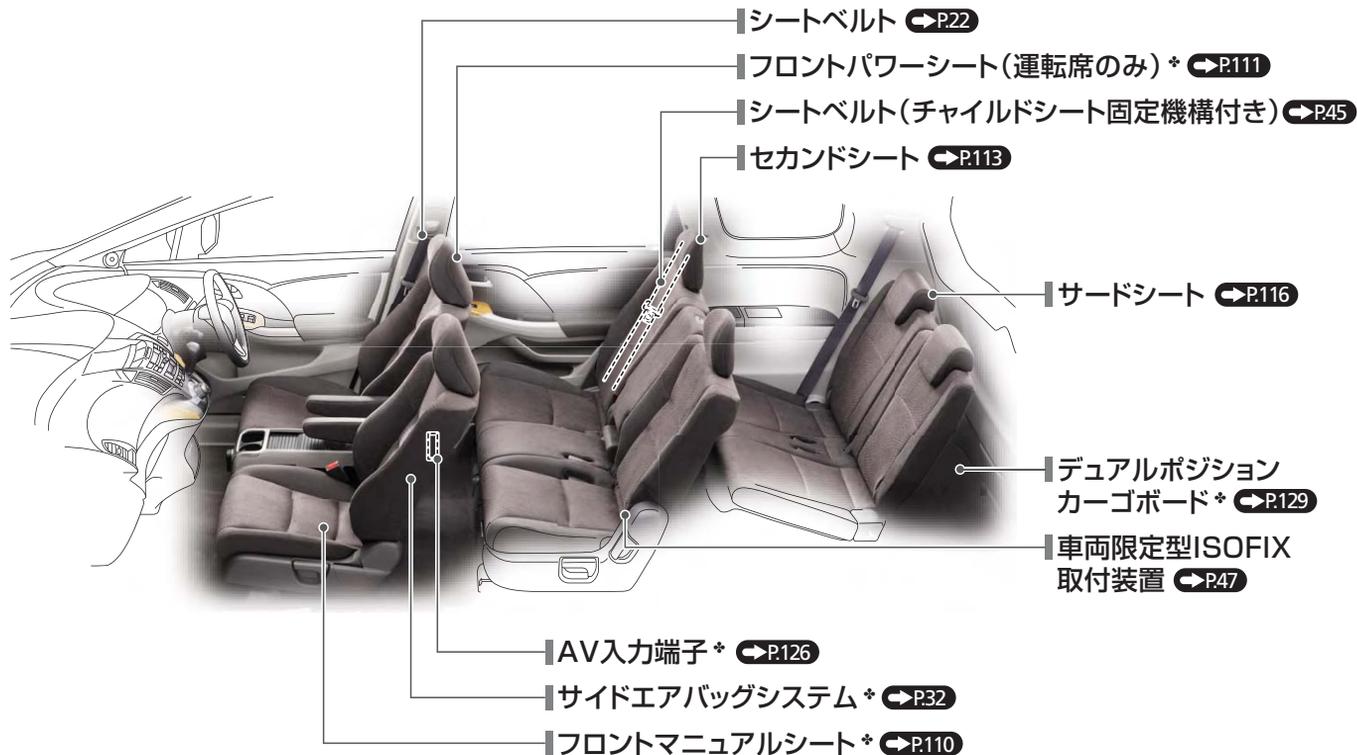
※: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

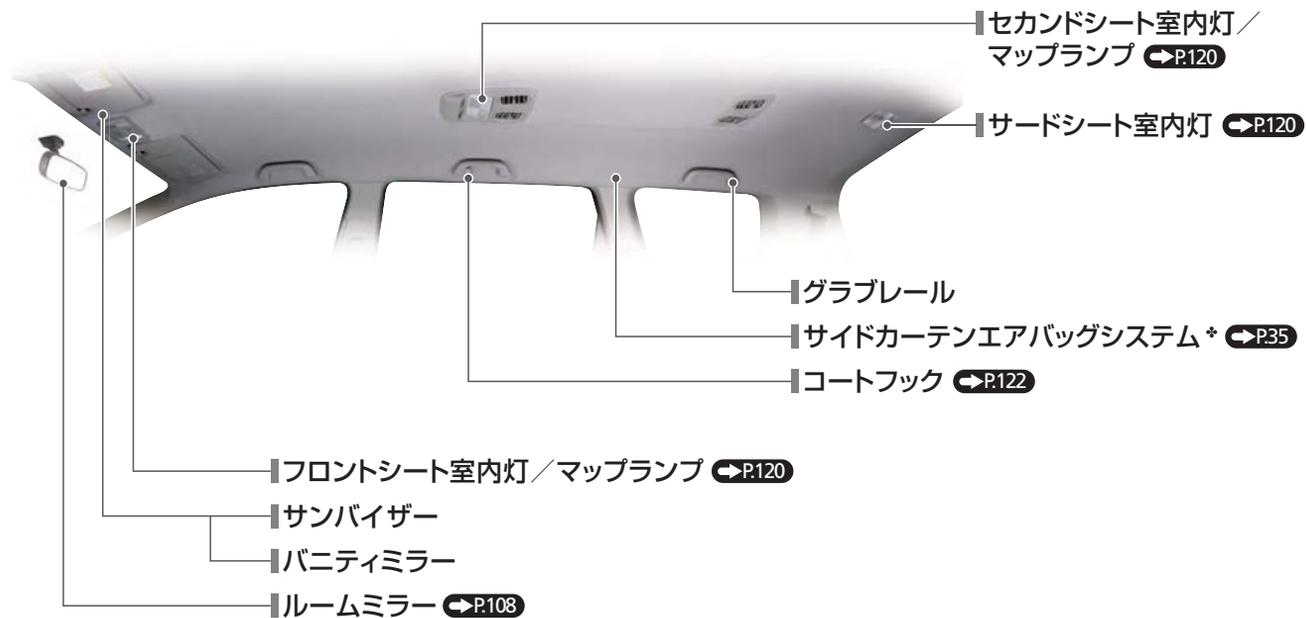
ビジュアル目次





ビジュアル目次





安全なドライブ

➡P.20

運転を始める前の確認

➡P.21

- 運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



- 正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
- 妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

シートベルト

➡P.22

排気ガスについて

➡P.51

- 車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンをかけないでください。

お子さまの安全

➡P.40

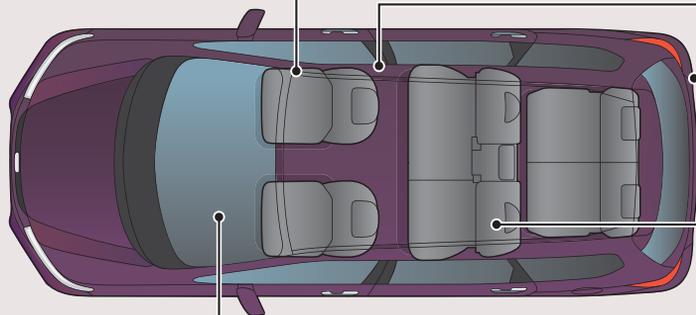
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはセカンドシートまたはサードシートに取り付けてください。



エアバッグ

➡P.29

- 万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。



計器の見かた P.52

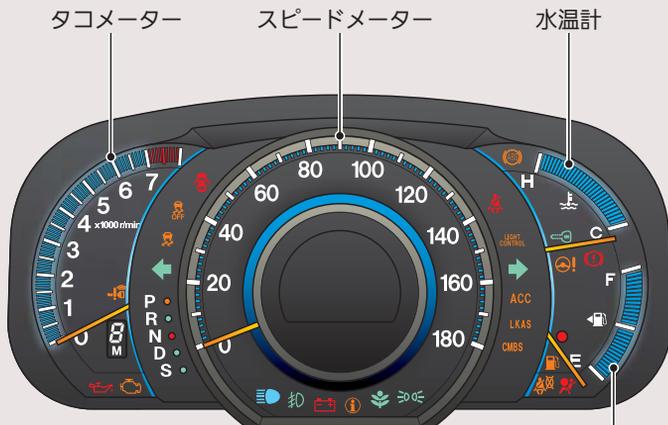
警告灯 P.53

表示灯 P.58

メーター P.61

警告灯／表示灯

-  ドア／テールゲート
開閉警告灯
-  VSA OFF 警告灯
-  VSA 警告灯
-  Honda スマートキー
システム警告灯
-  シフトインジケータ
／ M (シーケンシャル
モード) 表示灯
- P** ● セレクトポジション
表示灯
- R** ● (トランスミッション
警告灯)
- N** ●
- D** ●
- S** ●
-  油圧警告灯
-  PGM-FI 警告灯
-  充電警告灯



ライト表示灯

-  ハイビーム表示灯
-  フォグライト点灯表示灯
-  ライト点灯表示灯

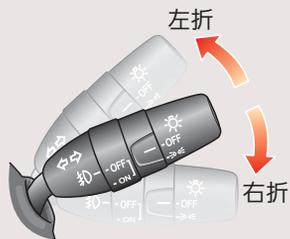
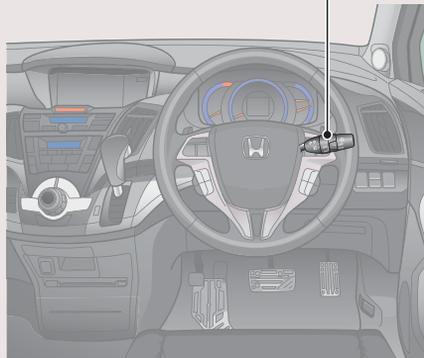
警告灯／表示灯

-  インフォメーション
表示灯
-  方向指示器表示灯
-  ABS 警告灯
-  シートベルト
非着用警告灯
-  イモビライザー
システム表示灯
- LIGHT CONTROL** オートライト
コントロール警告灯
-  ブレーキ警告灯
-  EPS 警告灯
- ACC** ACC 警告灯／表示灯
- LKAS** LKAS 警告灯／表示灯
- セキュリティ
アラームシステム
作動表示灯
- CMBS** CMBS 警告灯
-  燃料残量警告灯
-  エアバッグシステム
警告灯
-  サイドエアバッグ
自動停止表示灯
-  ECON 表示灯

各部の操作 P.74

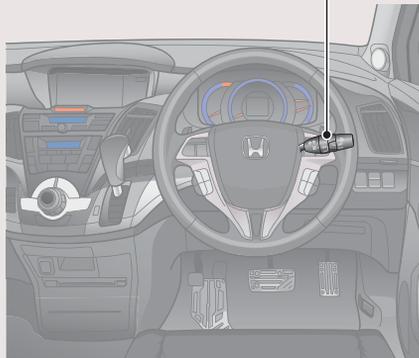
ウィンカー P.100

方向指示器(ウィンカー)スイッチ



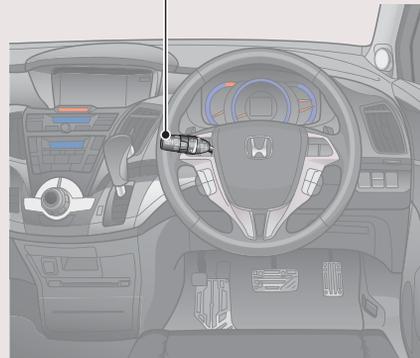
ライト P.101

ライトスイッチ



ワイパー P.103

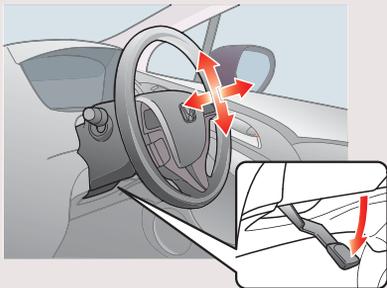
ワイパー/ウォッシャースイッチ



- OFF 停止
- INT 間欠(雨量が少ないとき)
- LO 低速(普通の雨量のとき)
- HI 高速(雨量の多いとき)

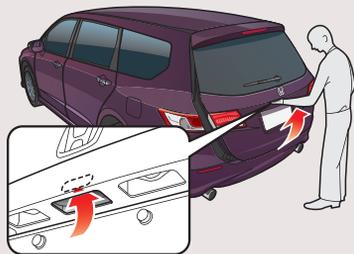
ハンドル位置の調節 ◀P.107

- ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルの位置を調節します。



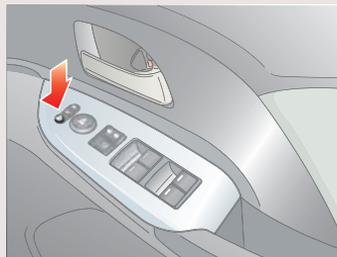
テールゲート ▶P.89

- テールゲートは、テールゲートオープンスイッチを押して開きます。



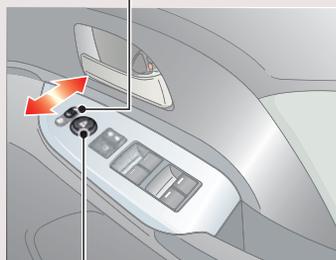
ドアミラー ▶P.108

- エンジンスイッチが II のとき、左右のドアミラーを格納することができます。



- エンジンスイッチが II のとき、ドアミラーの角度を調節できます。

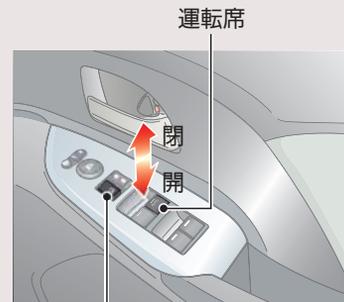
左右切り換えスイッチ



調節スイッチ

パワーウィンドー ▶P.93

- エンジンスイッチが II のとき、ウィンドーの開閉ができます。
- メインスイッチを ON にすると、全てのウィンドーの開閉が行えます。
- メインスイッチを OFF にすると、運転席以外のウィンドーは動かなくなります。



メインスイッチ

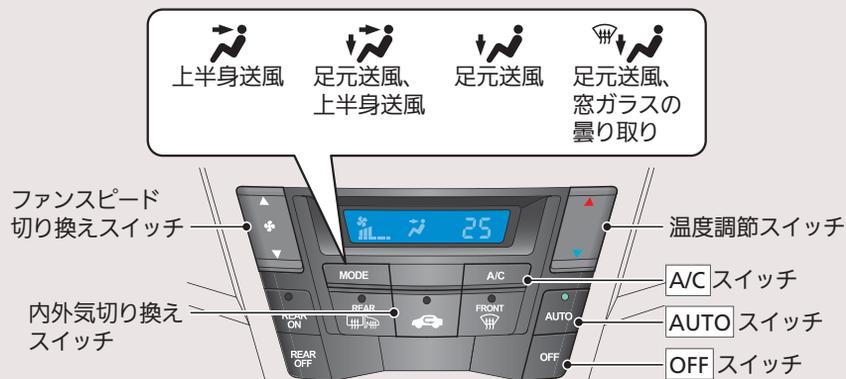
エアコン P.130

- **AUTO** を押すと、オートエアコンが作動します。
- **OFF** を押すと、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、 を押します。

後席用オートエアコン装備車*

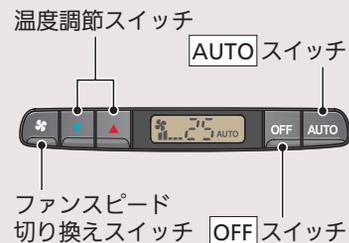


後席用クーラー装備車*



後席用オートエアコン

- **AUTO** を押すと、オートエアコンが作動します。
- **OFF** を押すと、止まります。



後席用クーラー

- ファンスピード切り換えスイッチを押すと、後席用クーラーが作動します。
- 停止するときは をファンが停止するまで繰り返し押します。



運転

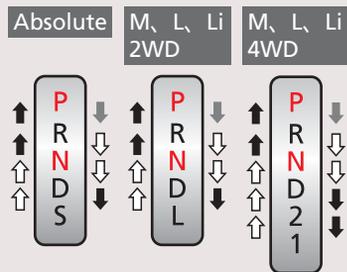
▶P.149

オートマチック車 ▶P.155

- セレクトレバーを **P** に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。
- シークエンシャルモードのときは、手で1～5速の変速が可能です。

セレクトレバー

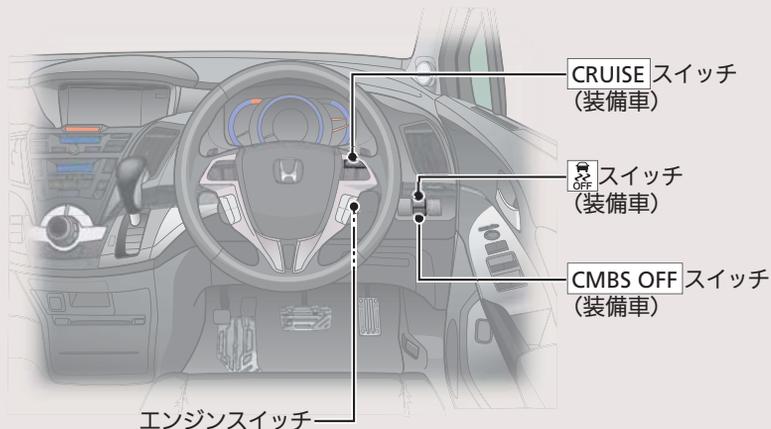
セレクトレバーの操作



- P** **パーキング**
駐車またはエンジンの始動
- R** **リバース**
車を後退
- N** **ニュートラル**
アイドリング状態
- D** **ドライブ**
通常走行

- ↓ ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作
- ↕ ボタンを押さずそのまま操作
- ↕ ボタンを押して操作

Absolute	S	ドライブ(S) ・1速～4速の間で自動変速 (4速は過回転時のみ) ・シークエンシャルモードに するとき
M, L, Li 2WD	L	ロー 強いエンジンブレーキが 必要なとき
M, L, Li 4WD	2	セカンド 2速固定
	1	ロー 1速固定



エンジンスイッチ



Honda
スマートキー
装備車

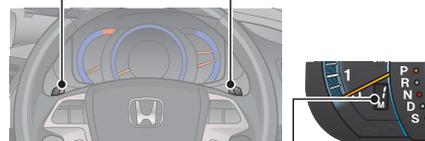
CRUISE スイッチ
(装備車)

スイッチ
(装備車)

CMBS OFF スイッチ
(装備車)

シークエンシャルモード

シフトスイッチ (シフトダウン) シフトスイッチ (シフトアップ)



- シークエンシャルモードを選択すると、メーター内にあるシフトインジケーター / M (シークエンシャルモード) 表示灯にギヤ位置が表示されます。
- ハンドルにあるシフトスイッチを使って手で変速 (1～5速) できます。

CMBS OFF スイッチ *

➡ P.174

- CMBS は、運転者のブレーキ操作を支援し追突の衝撃を軽減する装置です。
- CMBS を停止 (OFF) 状態にするには、**CMBS OFF** を「ピーッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用 (ON) するには **CMBS OFF** を「ピーッ」とブザーが鳴るまで押します。

VSA OFF スイッチ *

➡ P.168

- VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。
- エンジンを始動すると自動的に VSA は ON になります。
- VSA を停止 (OFF) 状態にするには、 を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用 (ON) するには  を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

CRUISE スイッチ *

➡ P.164

- クルーズコントロールは、高速道路などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。
- クルーズコントロールを使用しないときは、安全のために **CRUISE** を押して OFF にしてください。

ガソリンを入れる ➡ P.179

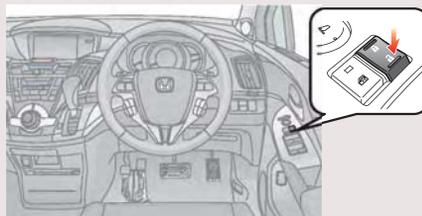
指定燃料：

Absolute 無鉛プレミアムガソリン

M、L、Li 無鉛レギュラーガソリン

タンク容量：60 リットル

- 1 運転席のマスタードアロックスイッチを押して解錠する。



- 2 フューエルリッドの右端を突き当たるまで押して離し、リッドを浮かせる。



- 3 ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。



- 4 キャップをホルダーにかける。



メンテナンス

➡ P.183

ワイパーブレード

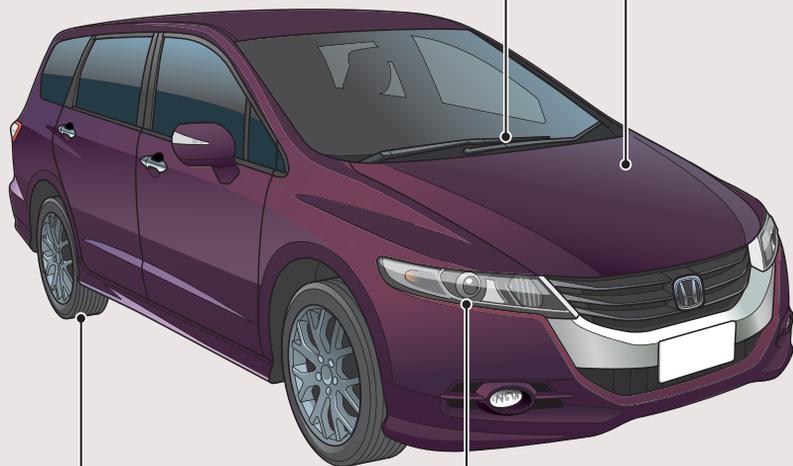
➡ P.201

●拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

ボンネット

➡ P.186,188,230

- 冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
- バッテリーを点検します。



タイヤ

➡ P.204

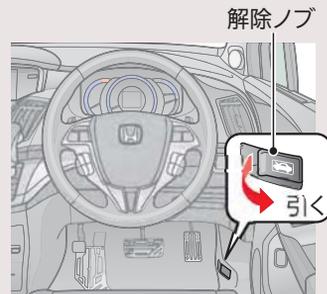
- タイヤ、ホイールを点検します。
- 降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

ライト

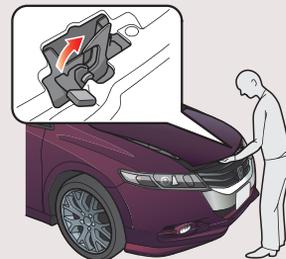
➡ P.189

- ヘッドライト、フォグライト電球*、テールライト電球などの点検または交換を行います。
- 電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
- ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

- 1 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。



- 2 レバーを上げボンネットを開ける。



万一の場合には

➡ P.214

パンクした

➡ P.216

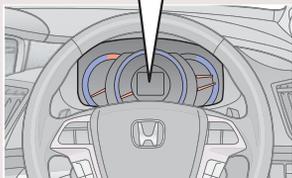
- 安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。



警告灯が点灯した

➡ P.231

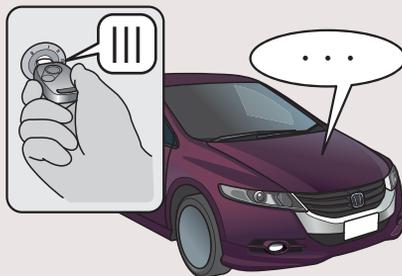
- 詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



エンジンが始動しない

➡ P.225

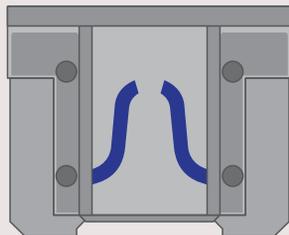
- バッテリーあがり考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



ヒューズが切れた

➡ P.234

- 運転席、助手席の足元とボンネット内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



オーバーヒートした

➡ P.230

- 安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



けん引してもらいたい

➡ P.238

- 必ず専門業者に依頼してください。やむをえず4輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。



こんなときは

Q キーが **0** から **I** に回らない

A

- ・ ハンドルがロックされていませんか？
- ・ ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー^{*}を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



Q キーが **I** から **0** に回らない
(キーが抜けない)

A

- ・ セレクトレバーが **P** 以外の位置になっていませんか？



Q ブレーキペダルを踏んだら
ガタガタと振動した

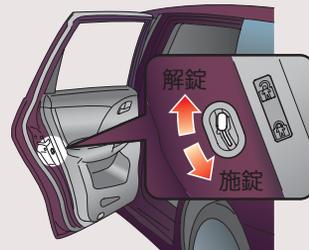
A

- ・ ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

Q 後席ドアが車内から開けられない

A

- ・ チャイルドブローフが施錠の位置になっていませんか？
後席ドアを外から開け、チャイルドブローフのツマミを解錠の位置にしてください。



Q キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている

A ・ キーレスエントリー、Honda スマートキー*で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



Q 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る

A ・ 「ピピピピ」と鳴るときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？
Honda スマートキー*を使用しているときは、エンジンスイッチノブを **0** (プッシュオフ) 以外にしていますか？
・ 「ピー」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？



Q 走行するとブザーが鳴る

A ・ 運転席シートベルトを着用していますか？
・ パーキングブレーキを完全に戻していますか？

Q 走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がる

A ・ ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

Q レギュラーガソリン仕様車にプレミアム (ハイオク) ガソリンを使用しても大丈夫ですか？

A ・ プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

Q プレミアム (ハイオク) ガソリン仕様車にレギュラーガソリンを使用しても大丈夫ですか？

A ・ プレミアムガソリンが入手できないときはレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能を発揮できません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいことや、安全のために守っていただきたいこと。

(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、安全のためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと。

❖: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

衝突によりセンサーが一定以上の衝撃を感知したとき

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 運転席および助手席のシートベルト着用の有無 (E-プリテンショナー装備車)

常時

- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

HondaおよびHondaが委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断やHondaの車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。

なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

HondaおよびHondaが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

安全なドライブ P.20

安全なドライブのために 21 シートベルト 22 エアバッグ 29 お子さまの安全 40
排気ガスの危険性 51

計器の見かた P.52

警告灯と表示灯 53 メーターとインフォメーションディスプレイ 61

各部の操作 P.74

時刻の設定 75 ドアロック 76 テールゲート 89 セキュリティシステム 91
ウィンドー 93 サンルーフ 96 ハンドルまわりのスイッチ 97 ミラー類 108
シート 110 室内灯 / 室内装備品 120 エアコン 130

オーディオ P.143

オーディオ装置 144 リヤカメラシステム 145

運転 P.149

運転の前に 150 運転 152 ブレーキ 169 駐停車 177
給油 179 アクセサリーと改造 182

メンテナンス P.183

メンテナンスの前に 184 ボンネット内 186 電球 189 ワイパー 201
タイヤ 204 キーレスエントリー / Honda スマートキー 208 清掃 211

万ーの場合には P.214

工具、発炎筒 215 バック 216 ジャッキ 223 エンジンが始動しない 225
ジャンプスタート 227 セレクトレパーが動かない 229 オーバーヒート 230
警告灯が点灯 / 点滅した 231 ヒューズ 234 けん引 238
フューエルリッドが解錠できない 241 テールゲートが開かない 242

資料 P.243

仕様 : Absolute 244 仕様 : M/L/Li 245

安全なドライブ P.20

計器の見かた P.52

各部の操作 P.74

オーディオ P.143

運転 P.149

メンテナンス P.183

万ーの場合には P.214

資料 P.243

索引 P.246

安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前に、よくお読みいただき運転者と同乗者の安全を
確保してください。



安全なドライブのために.....	21	お子さまの安全.....	40
シートベルト		乳幼児の安全.....	41
シートベルトについて.....	22	大きなお子さまの安全.....	49
シートベルトの着用.....	24	排気ガスの危険性	
シートベルトの点検.....	28	一酸化炭素について.....	51
エアバッグ			
エアバッグの種類.....	29		
SRSエアバッグ.....	29		
サイドエアバッグ.....	32		
サイドカーテンエアバッグ.....	35		
エアバッグシステム警告灯/表示灯.....	37		
エアバッグのお手入れ.....	39		

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか？
 - ▶ すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
☞**車内での施錠** P.83
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
 - ▶ 正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
☞**フロントシート** P.110
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
 - ▶ ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
☞**フロントシート** P.110
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
 - ▶ 運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
☞**シートベルトの着用** P.24
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
 - ▶ エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
☞**エアバッグ** P.29
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
 - ▶ お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
☞**お子さまの安全** P.40
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを **P** にしているか？
 - ▶ さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
☞**シフト操作** P.156, 160, 162

☞安全のための確認事項

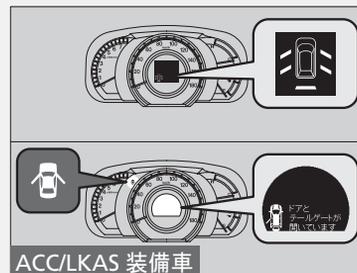
ドア/テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、テールゲートがあります。

ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「ドア/テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。

☞**ドア/テールゲート開閉警告灯**P.57

● **ACC/LKAS** 装備車

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、素早い引き出しや強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

セカンドシート中央席を除く全ての席に三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

■シートベルトについて



警告

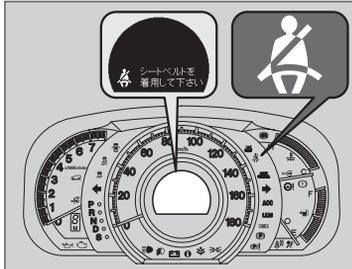
シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。

シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

乗車中は正しい姿勢を保つ。

正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

■ シートベルトリマインダー



エンジンスイッチを II にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

■ シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。

シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。



▶▶ シートベルトリマインダー

知識

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーを R に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

▶▶ シートベルトプリテンショナー

知識

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。

衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動するとエアバッグシステム警告灯が点灯します。

衝突したときは、Honda販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

⚠ 注意

シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。
誤作動や故障の原因となります。

E-プリテンショナー*

前方の車両に追突するおそれがあるときに、CMBS と連動して作動しシートベルトを巻き取ります。電子制御ブレーキアシストとも連動して作動します。作動後は、巻き取ったシートベルトを元の状態に戻します。



シートベルトの着用

■ 三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. シートベルトをゆっくり引き出す。

※ E-プリテンショナー

知識

E-プリテンショナーのみが作動したときは、交換する必要はありません。

VSA警告灯が点灯しているときは、E-プリテンショナーは作動しません。

※ シートベルトの着用

ベルトが肩に十分かかるよう、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

ベルトがくび、あご、顔などに当たる場合は、ショルダーアンカーの高さを調節します。

※ショルダーアンカーの高さ調節 P.25

⚠ 注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

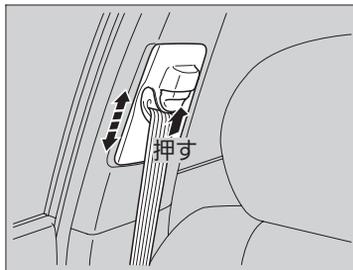


3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶ このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。



4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかると合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

■ ショルダーアンカーの高さ調節



フロントシートのシートベルトは、座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

1. ショルダーアンカーの解除ボタンを押しながら、アンカーを上下に動かす。
2. ちょうどよい高さで解除ボタンを離し、ショルダーアンカーを固定する。

次ページに続く

※ シートベルトの着用

シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。

そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

※ ショルダーアンカーの高さ調節

安全性を高めるため、肩ベルトが肩から胸にかかっていることを確認してください。

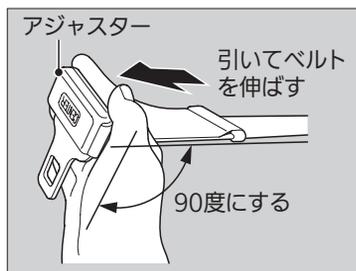
ベルトが首に当たるときは、下げて調節してください。



注意

調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されているか確認する。

■ 二点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. アジャスターとベルトを90度にし、ベルトを引いて伸ばす。
▶ 必要な長さより少し長めにします。



3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶ このとき、ベルトにねじれがないように注意します。



4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかると合わせる。
5. ベルトを引っ張り、腰部に密着させる。

※ 二点式シートベルト

シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。

■ 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



▶▶ 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

⚠ 注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点に注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

※シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。

ベルトが汚れているとスムーズに巻き取れない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチがIIのときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。

エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**：フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ***：フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ***：窓側の天井部両側についてエアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS：サプリメントレストレイントシステム (Supplemental Restraint System)の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードにSRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席のSRS エアバッグが膨らみます。

エアバッグの種類

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。

エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。



警告

エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。

エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。



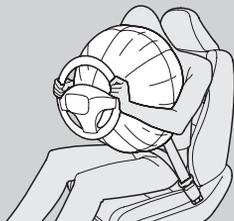
注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。

エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

SRS エアバッグの作動

作動時



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h 以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
 - 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき
- 衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形するもの）に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

※SRSエアバッグの作動

⚠ 警告

インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。

SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。

SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。安全を確認後、ただちに車外に出てください。

エアバッグの作動は、衝突状況とシートベルト着用の有無により異なります。

そのため、運転席または助手席のエアバッグが片側のみ作動することがあります。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小と SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果が無いので作動しません。

- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

▶▶ SRSエアバッグの作動

知識

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

注意

SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いが故障や誤作動の原因となります。

サイドエアバッグ*

フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

格納場所



運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ



サイドエアバッグは、約 30km/h 以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。

車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

■ サイドエアバッグ

サイドエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。

サイドエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドエアバッグが作動します。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。

サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

⚠ 注意

ドアやその周辺にアクセサリなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。

■ 知識

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。

フロントシートへのシートカバー装着にあたってはHonda販売店にご相談ください。

■ 作動条件

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突
- 車高の高い車に側面衝突されたとき

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていしますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

■ サイドエアバッグ

⚠ 注意

**ドアに寄りかからない。
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。
セカンドシート同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。**

サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。

安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

⚠ 注意

サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。

不適切な取り扱いが故障や誤作動の原因となります。

■ サイドエアバッグ自動停止システム

助手席に乗ったお子さまなどを保護する目的で、以下のような状態ではサイドエアバッグ自動停止システムがはたらきます。

- 小さなお子さまや小柄な大人のかたがドアに寄りかかるなどで、サイドエアバッグが膨らむ付近に頭があるようなとき
 - 助手席の同乗者がサイドエアバッグの作動範囲に入ったとき
 - 大人のかたが前かがみになっていたり、寝そべてドアに寄りかかっているとき
- こうした状態になるとセンサーが検知し、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

▶ サイドエアバッグ自動停止表示灯 P.38

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯の点灯

サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯したら、同乗者に体を起こすように指示してください。また、小さなお子さまの場合は、セカンドシートまたはサードシートに乗せてください。

表示灯が消灯すると、サイドエアバッグは自動停止状態を解除し、通常の状態に戻ります。

※ サイドエアバッグ

各センサーにより乗員の姿勢を検知して、サイドエアバッグの作動を制御します。

ドアにもたれるなどしないように注意してください。



知識

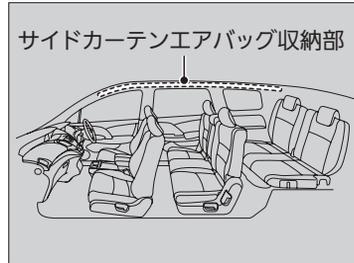
以下のような場合、センサーが正常に作動しないことがあります。

- シートの背もたれがぬれているとき
- 金属など電気を通すものが接しているとき
- シートにクッションなどを置いているとき
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ているとき
- 水分を含んだものを助手席に置いているとき

サイドカーテンエアバッグ*

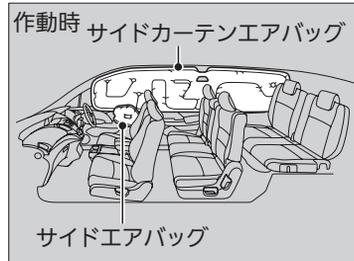
窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

■ 格納場所



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときに、運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

■ 作動条件

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。

☑作動条件 P.33

☑サイドカーテンエアバッグ

サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。

サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。

サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

⚠ 注意

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない
- グラブレールにものをかけない
- コートフックに重いものやとがったものをかけない

正常に作動しなかったり、作動時にこれらものが飛ぶことがあります。

■前方向から衝突したときの作動

前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

※サイドカーテンエアバッグ



注意

サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。

収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda 販売店で交換してください。

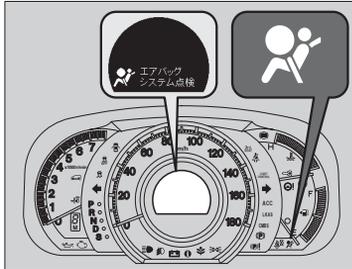
サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。

不適切な取り扱いが故障や誤作動の原因となります。

エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯で知らせます。ACC/LKAS 装備車は、マルチインフォメーションディスプレイにも表示されます。

■ エアバッグシステム警告灯



■ エンジンスイッチを **II** にしたとき

エンジンスイッチを **II** にすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■ 異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるときに点灯します。

▶▶ エアバッグシステム警告灯

アドバイス

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda販売店で点検を受けてください。

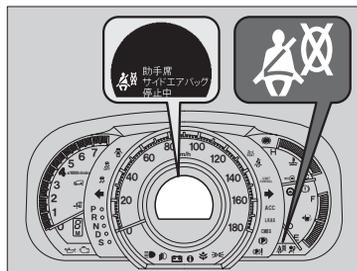
エンジンスイッチを **II** にしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。

エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯*



■ エンジンスイッチを **II** にしたとき

エンジンスイッチを **II** にすると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■ サイドエアバッグ自動停止システムの作動

サイドエアバッグの自動停止システムが作動して、助手席のサイドエアバッグシステムが停止状態になると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

この表示灯が点灯していても、異常ではありません。

☑ サイドエアバッグ自動停止システム P.34

☒ サイドエアバッグ自動停止表示灯

アドバイス

以下の状態で点灯する場合、Honda販売店で点検を受けてください。

- 走行中、助手席に誰も乗っていないとき
 - 正しい乗車姿勢をとっているとき
- エンジンスイッチを **II** にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときも、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

助手席の同乗者が正しい乗車姿勢をとっている状態で、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯する場合は、下記の項目を確認してください。

- シートの背もたれがぬれていないか？
- 金属など電気を通すものが接していないか？
- 水分を含んだものを助手席に置いていないか？

原因となるものを取り除いても、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯している場合はHonda販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。ただし、以下の場合には Honda 販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。

また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

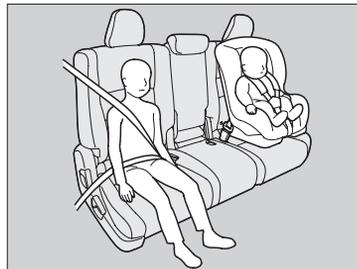
■車に中程度から強度の衝撃が加わったとき

エアバッグが作動していなくても、センサーが正しく作動することを点検する必要があります。

Honda 販売店で点検を受けてください。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはセカンドシートまたはサードシートに乗せる
 - ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
 - ▶ お子さまを抱えていても、衝突したときに支えることができず危険です。
正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
 - ▶ 乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓やサンルーフから手や顔、物を出さない
 - ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが窓やサンルーフから手や顔、物などを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
 - ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
 - ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

❖ お子さまの安全を守るために

お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- サイドエアバッグシステム装備車は、お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

⚠ 警告

チャイルドシートは後席に設置する。
助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

乳幼児の安全

■ 乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■ 後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

セカンドシートやサードシートに設置することができます。

推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

▶▶ 乳児のチャイルドシート

運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、他の席に設置してください。



警告

後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。

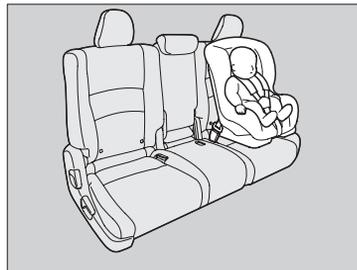
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。

助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

■ 幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■ 前向きチャイルドシートの設置場所

セカンドシートまたはサードシートへの設置を推奨します。

※ 幼児のチャイルドシート



助手席に前向きチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されるとSRSエアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

■ チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは車両限定型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。

シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、セカンドシート外側 2 座席に付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

■ チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の 3 つの条件を満たしている必要があります。

- チャイルドシートは国土交通省が型式指定、認可したマークがついた製品、またはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格した製品であること
- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること

▶▶ チャイルドシートの選びかた

車両限定型ISOFIXチャイルドシートは取り付けが簡単です。

車両限定型ISOFIXチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

知識

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

■ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。

■ 選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重 (kg)	参考身長 (cm)	参考年齢
乳児用シート	～10	～75	～12 か月
幼児用シート	9～18	70～100	9 か月～4 才
ジュニアシート	15～32	100～135	4 才～10 才

■ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のセカンドシート外側 2 座席には、車両限定型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。

■ 選択の目安

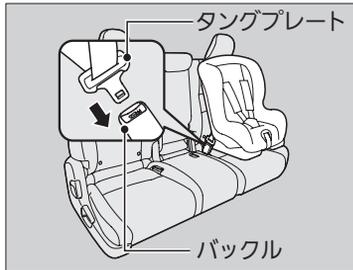
詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重 (kg)	参考身長 (cm)	参考年齢
乳児用シート	～9	～70	～9 か月
幼児用シート	9～18	70～100	9 か月～4 才

※ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

車両限定型 ISOFIX チャイルドシート以外のチャイルドシートを使用するときは、シートの種類や取り付けの向きにより固定金具（ロッキングクリップ）が必要になる場合があります。

■ シートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。
2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タンクプレートをバックルに差し込む。
 - ▶ このとき、バックルがカチリという音がするまできちんと差し込んでください。

※ シートベルトでの取り付け

知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具（ロッキングクリップ）が必要になります。



3. チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。
4. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

■ チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

※ シートベルトでの取り付け



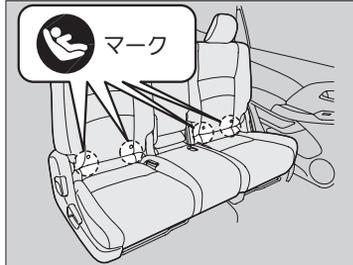
注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

■ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、セカンドシート外側 2 座席に設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。



1. マークの下にあるシートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。



2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。
 - ▶ 取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

▶▶ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

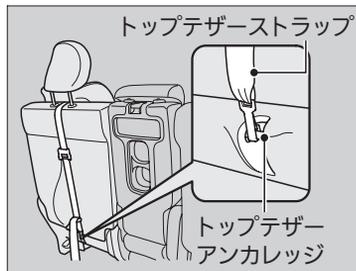
知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

⚠ 注意

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



3. ヘッドレストを持ち上げ、トップテザーストラップをヘッドレストの下に通す。
▶ このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。
4. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っ掛け、ストラップを締める。
5. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

※車両限定型ISO FIXチャイルドシートの取り付け

注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

大きなお子さまの安全

■ シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、セカンドシートまたはサードシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■ 確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

▶▶ 大きなお子さまの安全



警告

お子さまは助手席に乗せない。

お子さまを助手席に乗せると、SRSエアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。

やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

■ ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをセカンドシートまたはサードシートに設置して使用してください。

安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

■ やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアーにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

※ ジュニアシートについて

知識

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。

以下の場合、排気ガスのもれがないか Honda 販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

※一酸化炭素について



警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。

一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。

密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。

周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。

ガレージのドアを閉めたままエンジンをかけないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンをかけるようにしてください。

計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、メーター類に関する情報を記載しています。



表示灯と警告灯	
警告灯.....	53
表示灯.....	58
メーターと	
インフォメーションディスプレイ	
メーター.....	61
インフォメーションディスプレイ.....	62
マルチインフォメーションディスプレイ.....	65

警告灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	ブレーキ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯（パーキングブレーキをかけているときは点灯） ブレーキフルード量が低下したときに点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ☑ ブレーキ警告灯が点灯した P.232 	  
	油圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中に点灯 = ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。 ☑ 油圧警告灯が点灯した P.231 	
	PGM-FI 警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯 エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中に点灯 = 高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 走行中に点滅 = 枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるのをお待ちください。 ☑ PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した P.232 	

※メッセージは ACC/LKAS 装備車のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	充電警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 バッテリーが充電されていないと点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中に点灯 = 電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。 ☒ 充電警告灯が点灯した P.231 	
	トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯)	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 トランスミッションが異常のときに点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 	
	シートベルト非着用警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 運転者がシートベルトをしないと点灯 エンジンスイッチを II にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅 	<ul style="list-style-type: none"> シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 ☒ シートベルトリマインダー P.23 	
	Honda スマートキーシステム警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 <ul style="list-style-type: none"> • 運転中に点灯した • エンジン始動後も消灯しない • エンジンスイッチが 0 のときに数秒間点灯した 	

※メッセージは ACC/LKAS 装備車 のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	燃料残量警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 燃料の残量が少なくなると点灯 燃料計に異常があるときは点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したら早めに給油してください。 点滅したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 	 
ACC	ACC (アダプティブクルーズコントロール) 警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 ACC (アダプティブクルーズコントロール) システムが異常のときに、オレンジ色で点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細については、別冊の「ACC/LKAS」取扱説明書をご覧ください。 	
LKAS	LKAS (レーンキープアシストシステム) 警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 LKAS (レーンキープアシストシステム) が異常のときに、オレンジ色で点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細については、別冊の「ACC/LKAS」取扱説明書をご覧ください。 	

※メッセージは **ACC/LKAS 装備車** のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	ABS (アンチロックブレーキシステム) 警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 ABS が異常のときに点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ☑ ABS (アンチロックブレーキシステム) P.171 	
	エアバッグシステム警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 下記のとき点灯 <ul style="list-style-type: none"> エアバッグシステムの異常 プリテンショナーシステムの異常 	<ul style="list-style-type: none"> 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 	
	VSA (ビークルスタビリティアシスト) 警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 VSA システムが異常のときに点灯 VSA が作動しているときは点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ☑ VSA (ビークルスタビリティアシスト) P.167 	

※メッセージは ACC/LKAS 装備車のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	VSA OFF 警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 VSA を OFF にすると点灯 	<p>■ VSA (ビークルスタビリティアシスト) P.167</p>	—
CMBS	CMBS 警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 CMBS を OFF にしているとき点灯 CMBS に異常があるとき点灯 	<ul style="list-style-type: none"> OFF にしていないのに点灯する場合は、いくつかの理由が考えられます。 ■ CMBS (追突軽減ブレーキ) P.173 	
LIGHT CONTROL	オートライトコントロール警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> オートライトコントロールシステムが異常のとき点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 運転中に点灯した場合は、ライトの点灯、消灯は手動で行い、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 	
	ドア/テールゲート開閉警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ドア、テールゲートが閉まっているときは、エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 ドア、テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯 	<ul style="list-style-type: none"> ドア、テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。 	
	EPS(エレクトリックパワーステアリング)警告灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 EPS (エレクトリックパワーステアリング) システムの機能に異常があると点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ■ EPS 警告灯が点灯した P.233 	

※メッセージは ACC/LKAS 装備車のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	方向指示器表示灯	<ul style="list-style-type: none"> 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 点滅しない / 点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。  電球の交換 P.191, 195 	—
	ハイビーム表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドライトを上向きにしたときに点灯 	—	—
	ライト点灯表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ライトスイッチが OFF 以外のときに点灯 (AUTO のときは車幅灯点灯時に点灯) 	<ul style="list-style-type: none"> ライトを点灯したままキーを抜く / プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。 	—
	フォグライト点灯表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> フォグライトを点灯させると点灯 	—	—
	サイドエアバッグ自動停止表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを  にすると数秒点灯したあと、消灯 助手席のサイドエアバッグシステムのセンサーが作動し、サイドエアバッグシステムが自動的に停止したときに点灯 	<ul style="list-style-type: none"> 一瞬の点灯は異常ではありません。 点灯したときは、上体を起こしてすわってください。小さいお子さまが助手席に乗っているときは、セカンドシートに乗せてください。 助手席に誰も乗っていないのに走行中点灯するときは、Honda 販売店で点検を受けてください。 	

※メッセージは ACC/LKAS 装備車 のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	インフォメーション表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> 異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。このとき同時に警告音も鳴り、点灯 	<ul style="list-style-type: none"> メッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。 メッセージは、警告が解除されるか、インフォメーション (i) スイッチを押すまで通常表示に戻りません。 点灯しているときにインフォメーション (i) スイッチを押すと、メッセージを再表示させる事ができます。 	—
	イモビライザーシステム表示灯	<ul style="list-style-type: none"> エンジンスイッチを II にすると一瞬点灯し、すぐに消灯 イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅 	<ul style="list-style-type: none"> 一瞬の点灯は異常ではありません。 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。エンジンスイッチをいったん 0 へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み II にしてください。Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ) にしてから、もう一度 II にしてください。 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので Honda 販売店で点検を受けてください。 エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。 	—

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ ACC/LKAS 装備車
	セキュリティアラームシステム作動表示灯	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ セキュリティアラームシステム P.91 	—
	クルーズメイン表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> クルーズスイッチを押して、クルーズコントロールを ON にすると点灯 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ クルーズコントロール P.164 	—
	クルーズコントロール表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> クルーズコントロールで自動定速走行しているときに点灯 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ クルーズコントロール P.164 	—
ACC	ACC (アダプティブクルーズコントロール) 表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> MAIN スイッチを押して、ACC を ON にするとグリーンで点灯 	<ul style="list-style-type: none"> • 詳細については、別冊の「ACC/LKAS」取扱説明書をご覧ください。 	—
LKAS	LKAS (レーンキープアシストシステム) 表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> MAIN スイッチを押して、LKAS を ON にするとグリーンで点灯 	<ul style="list-style-type: none"> • 詳細については、別冊の「ACC/LKAS」取扱説明書をご覧ください。 	—
	ECON 表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> ECON スイッチを押して、ECON を ON にすると点灯 	—	

※メッセージは ACC/LKAS 装備車 のマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

メーターとインフォメーションディスプレイ

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計、水温計などの種類があります。

■ スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

■ 燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。

エンジンスイッチが **II** のとき表示されます。

燃料計が「E」に近づいたら、早めに給油してください。燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

■ 水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。通常は **H** のマークにまで上がらない状態で走行します。

エンジンスイッチが **II** のとき表示されます。

■ タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

■ ウェルカムメーター照明

運転席ドアを開けると、メーターが点灯します。

次の場合、メーターの照明は消灯します。

- 運転席ドアを開けてから、何もせずに 3 分経過したとき
- 運転席ドアを閉めてから、何もせずに 30 秒経過したとき
- エンジンスイッチにキーを差し込んだまま、約 10 秒経過したとき
- エンジンスイッチを **II** から **I** または **0** にしてから、約 10 秒経過したとき

※ 燃料計

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

※ 水温計

アドバイス

水温計が **H** のマークを示した場合、オーバーヒートのおそれがあります。

ただちに安全な場所に停めて、エンジンを冷やしてください。

❗ **オーバーヒートしたとき** P.230

※ タコメーター

エンジンの限界回転数は、下表の通りです。

タイプ	限界回転数
M、L、Li (2WD車)	6,200rpm
M、L、Li (4WD車)	6,500rpm
Absolute	7,100rpm

アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上 (レッドゾーン) に入らないよう運転してください。特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

セレクトレバーが **R** のときや、空ぶかしをしたときにエンジン回転数が下記の回転数になると、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

	R のとき	空ぶかし時
5速オートマチック車	—	4,600rpm
CVT車	3,500rpm	4,000rpm

インフォメーションディスプレイ*

インフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示などが表示されます。

■ 表示の切り換えかた

TRIP/RESET を押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



■ オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。
トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、**TRIP/RESET** を押し続けてください。
トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

■ 外気温表示

外気温を測定し表示します。

■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、 $\pm 3^{\circ}\text{C}$ の範囲で補正することができます。

補正するには、**TRIP/RESET** を押し続け、設定したい補正值が表示されたら **TRIP/RESET** を離します。

▶▶ トリップメーター

知識

トリップ A とトリップ B は、**TRIP/RESET** で切り換えられます。

トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります

▶▶ 外気温表示

知識

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。

また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

■ 瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

■ 平均燃費表示 (AVG)

トリップメーター A、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

■ 航続可能距離表示 (RANGE)

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

※ 平均燃費表示 (AVG)

知識

表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。

※ 航続可能距離表示 (RANGE)

知識

表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

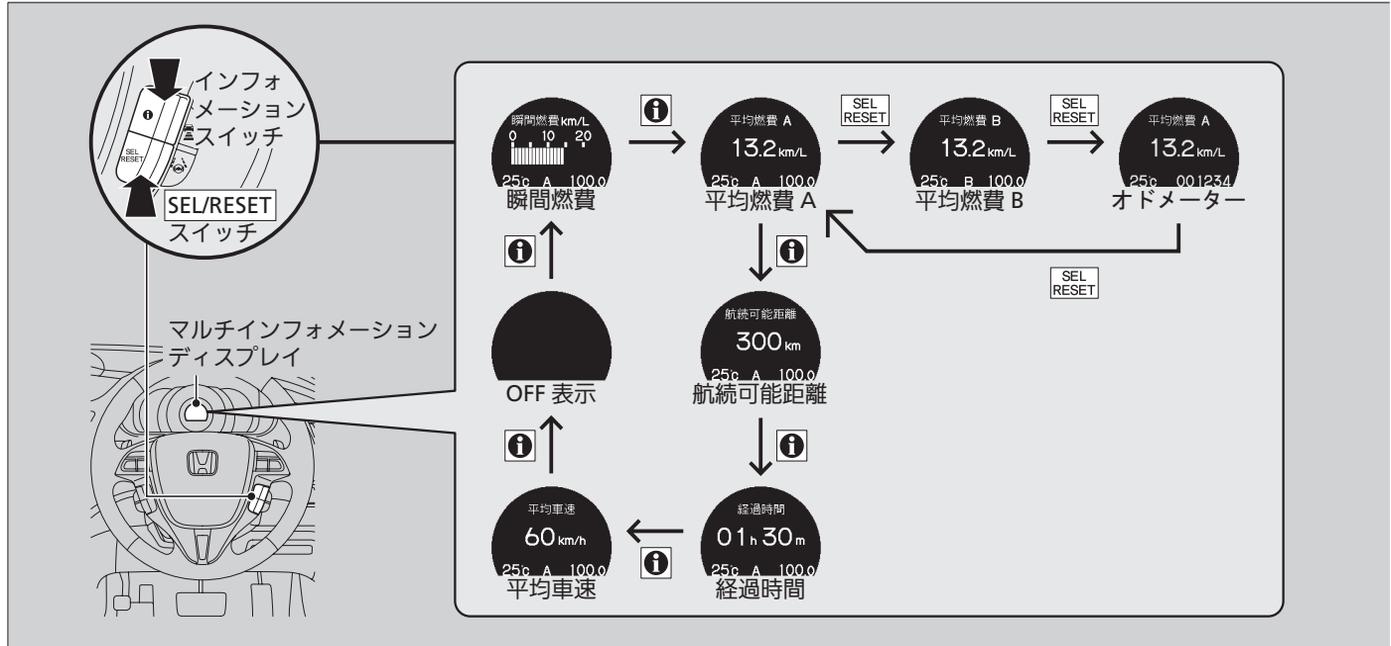
マルチインフォメーションディスプレイ*

マルチインフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示、燃費情報などが表示されます。

また、異常を検知すると警告メッセージが表示されます。

表示の切り換えかた

インフォメーション (i) スイッチまたは **SEL/RESET** を押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



■ オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。

トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、**SEL/RESET** を押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

■ 外気温表示

外気温を測定し表示します。

■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、± 3℃ の範囲で補正することができます。

補正するには、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ機能を使用します。

▶ カスタマイズ機能 P.68

▶ トリップメーター

知識

トリップ A とトリップ B は、**SEL/RESET** または **TRIP/RESET** で切り換えられます。

トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります。

▶ 外気温表示

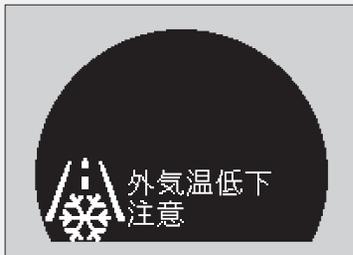
知識

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。

また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

走行中に外気温が下がってきて 3℃ 以下になったとき、マルチインフォメーションディスプレイに下記の表示が出ます。また、エンジンスイッチを **II** にしたとき、すでに外気温が 3℃ 以下の場合は、外気温表示が点滅します。



外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

■ 瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

■ 平均燃費表示

トリップメーター A、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

■ 航続可能距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

■ 経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

■ 平均車速表示

トリップメーター A をリセットしてからの平均車速を km/h で表示します。

▶▶ 平均燃費表示

【知識】

表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。

トリップメーターAと平均燃費Aを給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

▶カスタマイズ機能 P.68

▶▶ 航続可能距離表示

【知識】

表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

▶▶ 経過時間表示

【知識】

経過時間表示は99時間59分まで表示できません。

経過時間のリセット条件を変更することができます。

▶カスタマイズ機能 P.68

■ カスタマイズ機能

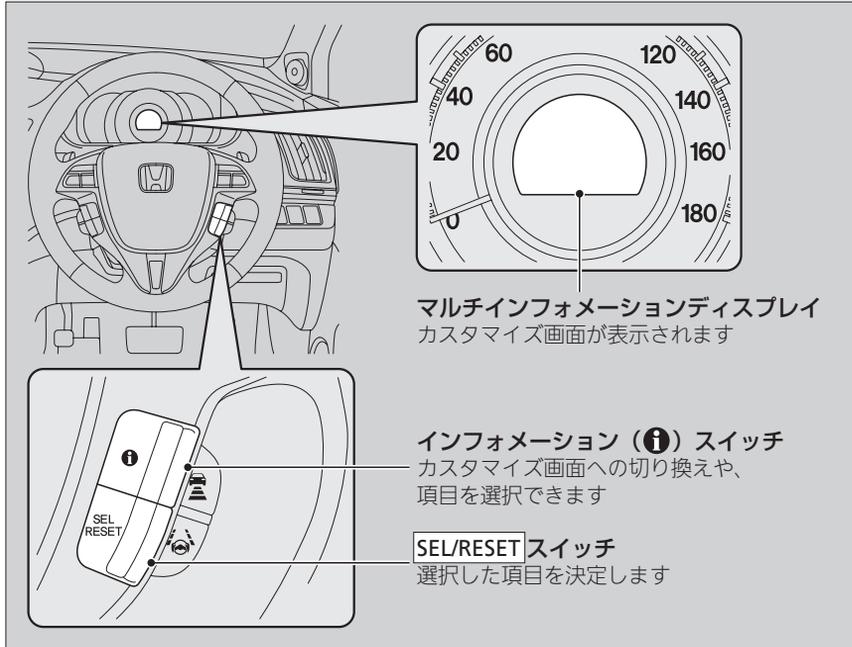
マルチインフォメーションディスプレイを使って、下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ（設定変更）することができます。

カスタマイズ機能		選択できる設定内容
CMBS 設定	CMBS 警報タイミング	NEAR [※] 、FAR
ACC 設定	先行車検知音	有り [※] 、無し
メーター設定	外気温表示補正	-3℃ ~ ± 0℃ [※] ~ +3℃
	トリップ A の給油連動リセット	ON、OFF [※]
	経過時間のリセット条件切り換え	IGN OFF [※] 、トリップ A、トリップ B
Honda スマートキーシステム設定	アンサーバックブザー音量	大 [※] 、小
	ドアハンドル操作アンサーバックブザー	作動 [※] 、非作動
ライティング設定	インテリアライト点灯時間	60 秒、30 秒 [※] 、15 秒
	オートライト感度	MAX、HIGH、MID [※] 、LOW、MIN
ドア設定	自動ドアロック連動機能	非連動、車速連動 [※] 、シフト連動
	自動ドアアンロック連動機能	非連動、シフト連動 [※] 、IGN OFF 連動
	キーレスアンサーバック	作動 [※] 、非作動
	キーレスリロック時間	90 秒、60 秒、30 秒 [※]
	セキュリティ機能	作動 [※] 、非作動

※：工場出荷時の設定

■ カスタマイズのしかた

エンジンスイッチが **II** でセレクトレバーが **P** のときに、インフォメーション **(i)** スイッチを数秒間押し続けるとカスタマイズを行なうことのできる「カスタマイズエントリー」画面に切り換わります。



▶▶ カスタマイズのしかた

インフォメーション **(i)** スイッチを数秒間押し続けると、最初に「CMBS設定」機能のカスタマイズメニューが表示されます。



その他の機能をカスタマイズするには、続けてインフォメーション **(i)** スイッチを押して表示される「カスタマイズ設定」を選択してください。

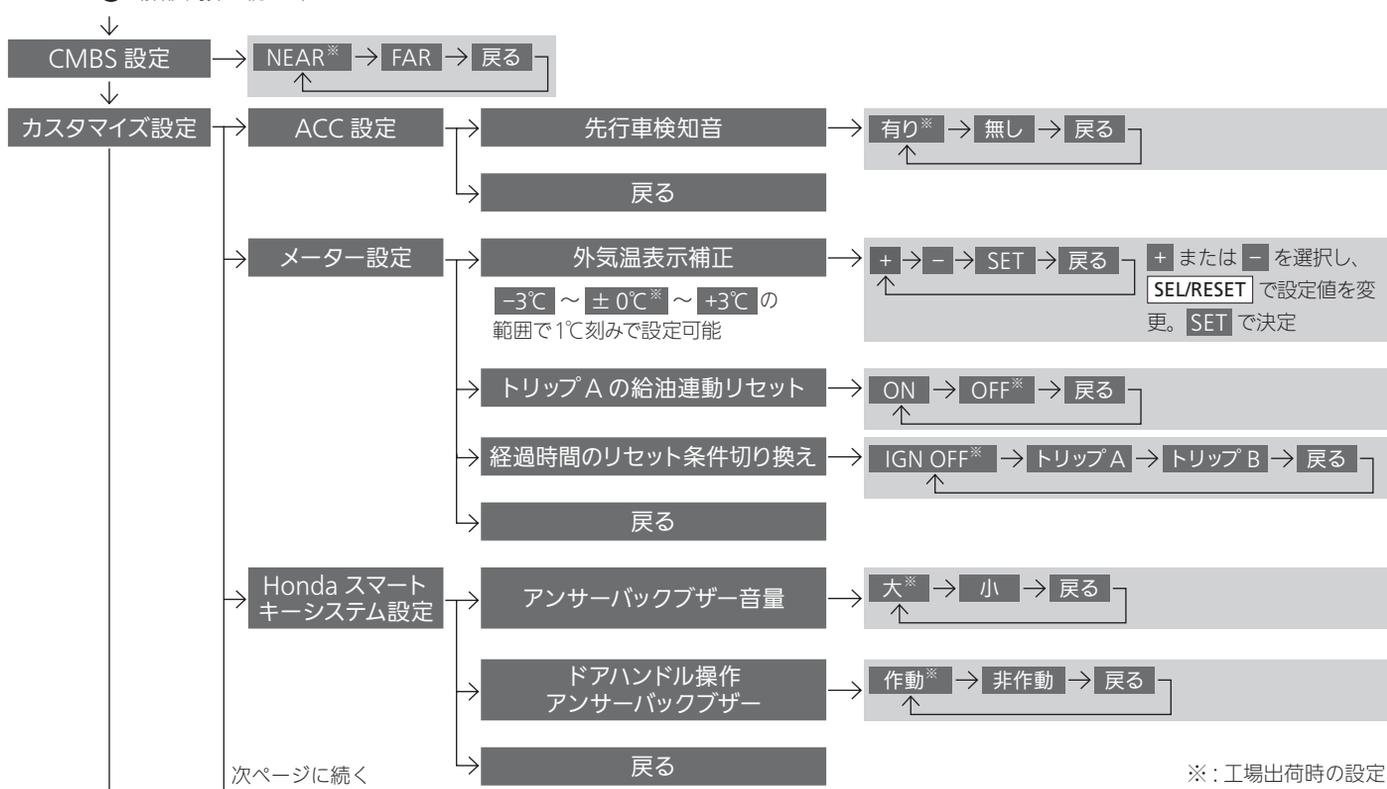
▶▶ カスタマイズ操作一覧 P.70

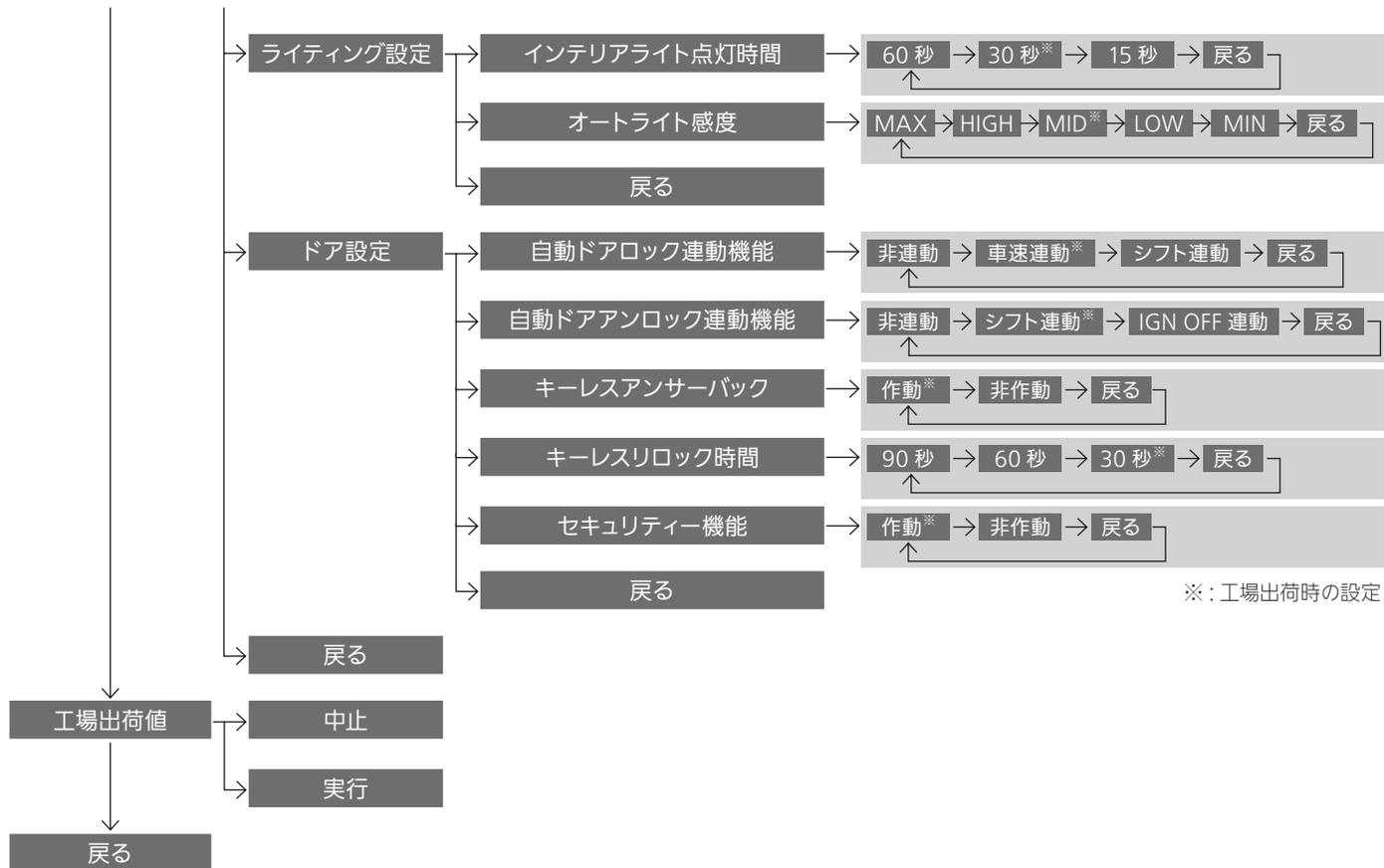
▶▶ カスタマイズ設定の例 P.72

■ カスタマイズ操作一覧

インフォメーション (i) スイッチでメニューを切り換え、**SEL/RESET** で決定します。

(i) (数秒間押し続ける)





■ カスタマイズ設定の例

例えば「トリップ A の給油連動リセット」を「ON」にする場合、下記の手順で設定します。

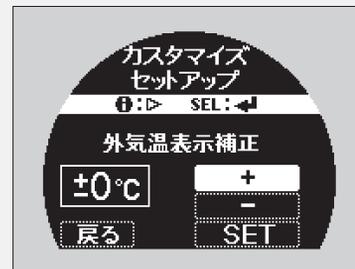
「トリップ A の給油連動リセット」は工場出荷時の設定では「OFF」になっています。



1. インフォメーション (i) スイッチを数秒間押し続ける。
▶ 「カスタマイズエントリー」画面に切り換わり、「CMBS 設定」が表示されます。
2. インフォメーション (i) スイッチを押し、「カスタマイズ設定」が表示されたら、**SEL/RESET** を押す。
▶ 「カスタマイズグループ」画面に切り換わり、最初に「ACC 設定」が表示されます。
3. インフォメーション (i) スイッチを押し、「メーター設定」が表示されたら、**SEL/RESET** を押す。
▶ 「カスタマイズメニュー」画面に切り換わり、最初に「外気温表示補正」が表示されます。

※ カスタマイズのしかた

「外気温表示補正」のカスタマイズのみ、「カスタマイズセットアップ」画面での操作が他の機能と異なります。



表示されている補正温度（工場出荷時は $\pm 0^{\circ}\text{C}$ ）より高めに設定したい場合は、インフォメーション (i) スイッチで「+」を選択し、**SEL/RESET** を押して 1°C ずつ補正温度を上げます。希望の温度になったらインフォメーション (i) スイッチで「SET」を選択し、**SEL/RESET** を押して設定を完了します。



4. インフォメーション (i) スイッチを押し、「トリップAの給油連動リセット」が表示されたら、**SEL/RESET**を押す。

▶ 「カスタマイズセットアップ」画面に切り換わり、「ON」、「OFF」、「戻る」が選択できます。



5. 「ON」が選択されていることを確認し、**SEL/RESET**を押す。

▶ 「ONに設定しました」という画面が表示された後、「カスタマイズメニュー」画面に戻ります。



6. インフォメーション (i) スイッチを押し、「戻る」が表示されたら、**SEL/RESET**を押す。
7. 手順6の操作を通常画面に戻るまで繰り返す。

※ カスタマイズのしかた

知識

「ON」、「OFF」、「戻る」の切り換えにはインフォメーション (i) スイッチを使用します。

カスタマイズ操作の途中で以下の操作を行うと、設定は変更されず元の設定のままとなります。

- エンジンスイッチを **I** または **0** にする
- セレクトレバーを **P** 以外にする

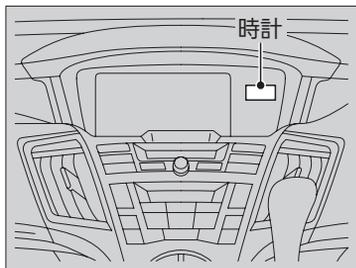
各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。

時刻の設定	75	ハンドルまわりのスイッチ操作		シートの調節	110
ドアの施錠と解錠		エンジンスイッチ	97	ヘッドレスト	118
キーの種類と機能	76	Hondaスマートキー装備車の エンジンスイッチ	98	アームレスト	119
車外でのドアの施錠/解錠	79	方向指示器(ウィンカースイッチ)	100	室内灯/室内装備品	120
車内での施錠/解錠	83	ライトスイッチ	101	エアコン	
チャイルドプルーフ	84	フォグライトスイッチ	102	エアコンの吹き出し口	130
オートドアロック/オートドアアンロック	85	ワイパー/ウォッシャー	103	エアクリンフィルター	131
テールゲートの開閉		イルミネーションコントロールスイッチ	105	オートエアコンの使いかた	132
テールゲート開閉時の注意	89	リヤデフロスタースイッチ	106	後席用オートエアコン	136
セキュリティシステム		フロントガラス熱線スイッチ	106	後席用クーラー	138
イモビライザーシステム	91	ECONスイッチ	107	音声でエアコンを調節する	140
セキュリティアラームシステム	91	ハンドルの調節	107	エアコンのお手入れ	141
ウィンドーの開閉	93	ミラー類の調節	108		
サンルーフの開閉	96				

Honda インターナビシステム装備車

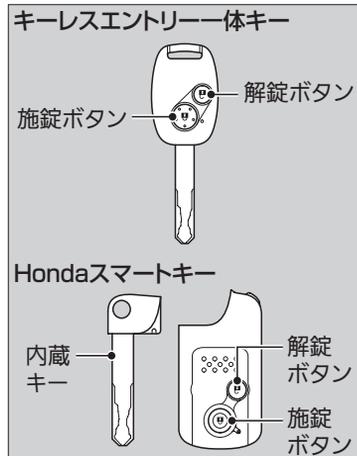
時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。



キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。

■ キーレスエントリー一体キー*/Honda スマートキー*



エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠・解錠に使用できます。

また、キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠・解錠の操作ができます。

※ キーの種類と機能

すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

▶イモビライザーシステム P.91

アドバイス

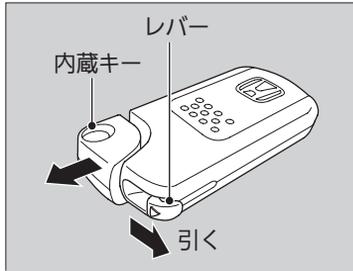
キーには、精密な電子部品が組み込まれていません。

故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない

キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。



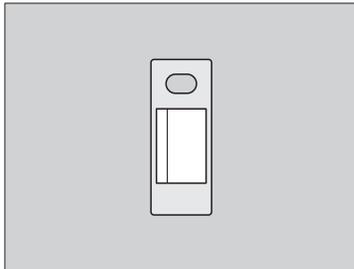
Honda スマートキーの電池が切れたときや車のバッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。

内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、カチッと音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーは Honda スマートキーに収納しておいてください。

■ キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

▶▶ キーの種類と機能

【知識】

キーレスエントリー一体キーおよびHonda スマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

▶▶ キーナンバータグ

【知識】

キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。

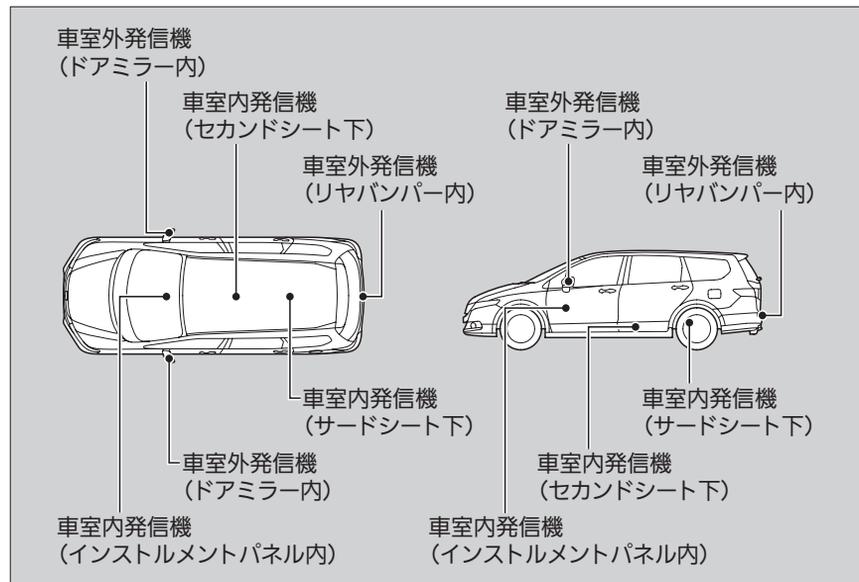
キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したときは、Honda販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンをかけるとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。

そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



⊠ Hondaスマートキーの微弱電波

⚠ 注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。

Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

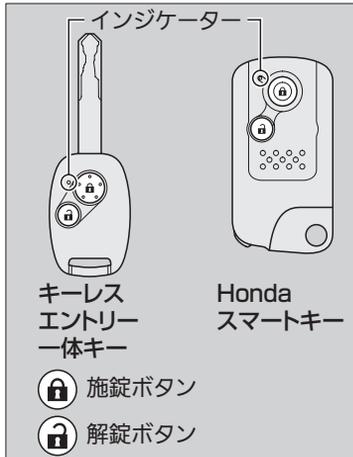
知識

Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約2年間です。

また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないください。

車外でのドアの施錠 / 解錠

■ キーレスエントリーでの施錠 / 解錠



■ 施錠

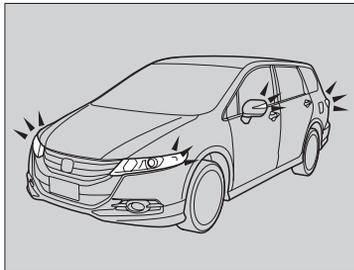
施錠ボタンを押します。

- ▶ 非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

■ 解錠

解錠ボタンを押します。

- ▶ 非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。



▶▶ キーレスエントリーでの施錠/解錠

知識

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠ボタンを押すと、室内灯が点灯します。

室内灯のスイッチが中間の位置にあるとき、解錠ボタンを押すと室内灯が点灯します。

約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

☑ 室内灯 P.120

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

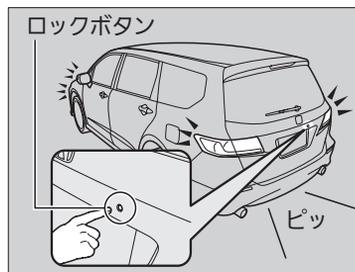
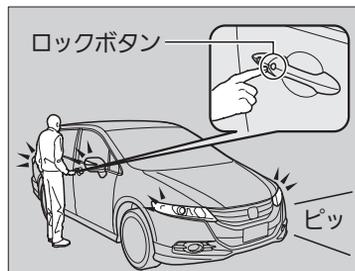
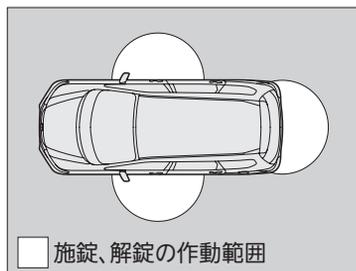
- エンジンスイッチが [0] 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき
- ドア、テールゲートが開いているとき（施錠時のみ）

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

ボタンを押したときにインジケータが点灯しない場合は、電池切れです。

☑ 電池交換のしかた P.208

■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠



Honda スマートキーを携帯し、ロックボタン、ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチを操作することでドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠や解錠を操作します。

ドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠が作動するのは、運転席、助手席ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチから周囲約 80cm 以内です。

■ 施錠するには

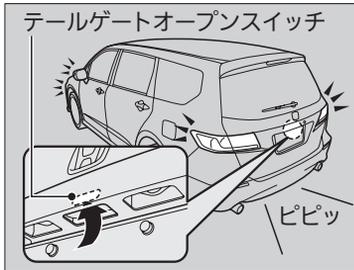
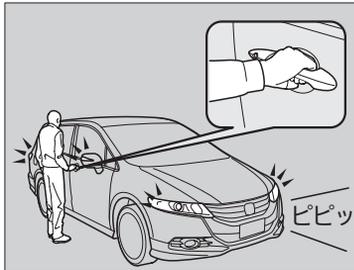
運転席、助手席ドアハンドル、テールゲートのロックボタンを押します。

- ▶ 「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

☒ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠

知識

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロックボタンやドアハンドル、テールゲートオープンスイッチで施錠 / 解錠操作ができます。
- 革製やスキー用の手袋などを着用しているときは、ドアハンドルでの解錠操作が遅れたりできなかったりすることがあります。
- 作動範囲内に Honda スマートキーがあるときは、大雨や洗車などで大量の水がドアハンドルにかかると、解錠されることがあります。
- 施錠後約 2 秒間は、ドアハンドルを握っても解錠操作はできません。
- ドアハンドルを握った直後に引くと、ドアが開かないことがあります。ドアハンドルを握りなおし、解錠されていることを確認してから引いてください。
- ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。



■解錠するには

運転席、助手席ドアハンドルを握るか、テールゲートオープンスイッチを押します。

- ▶ 「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り、非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

▶▶ Hondaスマートキーでの施錠/解錠

■知識

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

Hondaスマートキーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

■カスタマイズ機能について

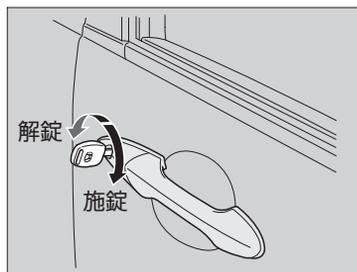
施錠/解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。カスタマイズ機能の詳細はHonda販売店にご相談ください。

● ACC/LKAS装備車

マルチインフォメーションディスプレイを使ってカスタマイズすることができます。

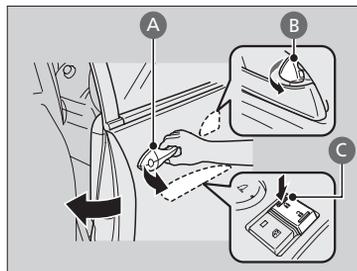
▶▶ **カスタマイズ機能** P.68

■ キーを差し込んでの施錠 / 解錠



キーを確実に差し込んで回します。
Honda スマートキーの場合は、内蔵キーを取り出して操作してください。

■ キーを使わないでの施錠



■ 運転席のドアの施錠

外側のドアハンドル **A** を引いたまま、ノブ **B** を引き出すかマスタードアロックスイッチ **C** を施錠のほうに押し、ドアハンドルを離してドアを閉めます。

■ 運転席以外のドアの施錠

ノブを引き出し、ドアを閉めます。

■ キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。

Honda スマートキー装備車は、Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

※ キーを差し込んでの施錠 / 解錠

知識

運転席ドアでのキー操作

運転席ドアにキーを差し込んで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

※ キーを使わないでの施錠 / 解錠

知識

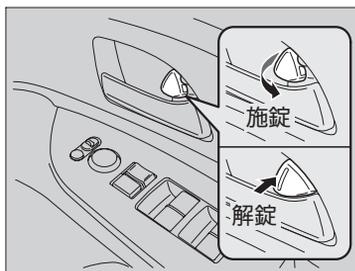
運転席ドアで施錠すると、

ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

車内での施錠 / 解錠

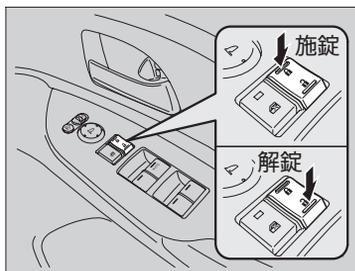
■ ノブでの施錠 / 解錠



■施錠するには
ノブを引きます。

■解錠するには
ノブを押し込みます。

■ マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠



マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほ
うに押します。

▶▶ ノブでの施錠/解錠

知識

運転席ドアのノブで施錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠されます。

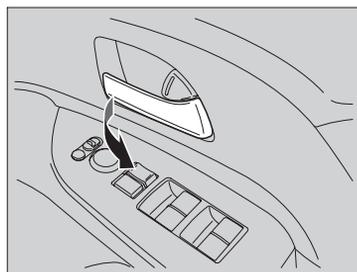
運転席ドアのノブで解錠したときは、運転席ドアのみ解錠されます。

▶▶ マスタードアロックスイッチでの施錠/解錠

知識

運転席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

■ 運転席ドアハンドルでの解錠



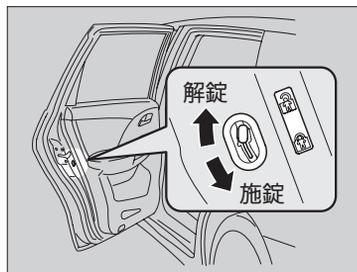
室内の運転席ドアハンドルを引くと、運転席ドアのみが解錠されます。

チャイルドブローフ

チャイルドブローフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。

お子さまをセカンドシートまたはサードシートに乗せるときなどにお使いください。

■ チャイルドブローフのセット



後席ドアについているツマミを、施錠の位置にしてドアを閉めます。

■ ドアを開ける場合

外側のハンドルで開けます。

※チャイルドブローフ

知識

チャイルドブローフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドを解錠するシステムです。

作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃：SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃：サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグ装備車の場合で、サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃：衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

オートドアロック/オートドアアンロック

■オートドアロック (車速連動)

オートドアロックとは、車速が約 15km/h 以上になるとすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが自動的に施錠される機能です。

■オートドアアンロック (セレクトレバー連動)

ブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを **P** に入れると、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが自動的に解錠される機能です。

▶▶ 衝撃感知ドアロック解除システム

知識

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

▶▶ オートドアロック/オートドアアンロック

ACC/LKAS非装備車

マスタードアロックスイッチを使ってオートドアロック/オートドアアンロックの条件をカスタマイズすることができます。

▶▶ オートドアロック/オートドアアンロック

設定のカスタマイズ P.86

ACC/LKAS装備車

マルチインフォメーションディスプレイを使ってオートドアロック/オートドアアンロックの条件をカスタマイズすることができます。

▶▶ カスタマイズ機能 P.68

オートドアロック / オートドアアンロック設定の カスタマイズ ACC/LKAS 非装備車

オートドアロックとオートドアアンロックの設定を、カスタマイズ（設定変更）することができます。カスタマイズ操作は、マスタードアロックスイッチで行います。

■ オートドアロック / オートドアアンロックの設定内容

オートドアロックとオートドアアンロックの設定内容は、下表のとおりです。

■ オートドアロック

設定	車速連動 (工場出荷時設定)	セレクトレバー連動	オートドアロック OFF (無し)
設定内容	車速が約 15km/h 以上になると、自動的に施錠する設定です。	セレクトレバーを P 以外にすると、自動的に施錠する設定です。	自動的に施錠しない設定です。

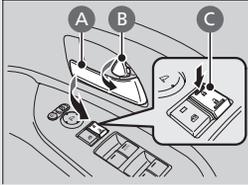
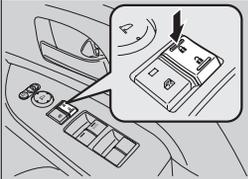
■ オートドアアンロック

設定	セレクトレバー連動 (工場出荷時設定)	エンジンスイッチ連動	オートドアアンロック OFF (無し)
設定内容	ブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを P にすると、自動的に解錠する設定です。	エンジンスイッチを II から I または 0 にすると、自動的に解錠する設定です。	自動的に解錠しない設定です。

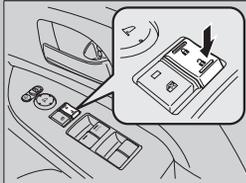
※ オートドアロック/オートドアアンロック設定のカスタマイズ ACC/LKAS 非装備車

その他の機能のカスタマイズについては、Honda販売店にご相談ください。

■ オートドアロックのカスタマイズ操作

操作手順	車速連動 (工場出荷時設定)	セレクトレバー連動	オートドアロック OFF (無し)
1. パーキングブレーキを	かける	かける	かける
2. 運転席ドアを	閉める	閉める	開ける
3. セレクトレバーを	P 以外にする	P にする	P にする
4. エンジンスイッチを	II にする	II にする	 <p>II にする この後、室内の運転席側のドアハンドル A を引いたまま、ノブ B を引き出すかマスタードアロックスイッチ C を施錠の方に押す</p>
5. マスタードアロックスイッチの 	施錠側を約 5 秒以上押し続け、ロック作動音がしたら手を離す		
6. エンジンスイッチを	20 秒以内に I にする ▶ 設定が終了し、オートドアロックが設定した内容となります		

■ オートドアアンロックのカスタマイズ操作

操作手順	セレクトレバー連動 (工場出荷時設定)	エンジンスイッチ連動	オートドアアンロック OFF (無し)
1. パーキングブレーキを	かける	かける	かける
2. 運転席ドアを	閉める	閉める	開ける
3. セレクトレバーを	P にする	P 以外にする	P にする
4. エンジンスイッチを	II にする	II にする	II にする
5. ドアロックスイッチの 	解錠側を約 5 秒以上押し続け、ロック作動音がしたら手を離す		
6. エンジンスイッチを	20 秒以内に I にする ▶ 設定が終了し、オートドアアンロックが設定した内容となります		

テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
 - ▶ 途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
 - ▶ 車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

■テールゲート閉めるとき

- キー、キーレスエントリーおよび Honda スマートキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

※テールゲート開閉時の注意



注意

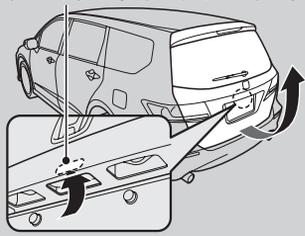
テールゲートを閉めるときは、頭をぶついたり手をはさまないように注意する。

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。

やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートオープンスイッチで開ける

テールゲートオープンスイッチ



テールゲートの施錠 / 解錠は運転席ドアと連動しています。

解錠されているときに、テールゲートオープンスイッチを押して引き上げます。

施錠されているときに Honda スマートキーを携帯してテールゲートオープンスイッチを押すと、解錠されますのでそのまま引き上げます。テールゲートオープン機能の作動範囲はテールゲートオープンスイッチから周囲約 80cm の範囲です。

※ テールゲートオープンスイッチで開ける

運転席ドアが施錠されているとき

テールゲートを閉めると、テールゲートも施錠されます。

運転席ドアが解錠されているとき

テールゲートを閉めても、施錠されません。

知識

- 作動範囲内に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもテールゲートオープンスイッチでテールゲートを開けることができます。
- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- テールゲートオープンスイッチより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- Honda スマートキーを用いて解錠すると、“ピピッ”というアンサーバック音が鳴ります。

カスタマイズ機能について

施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。カスタマイズ機能の詳細は Honda 販売店にご相談ください。

● ACC/LKAS 装備車

マルチインフォメーションディスプレイを使ってカスタマイズすることができます。

☑ カスタマイズ機能 P.68

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれており、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けたり、テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

セキュリティアラームシステム

セキュリティアラームシステムは、キー、キーレスエントリーあるいは Honda スマートキーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

また、エンジンスイッチを **II** にしたときにも作動します。

■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

■停止させるには

キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

※イモビライザーシステム

アドバイス

システムを改造したりしないでください。

エンジンシステムが故障するおそれがあります。

※セキュリティアラームシステム

知識

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大5分間作動します。

ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。

■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを **0** にして、キーを抜く(Honda スマートキーの場合はプッシュオフにする)
- ボンネットが閉まっている
- キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーですべてのドアとテールゲートが施錠されている

■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティアラームシステムがセットされます。

■セットを解除するには

キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠すると、セットは解除されます。同時に作動表示灯が消灯します。

※セキュリティアラームシステム

知識

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

セキュリティアラームシステムをセットした後にバッテリーがあがり、バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。そのときは、キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

ウィンドーの開閉

パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチがIIのときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。

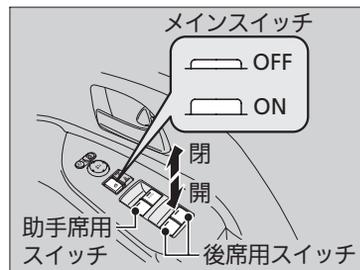
開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。

運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のメインスイッチをONにしてから行います。

メインスイッチをONにすると、スイッチにある表示灯が消灯します。

メインスイッチをOFF(表示灯点灯)にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、メインスイッチをOFFにしておいてください。

■ 自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



■ 手動開閉

開けるとき: スwitchを軽く押す

閉めるとき: スwitchを軽く引き上げる

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■ 自動開閉

開けるとき: スwitchを強く押す

閉めるとき: スwitchを強く引き上げる

自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スwitchを反対側に軽く上げ / 下げします。

▶▶ パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチをOFFにしても、約10分間はキーオフオペレーションにより自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。

この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

⚠ 警告

パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。

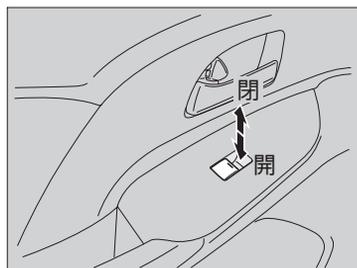
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

⚠ 注意

指などははさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分には、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

■ 自動開閉機能なしのウィンドーの開閉



開けるとき: 該当するウィンドーのスイッチを押す

閉めるとき: 該当するウィンドーのスイッチを引き上げる

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■ キーレスエントリーでのウィンドーの開閉*



Honda
スマートキー

 施錠ボタン

 解錠ボタン

全席自動開閉機能付きのパワーウィンドー装備車は、キーレスエントリーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

開けるとき: キーレスエントリーで解錠後、10秒以内に再度、解錠ボタンを押し続ける

閉めるとき: キーレスエントリーで施錠後、10秒以内に再度、施錠ボタンを押し続ける

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

※ パワーウィンドーの開閉

知識

故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなるときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。

路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

お子さまが同乗している場合、ウィンドーを開閉できないよう、メインスイッチをOFFにしてください。

メインスイッチをOFFにすると、それぞれのウィンドーの開閉スイッチでの操作ができなくなります。

後席(左、右)のウィンドーは、全開しません。

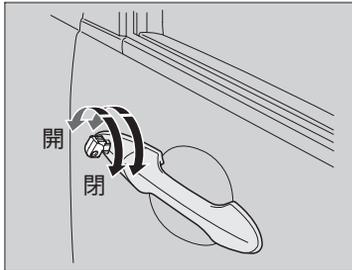
※ キーレスエントリーでのウィンドーの開閉

知識

次の場合、キーレスエントリーを使用してのパワーウィンドー開閉は作動しません。

- エンジンスイッチが「0」(Hondaスマートキーの場合はプッシュオフ)以外のとき
- ドア、テールゲートが開いているとき(閉める時のみ)

■ キーシリンダーでのウィンドーの開閉*



全席自動開閉機能付きパワーウィンドー装備車は、運転席ドアのキーシリンダーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

開けるとき: 運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで解錠後、キーを戻してから10秒以内に再度、解錠側いっぱいまでキーを回したままにする

閉めるとき: 運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで施錠後、キーを戻してから10秒以内に再度、施錠側いっぱいまでキーを回したままにする

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

▶▶ キーシリンダーでのウィンドーの開閉

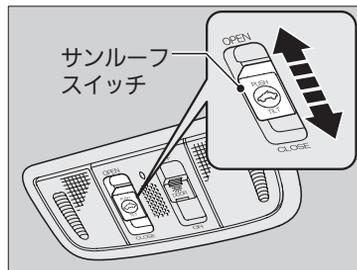
知識

ドアが開いているときは、キーシリンダーを使用してパワーウィンドーを閉めることはできません。

サンルーフの開閉*

■ 開閉

エンジンスイッチがIIのときに、サンルーフの開閉操作を行うことができます。開閉は前席の天井にあるスイッチで行います。



■ 手動開閉

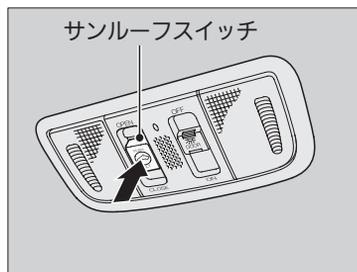
開けるとき: スイッチを後ろ側へ軽く引く
閉めるとき: スイッチを前側へ軽く押す
希望の位置で手を離すことで、サンルーフの開閉を調節します。

■ 自動開閉

開けるとき: スイッチを後ろ側へ強く引く
閉めるとき: スイッチを前側へ強く押す
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを軽く操作します。

■ チルトアップ

開けるとき: スイッチを上へ押す
閉めるとき: スイッチを前側へ強く押すと自動で全閉
スイッチを前側へ軽く押したときは離れた位置で停止



※ サンルーフの開閉

エンジンスイッチをOFFにしても、約10分間はキーオフオペレーションによりサンルーフを開閉できます。

この場合、運転席のドアを開閉すると、サンルーフの開閉はできなくなります。

⚠ 警告

サンルーフを開閉するときは、手や顔などをはさまないように注意する。

サンルーフにはさまれて、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気を付けてください

サンルーフを自動開閉中に障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりサンルーフの動きが逆転し止まります。

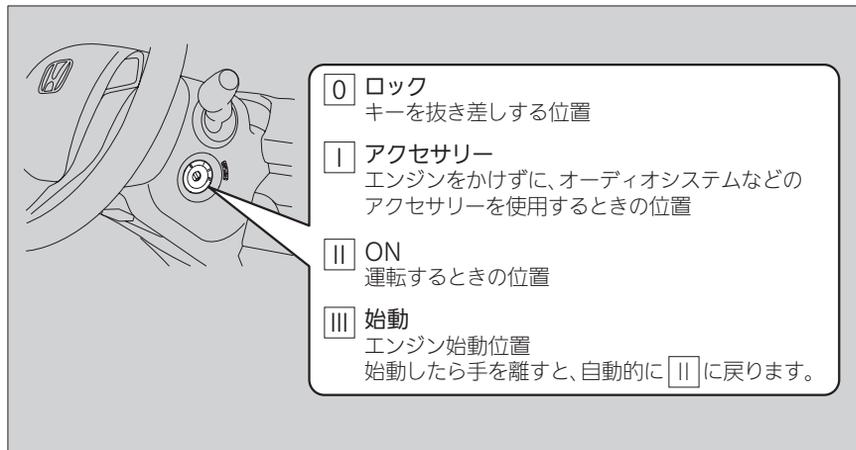
⚠ 注意

指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

走行中や停車中にルーフ開口部から頭や手、ものなどを出さない。

障害物や急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンスイッチ



エンジンスイッチ

エンジンスイッチが **0** または **I** のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

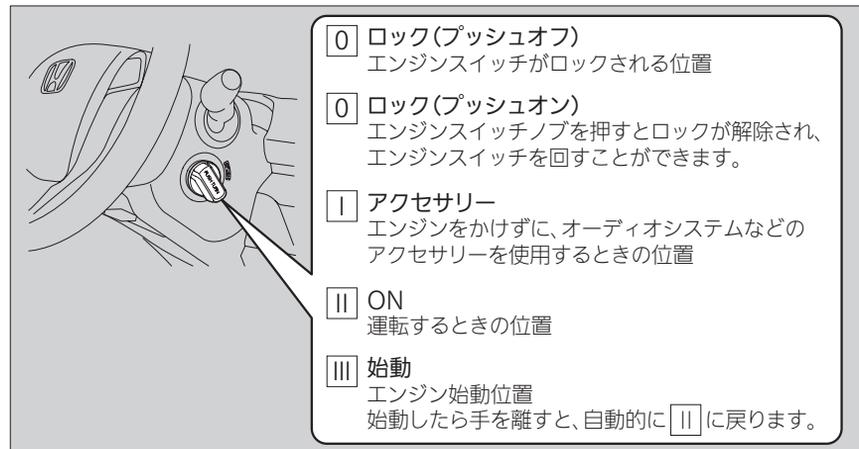
エンジンスイッチが **0** から **I** に回らないときは、ハンドルロックを解除します。

ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

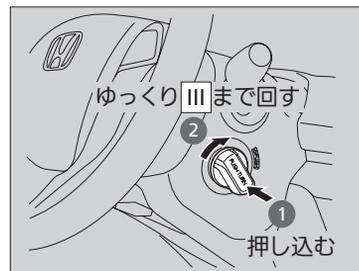
知識

セレクタレバーを **P** に入れないとキーを抜くことができません。

Honda スマートキー装備車のエンジンスイッチ*



■ 始動方法



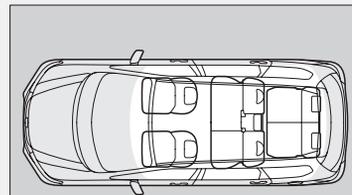
Honda スマートキーの携帯を確認します。

1. エンジンスイッチノブを押す。
▶ エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。
2. エンジンスイッチを、ゆっくりと III の位置まで回す。

※ 始動方法

知識

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。



Honda スマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチが 0 から I に回らないときは、ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。

それでも回らない場合は、もう一度エンジンスイッチノブを押し直して、ゆっくりと回してください。

Honda スマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。

▶ 内蔵キーの差し込みかた P.226

■ エンジン停止操作の方法

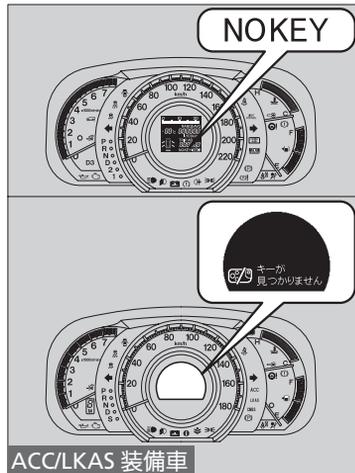
1. セレクトレバーを **P** に入れる。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと **0** まで回す。
 - ▶ エンジンスイッチを **0** (プッシュオフ) にすると、ハンドルがロックされます。

■ エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- エンジンスイッチが **I** のとき
- エンジンスイッチが **0** で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき

■ Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー(ピーッピーッピーッピーッ)と車外警告ブザー(ピピピピピピ)の2種類があります。警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■ エンジンスイッチが **II** のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、メーター内に警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

■ エンジンスイッチが **I** または **0** (プッシュオン) のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

▶▶ エンジン停止操作の方法

車から離れるときは、エンジンスイッチを **0** にしてください。

知識

エンジンスイッチが **0** 以外では、Honda スマートキーで施錠できません。

▶▶ Honda スマートキー持ち去り警告

エンジン始動の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

知識

Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを **0** にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。

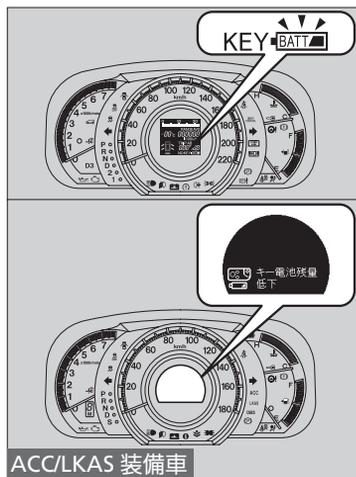
エンジンスイッチを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により Honda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。

故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

■ Honda スマートキー 電池消耗警告

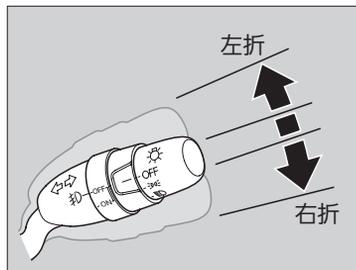


電池残量が少なくなったときに、警告音を鳴らし、メーター内に警告を表示します。
早めに電池交換を行ってください。

▶電池交換のしかた P.208

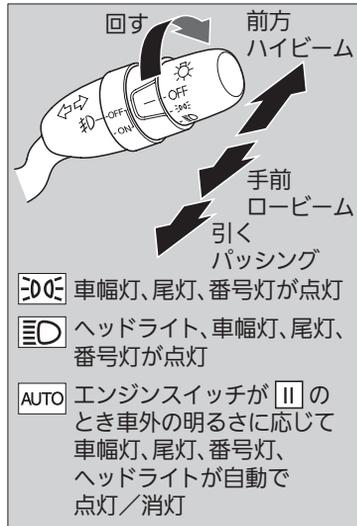
ACCLKAS 装備車

方向指示器 (ウィンカースイッチ)



エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

ライトスイッチ



スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に係なく、点灯・消灯します。

■ハイビーム

カチッと音がするまでレバーを前方に押します。

■ロービーム

ハイビームのときは、レバーを手前に引きます。

■追い越し合図 (パッシング)

レバーを手前に引き、離します。

※ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く/プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

☒表示灯 P.58

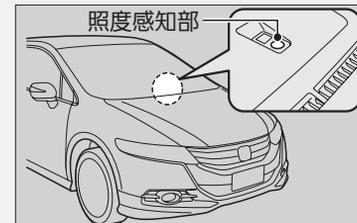
重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベルング機能が付いています。ヘッドライト光軸の異常を感じたときは、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

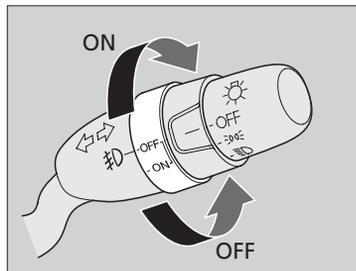
ディスチャージヘッドライトの電球は、点灯、消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。

エンジンが止まっているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。

照度感知部は、図の位置にあります。感知部の上にものを置かないでください。



フォグライトスイッチ*



ライトスイッチが OFF 以外のとき (AUTO のときは、車幅灯が点灯しているとき) に、フォグライトスイッチを回して点灯することができます。

☒ フォグライトスイッチ

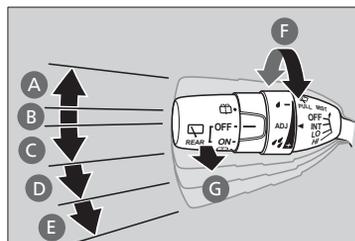
フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

☒表示灯 P.58

ワイパー / ウォッシャー

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

■ フロントワイパー / ウォッシャー



A MIST: (レバーを操作している間作動)

B OFF: 停止

C INT: 間欠 (雨量が少ないとき)

D LO: 低速 (普通の雨量のとき)

E HI: 高速 (雨量が多いとき)

F 間欠時間の調節

G ウォッシャー

■ MIST

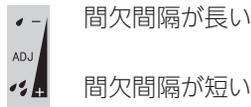
レバーを押し上げている間、作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ ワイパースイッチ (OFF、INT、LO、HI)

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

■ 間欠時間の調節

リングを回して、ワイパーの間欠時間を調節します。



間欠間隔が長い

間欠間隔が短い

■ ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。

レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

▶▶ ワイパー / ウォッシャー

間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より数秒短くなります。また、発進時にワイパーが1回作動します。

間欠時間を短いほうにいっぱい回っている状態で車速が速くなると、ワイパーが間欠から低速作動に切り換わります。



注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。

ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

ワイパーを乾拭きさせないでください。

ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

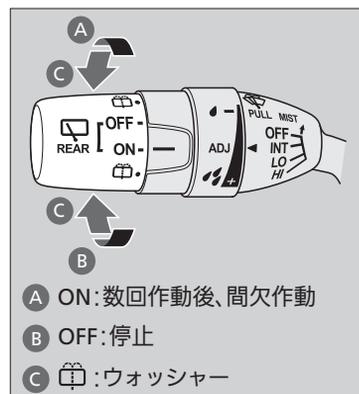
ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。

ポンプ故障の原因となります。

寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。

ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターやフロントガラス熱線*でフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

■ リヤワイパー / ウォッシャー



■ リヤワイパースイッチ

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

■ ウォッシャースイッチ

スイッチを まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。

スイッチを回している間はワイパーが作動し、スイッチを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

■ リバース連動モード

フロントワイパー作動中にセレクトレバーを **R** に入れるとリヤワイパーが作動しません。

フロントワイパーのレバー位置と作動モード	リヤワイパーの作動モード
INT (間欠)	間欠作動
LO (低速)	連続作動
HI (高速)	

※ ワイパー/ウォッシャー

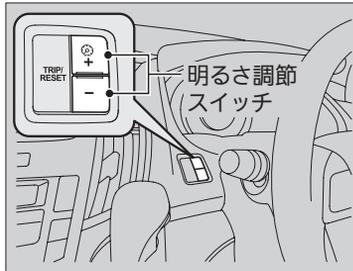
知識

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。ワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチを **I** または **0** にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。

ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

イルミネーションコントロールスイッチ



インストルメントパネル照明の明るさを、車幅灯点灯時と消灯時で別々に調節することができます。

明るくする: を押す

暗くする: を押す

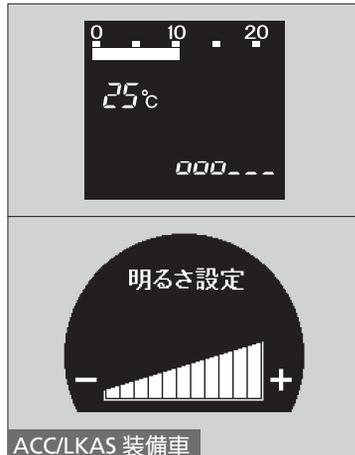
明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。

また、明るさの調節後、数秒経過するとディスプレイが元の表示に戻ります。

■明るさ調節表示

を押すとディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。

または が右に増えていくほど、インストルメントパネル照明が明るくなります。



ACC/LKAS 装備車

※イルミネーションコントロールスイッチ

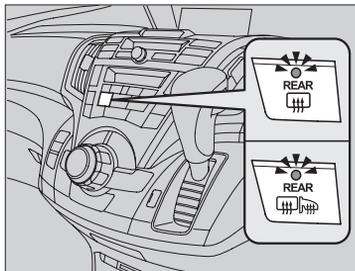
ヘッドライトが点灯しているときと消灯しているときでは、インストルメントパネル照明の明るさは異なります。

ライトスイッチを または にすると、まぶしさを軽減するためにインストルメントパネル照明が暗くなります。

知識

- 明るさ調節中に または を押すと、ディスプレイは元の表示になります。
- 車幅灯点灯時に または が全て表示されるまで を押すと、“ピッ”という音がして車幅灯点灯時の減光が解除されます。

リヤデフロスタースイッチ

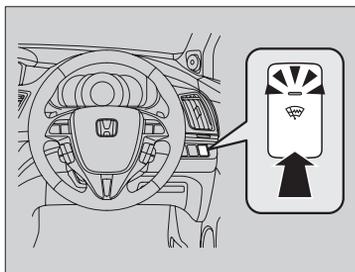


エンジンスイッチが **II** のときに、リヤガラスを暖め、曇りをとりたいときに使用します。

スイッチを押すとリヤデフロスターが ON になります。

外気温に応じて約 10 ～ 30 分経過すると、リヤデフロスターは自動的に停止します。ただし、外気温が 0℃ 以下のときは自動的に停止しません。

フロントガラス熱線スイッチ*



エンジンスイッチが **II** のときに、フロントガラスの右端と下端を暖め、雪の固着や凍結によるワイパーブレードラバーの損傷を防ぐことができます。

スイッチを押すと、フロントガラス熱線が ON になります。

約 15 分経過後、自動的に停止します。

※ リヤデフロスタースイッチ

知識

リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。

必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

この装置は消費電力が大きいため、曇りが取れたら OFF にしてください。

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

※ フロントガラス熱線スイッチ

知識

この装置は消費電力が大きいため、長時間使わないでください。

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ECON スイッチ*

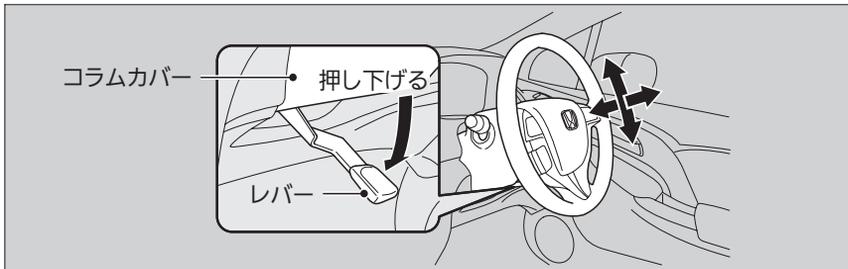


スイッチを押すとエンジン、CVT、エアコン、クルーズコントロールの作動を制御して、省エネ運転をしやすいように制御します。

エンジンスイッチが **II** のときにスイッチを押すと、ECON モードが ON になりメーター内の表示灯が点灯し、運転の状況に応じて省燃費制御に切り換わります。

ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを押し下げる。
▶ ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。
2. ハンドルの位置を調節する。
▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルを固定する。

▶▶ ハンドルの調節

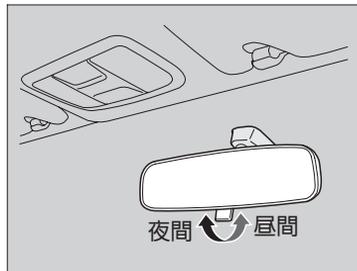
⚠ 注意

走行中にハンドル位置を調節しない。

走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

位置調節後、ハンドルに上下前後方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

ルームミラー



ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

■防眩式ルームミラー

ルームミラーは夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を弱くするための切り換えができます。

ドアミラー



エンジンスイッチが **II** のときに、ドアミラーの操作を行うことができます。

■角度調節

左右切り換えスイッチ: 右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

角度調節スイッチ: 上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

■格納

格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切り換わります。

	格納スイッチ の状態	ミラーの 状態
ON (格納)		
OFF (開放)		

※ミラー類の調節

知識

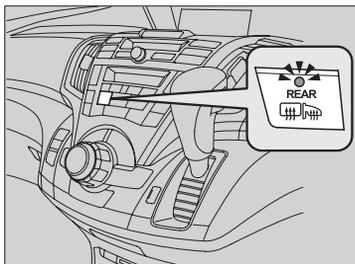
ミラー類の調節は、走行前に行ってください。

※ドアミラー

鏡面は、手で調節することもできます。直接鏡面を動かして、調節します。

エンジンスイッチが **0** または **I** のときは、手で格納、開放をすることもできます。

■ ヒーテッドドアミラー*



エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。スイッチを押すと表示灯が点灯し、ドアミラーが暖められ曇りが取れます。

■ アクアクリンミラー*

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

■ 親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。
2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。
 - ▶ 汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。
3. 5～9時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

※ ヒーテッドドアミラー

ヒーテッドドアミラーはリヤガラスの曇り取りと同時に作動します。

▶ リヤデフロスター P.106

エンジンの回転が低いときに長時間使わないでください。

この装置は消費電力が大きいため、エンジンの回転が低い状態で長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

エンジンスイッチを **II** にしたとき、外気温が 5℃ 以下の場合、ヒーテッドドアミラーのみ約 10 分間作動することがあります。

※ アクアクリンミラー

アドバイス

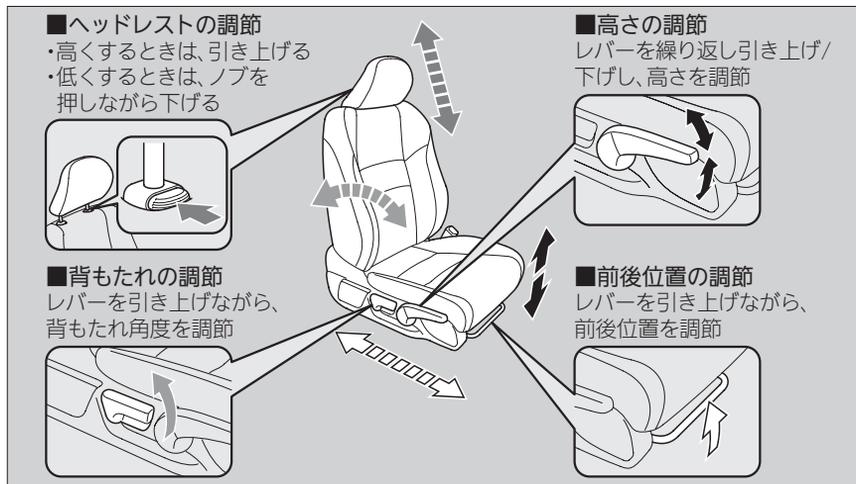
ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤（コンパウンドなど）でミラー表面をこすらない

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

■ フロントマニュアルシート / ヘッドレストの動かしかた*



※ フロントマニュアルシート/ヘッドレストの動かしかた

知識

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

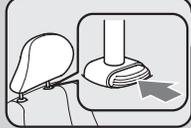
フロントシートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ フロントパワーシート / ヘッドレストの動かし方*

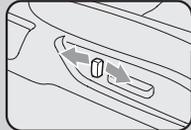
■ ヘッドレストの調節

- ・高くするとき、引き上げる
- ・低くするとき、ノブを押しながら下げる



■ 背もたれの調節

- スイッチを前後に動かして、背もたれ角度を調節

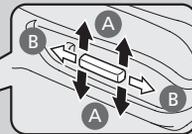


A ■ 高さの調節

- スイッチを上下に動かして、高さを調節

B ■ 前後位置の調節

- スイッチを前後に動かして、前後位置を調節



※ フロントパワーシート / ヘッドレストの動かし方

知識

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

⚠ 注意

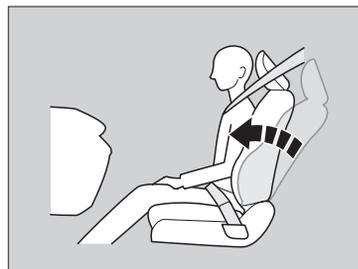
シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

■ フロントシートの調節



■ シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。マニュアルシートは、シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



■ 背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

※ フロントシートの調節



警告

SRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。

ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。



注意

背もたれと背中 사이에クッションなどを入れない。

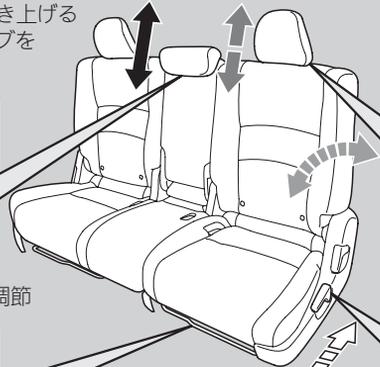
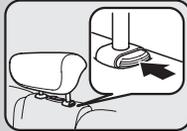
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

セカンドシート

■ セカンドシート / ヘッドレストの動かしかた

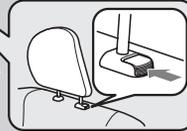
■ ヘッドレストの位置変更

- ・高くするときは、引き上げる
- ・低くするときは、ノブを押しながら下げる



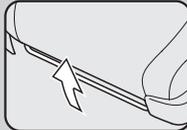
■ ヘッドレストの調節

- ・高くするときは、引き上げる
- ・低くするときは、ノブを押しながら下げる



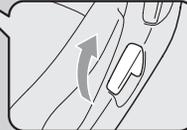
■ 前後位置の調節

- レバーを引き上げながら、前後位置を調節



■ 背もたれの調節

- レバーを引き上げながら、背もたれ角度を調節



■ セカンドシート

⚠ 警告

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

セカンドシートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ サードシートへの乗り降り



左右どちらからでも乗り降りできます。

■ リクライニングレバー

1. リクライニングレバーを引き上げて、背もたれを前に倒す。
2. そのままシートを前に押して移動させる。

シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

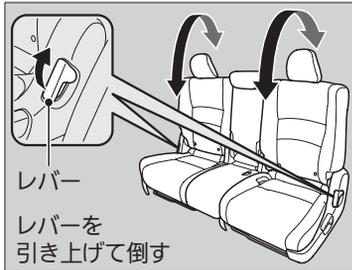


■ ウォークインペダル

1. ウォークインペダルを踏んで、背もたれを前に倒す。
2. そのままシートを前に押して移動させる。

シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

■ 背もたれの倒しかた



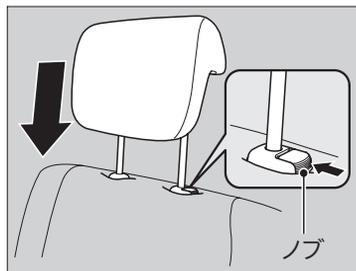
背もたれは、左右別々に倒すことができます。ヘッドレストがフロントシートに当たるときは、シートの位置を調節してください。

1. フォールダウンレバーを引いて、背もたれを前に倒す。

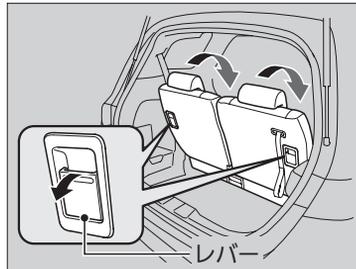
シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

サードシート

■ 収納のしかた



1. ヘッドレストを下げる。



2. 背もたれのレバーを引き、前方に倒す。



3. 下部のレバーを引きながら、ストラップを使ってシート全体を後方に倒す。

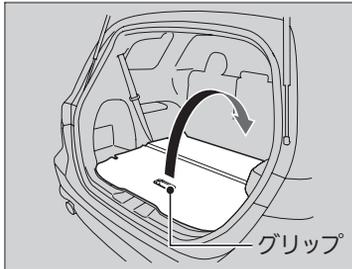
※ サードシート

⚠ 注意

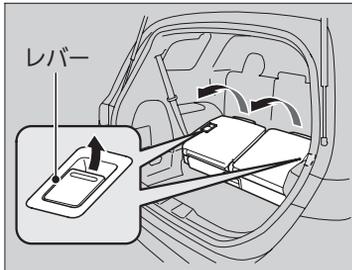
エンジンをかけた状態でシートを操作するときは、排気管の後方に立たない。
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

戻しかた



1. グリップを持ちシート全体を前方に起こし、座面を固定する。



2. レバーを引ながら背もたれを起こして固定する。

シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

■ フロントシート、セカンドシート（左右）ヘッドレストの調節

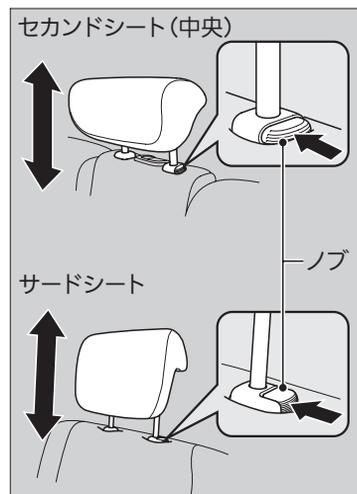


後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調整します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

■ セカンドシート（中央）*、サードシートヘッドレストの位置変更



乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

※ヘッドレスト



警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

※セカンドシート（中央）、サードシートヘッドレストの位置変更

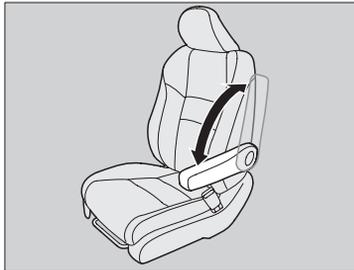


警告

ヘッドレストを下げた状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

アームレスト

■ フロントシートアームレストの操作*



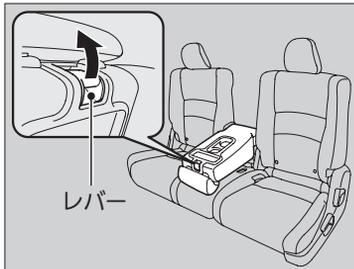
前に倒して使います。

角度調節機構装備車は、背もたれの角度に合わせてアームレストの角度を調節できます。

高くする: アームレストを引き上げる

低くする: アームレストをいったん上まで引き上げてから下げる

■ セカンドシートアームレストの操作



前に倒して使います。

1. レバーを引いてロックを解除する。
2. アームレストを前に倒す。

※アームレスト

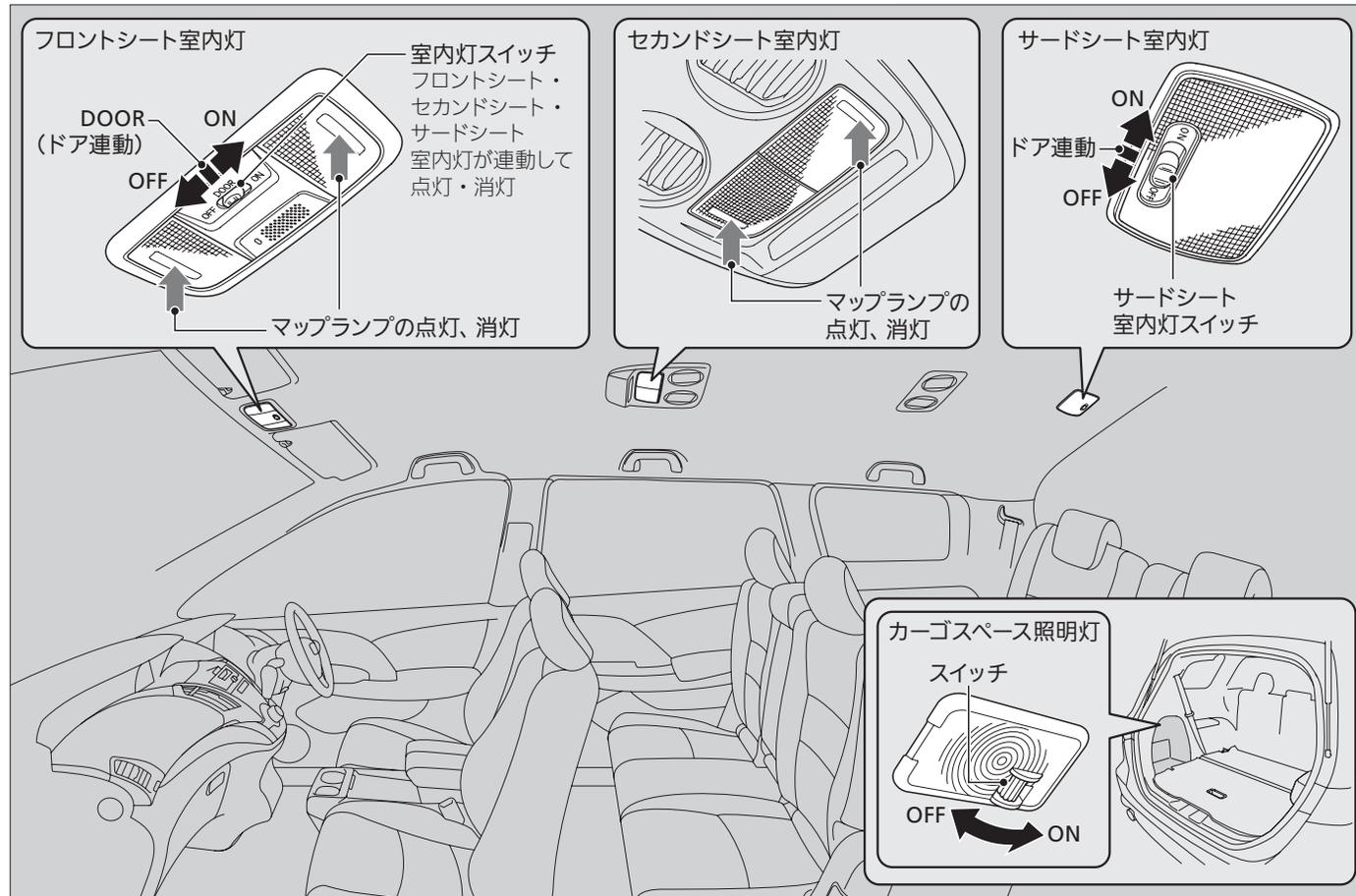


注意

シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。

万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

室内灯



■ 室内灯スイッチ

室内灯の点灯と消灯の切り換えは、以下のようになります。

ON	ドアの開閉に関係なく室内灯を点灯
DOOR (ドア連動)	以下のときに室内灯を点灯 <ul style="list-style-type: none"> • いずれかのドアを開けたとき • エンジンスイッチからキーを抜いたとき • Honda スマートキー装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ) にしたとき • キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで運転席ドアを解錠したとき
OFF	ドアの開閉に関係なく室内灯を消灯

■ マップランプ

夜間、車を停めて地図を見るときなどに使用するライトです。

フロントシート・セカンドシート室内灯は以下のとき、レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

フロントシート 室内灯	室内灯スイッチが、DOOR (ドア連動) または OFF のとき
セカンドシート 室内灯	室内灯スイッチが、DOOR (ドア連動) のとき

■ カーゴスペース照明灯

カーゴスペース照明灯の点灯と消灯の切り換えは、以下のようになります。

ON	テールゲートを開けると点灯し、閉めると消灯
OFF	テールゲートの開閉に関係なく消灯

▶▶ 室内灯

知識

室内灯は、ドアを閉めると約30秒後に消灯します。

以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。

- 運転席ドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態でドアを閉めたとき
- Honda スマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが **0** (プッシュオフ) 以外の状態でドアを閉めたとき
- エンジンスイッチを **II** にしたとき

また、ドア連動のときエンジンスイッチにキーを差し込んでいない状態でドアを開けたままにすると、約15分後に消灯します。

▶▶ マップランプ

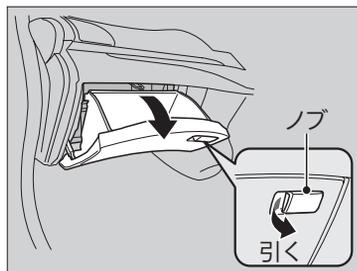
知識

マップランプは、以下のときレンズを押しても消灯できません。

- 室内灯スイッチがONのとき
- 室内灯スイッチがドア連動のときで、ドアが開いているとき

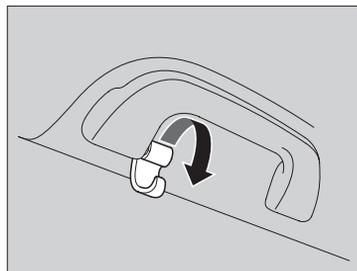
室内装備品

■ グローブボックス



ノブを引くと開きます。

■ コートフック



セカンドシート右側のグラブレールに付いています。
回転させて使います。

※ グローブボックス



警告

走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

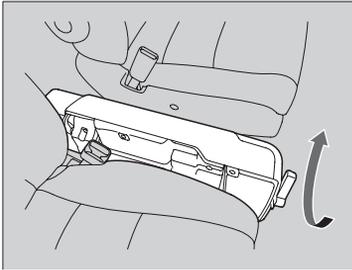
※ コートフック



注意

グラブレールにものをかけたり、コートフックに重いものやとがったものをかけたりしない。
サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりしてけがをするおそれがあります。

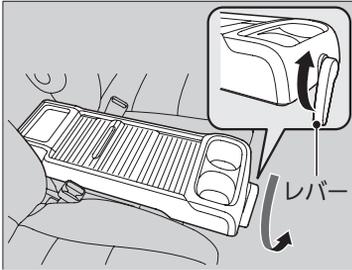
■ カップホルダー



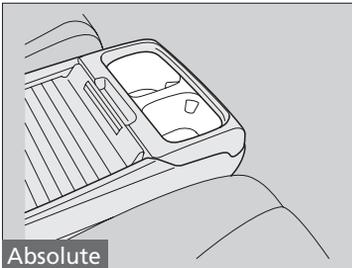
■ フロントシート用カップホルダー

■ センターテーブル装備車

センターテーブルが格納されているときは、起こして使います。



格納するときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



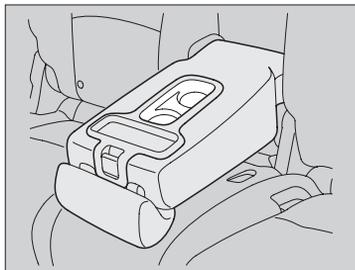
▶▶ カップホルダー



注意

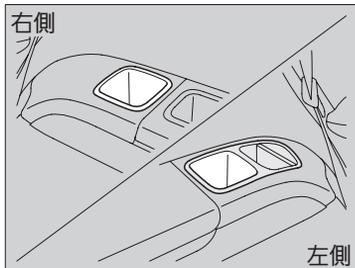
飲み物などを電装品にこぼさないように注意する。

スイッチなどの電装品に飲み物がかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。



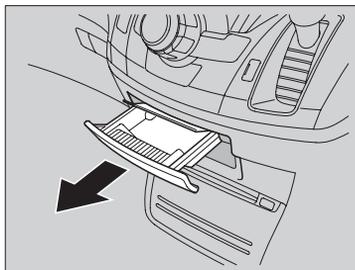
■セカンドシート用カップホルダー

セカンドシートのアームレストを前に倒して使います。



■サードシート用カップホルダー

■ 灰皿



引き出して使います。

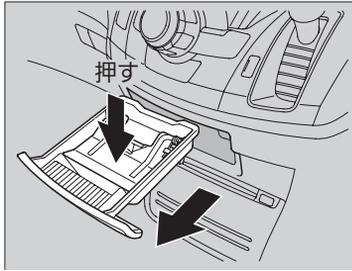
☒ 灰皿

⚠ 注意

タバコ、マッチなどは確実に火を消して、灰皿は必ず閉める。

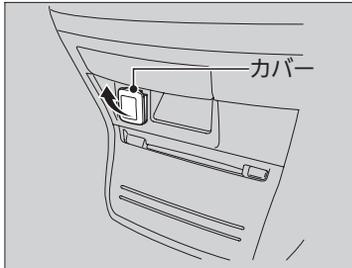
吸がらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすい物を入れないでください。

タバコの火が燃え広がるおそれがあります。



清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。

■ アクセサリーソケット



エンジンスイッチが **I** または **II** のときに使用できます。

カバーを開けて使います。

▶▶ アクセサリーソケット

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

消費電力120W (10A) 以下のアクセサリに、直流12Vの電源を供給します。

アドバイス

Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。

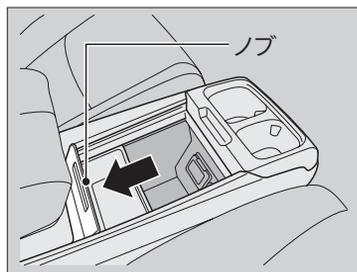
バッテリーあがりやアクセサリソケットの破損の原因となります。

シガレットライターは差し込まないでください。
発熱するおそれがあります。

知識

バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。

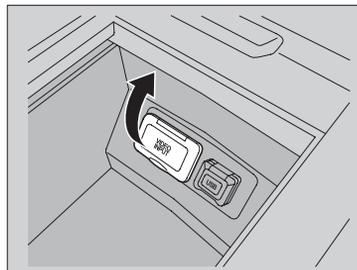
■ AV 入力端子*



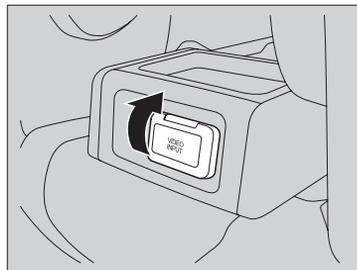
センターコンソール装備車

コンソールボックスの中にあります。

1. ノブを引いてリッドを開ける



2. カバーを開ける



センターテーブル装備車

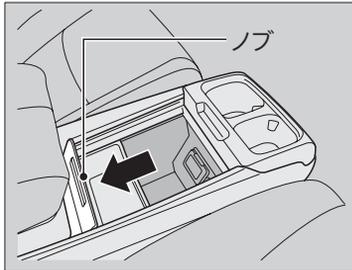
センターテーブルの後面にあります。

カバーを開けて使います。

※AV入力端子

詳しい操作については、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

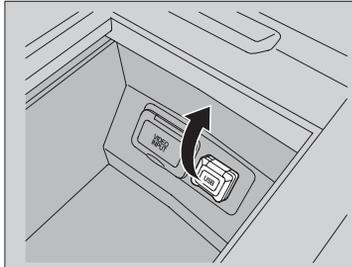
■ USB 端子*



センターコンソール装備車

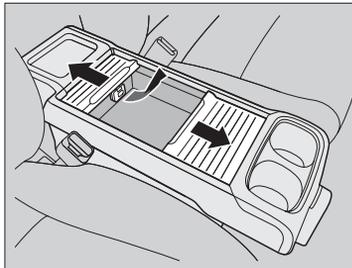
コンソールボックスの中にあります。

1. ノブを引いてリッドを開ける



2. カバーを開ける

3. 付属の接続ケーブルを接続する。



センターテーブル装備車

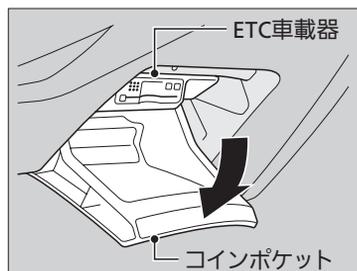
センターテーブルのボックス内にあります。

カバーを開けて使います。

▶▶ USB端子

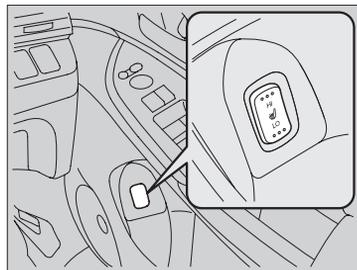
詳しい操作については、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

■ ETC(有料道路自動料金支払いシステム) 車載器*



コインポケットの上部にあります。

■ シートヒーター*



エンジンスイッチが  のときに使用できます。運転席、助手席のシートを暖めることができます。

スイッチの HI 側か LO 側を押します。作動中、押している側の表示灯が点灯します。

※ ETC車載器

詳細については、別冊の「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

※ シートヒーター

注意

低温やけどに注意する。

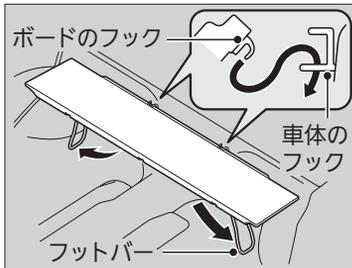
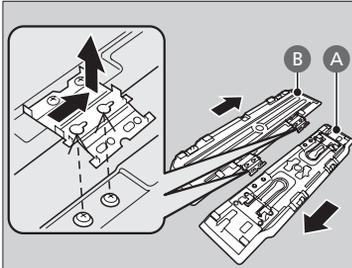
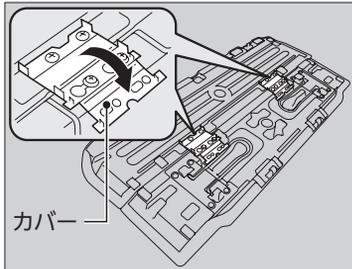
次のような場合は、低温やけどに十分注意してください。

- 乳幼児、お年寄り、体の不自由な方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方

また、毛布などの保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

この装置は消費電力が大きいため、エンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

■ デュアルポジションカーゴボード*



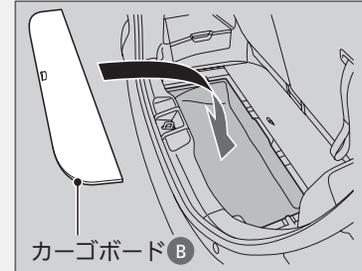
サードシートを格納しているときに、カーゴボードを分割してサードシートの足元に設置すると、カーゴスペースを使いやすくすることができます。

1. カーゴスペースのフロアから、カーゴボードを取り出す。
2. カーゴボードを裏返し、ヒンジのカバーを開く。
3. カーゴボード **B** をスライドさせ分割する。
▶ ヒンジは折りたたむことができます。
4. サードシートを格納する。

5. サードシートの足元にある車体のフックに、カーゴボード **A** のフックを引っかける。
6. カーゴボード **A** を起こしフットバーを引き出す。

▶▶ デュアルポジションカーゴボード

分割したカーゴボード **B** はサードシート下 (元の位置) に収納しておくことができます



アドバイス

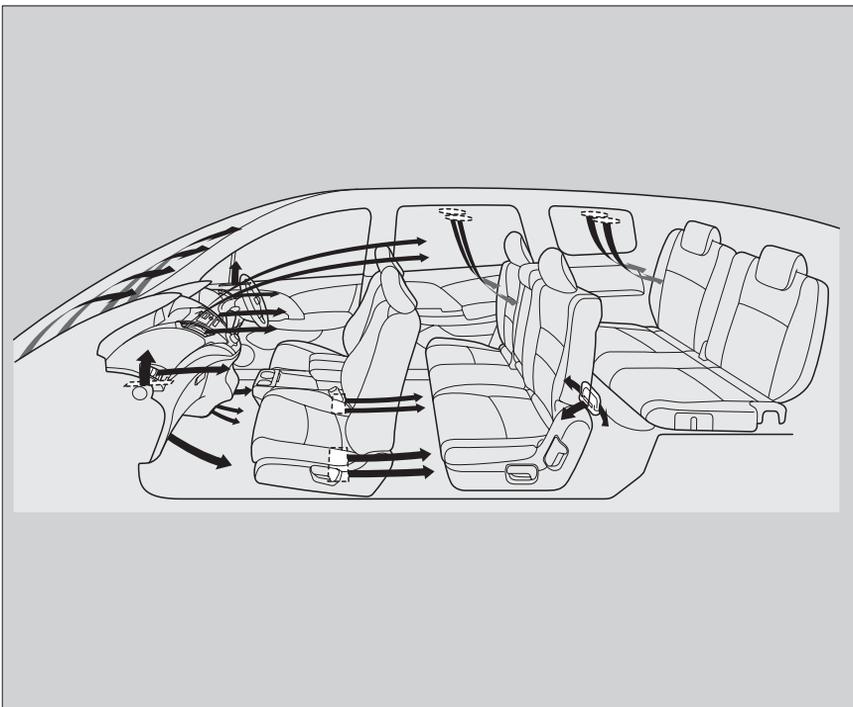
デュアルポジションカーゴボードの耐荷重は、30kgです。規定以上の重さの物を置くと破損の原因となります。

アドバイス

車体のフックはカーゴボードの取り付け以外に使用しないでください。

分割したカーゴボードを元に戻すときは、ヒンジのカバーを確実にセットしてください。

エアコンの吹き出し口



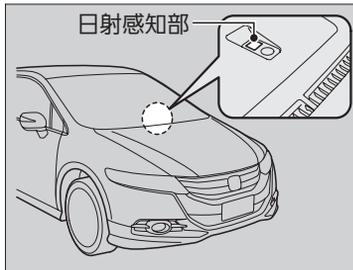
エアクリーンフィルター

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じんなどを集じんし、ディーゼル排ガス臭、タバコ臭などに脱臭効果のあるエアクリーンフィルターが取り付けられています。

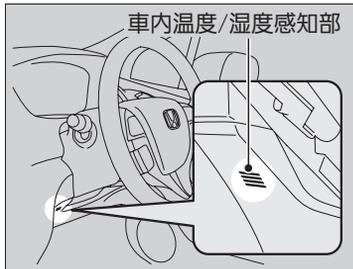
エアクリーンフィルターは、通常1年または15,000kmごとに交換してください。粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

❏エアクリーンフィルターの交換 P.141

オートエアコンのセンサー



オートエアコンには、センサー(日射感知部、車内温度/湿度感知部)が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。



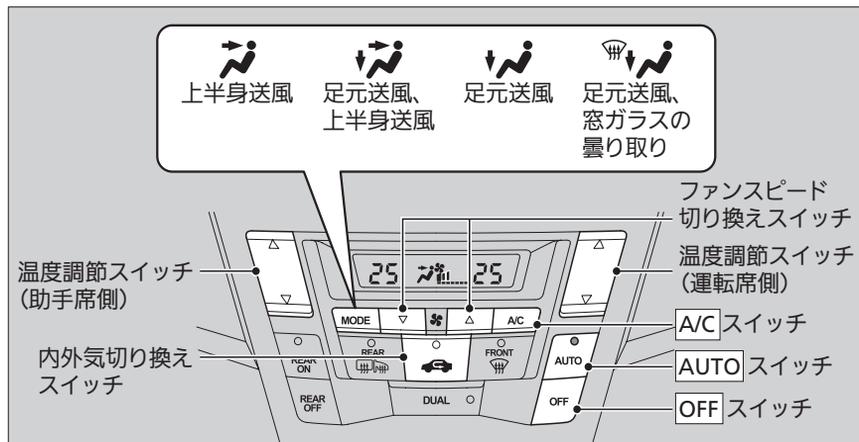
❏エアクリーンフィルター

芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

オートエアコンの使いかた

後席用オートエアコン装備車



エンジンをかけた状態で使用します。

1. **AUTO** を押す。
2. 運転席側の温度調節スイッチで温度を調節する。
3. 停止するときは、**OFF** を押す。

■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて  を押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気 (表示灯点灯) : トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気 (表示灯消灯) : 換気を行う場合

■除湿暖房

暖房中に **A/C** を押すと、除湿暖房となります。

※オートエアコンの使いかた

オート(AUTO)で使用中止のスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。このとき **AUTO** の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO** を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

希望温度に設定したら、温度調節スイッチをむやみに操作しないでください。

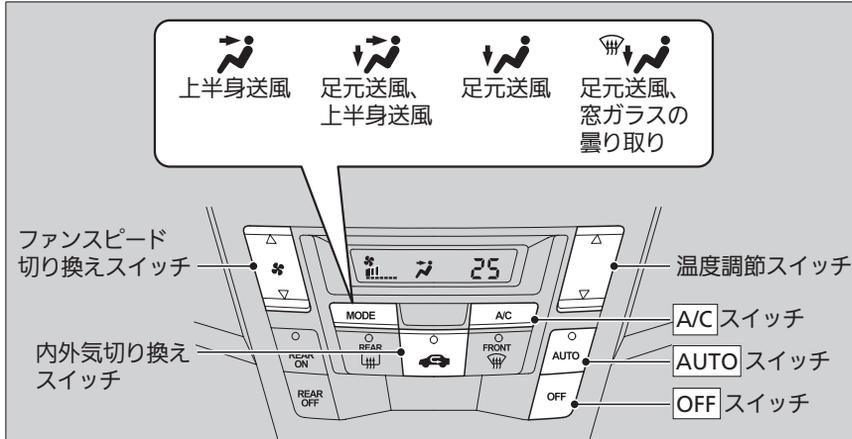
設定温度への到達時間が長くなることがあります。

長時間、冷風を体に当てないでください。
冷やしすぎは、健康上良くありません。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

設定温度表示で「Lo」は最大冷房を、「Hi」は最大暖房を示します。

後席用クーラー装備車



エンジンをかけた状態で使用します。

1. **AUTO** を押す。
2. 温度調節スイッチで温度を調節する。
3. 停止するときは、**OFF** を押す。

■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて  を押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気 (表示灯点灯) : トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気 (表示灯消灯) : 換気を行う場合

■除湿暖房

暖房中に **A/C** を押すと、除湿暖房となります。

▶▶ オートエアコンの使いかた

オート(AUTO)で使用中心いすれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。このとき **AUTO** の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO** を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

希望温度に設定したら、温度調節スイッチをむやみに操作しないでください。

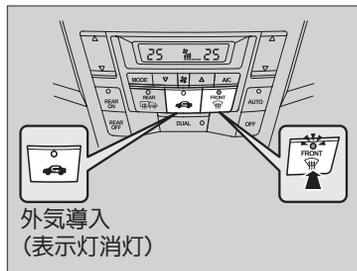
設定温度への到達時間が長くなることがあります。

長時間、冷風を体に当てないでください。冷やしすぎは、健康上良くありません。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

設定温度表示で「Lo」は最大冷房を、「Hi」は最大暖房を示します。

前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた



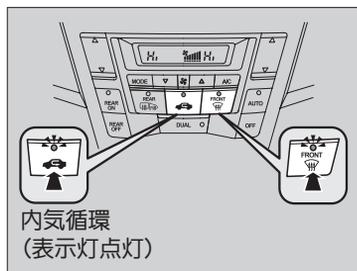
 を押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。

※前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

急速に霜を取りたいとき



1.  を押す。
2.  を押す。

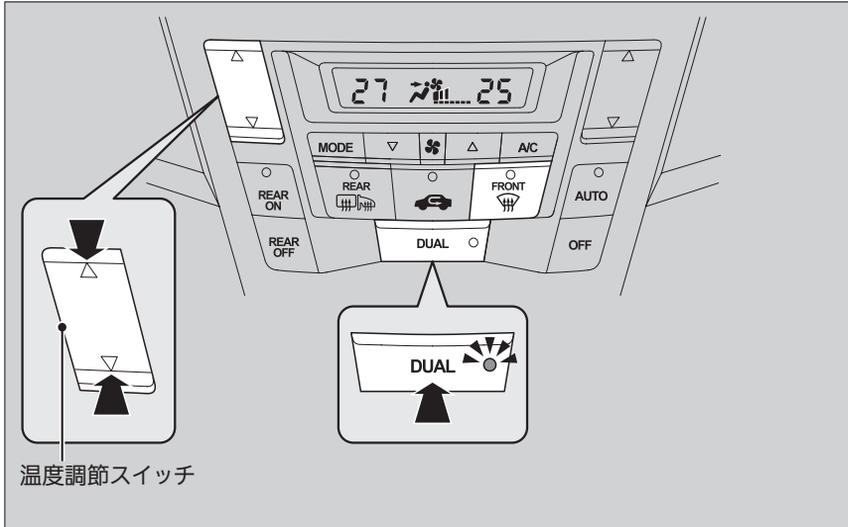
※急速に霜を取りたいとき

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。

内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

独立作動（デュアル）モード*

後席用オートエアコン装備車



温度調節スイッチ

エアコンの設定温度を運転席側と助手席側で個別に設定することができます。

1. **[DUAL]**または助手席側温度調節スイッチを押す。
▶ 独立作動モードに切り換わります。
2. 運転席側または助手席側の温度調節スイッチで温度を調節する。

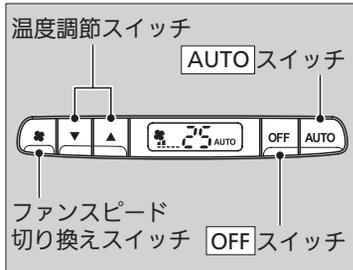
連動モードに戻すときは、**[DUAL]**を押します。

▶▶ 独立作動（デュアル）モード

[FRONT]を押すと、連動モードに切り換わります。

連動モードに戻すと、運転席側の設定温度に切り換わります。

■ 後席で操作するとき



エンジンをかけた状態で使用します。

1. **AUTO** を押す。
2. **▲** または **▼** で温度を調節する。
3. 停止するときは、**OFF** を押す。

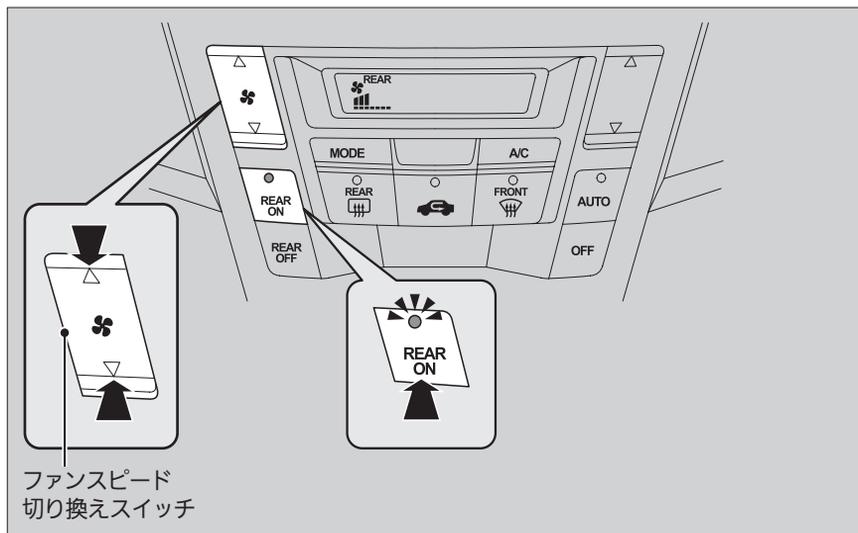
▶▶ 後席用オートエアコン

オート(AUTO)で使用しているいずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。このとき「AUTO」の表示は消えますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO** を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

後席用クーラー*

■ 前席で操作するとき



エンジンをかけた状態で使用します。

1. **REAR ON** を押す。
2. ファンスピード切り換えスイッチで風量を調節する。
3. 停止するとき、**REAR OFF** を押す。

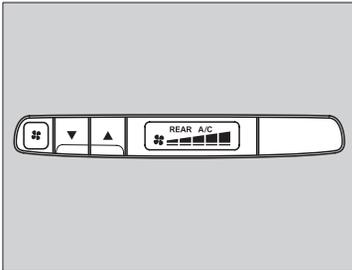
※ 後席用クーラー

炎天下に駐車したときは、窓を開けて熱気を追い出しながら冷房を開始してください。

前席エアコンがOFFのときは、後席用クーラーは送風のみとなります。

後席用クーラー設定画面は、**REAR ON** を押すか、数秒間操作しないと自動的に元の画面に戻ります。

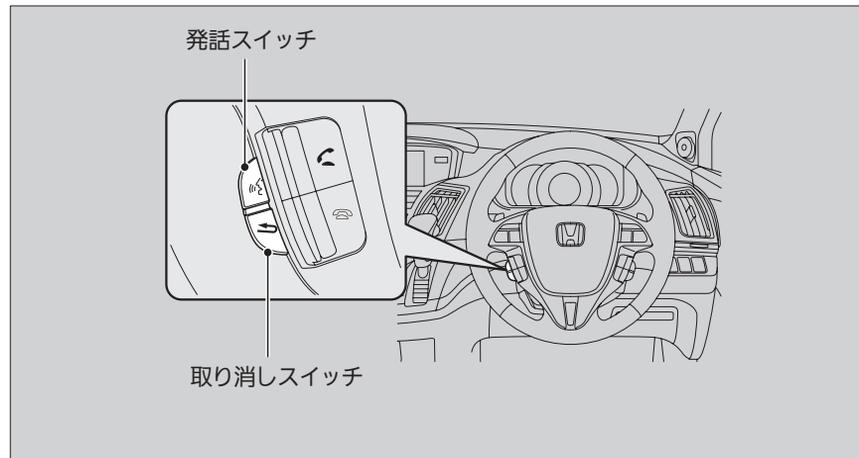
■ 後席で操作するとき



エンジンをかけた状態で使用します。

1. ▲ または ▼ を押す。
▶ 後席用クーラーのファンが作動します。
2. ▲ または ▼ で風量を調節する。
3. 停止するときは、▼ をファンが停止するまで繰り返し押す。

音声でエアコンを調節する*



1. 発話スイッチを押す。
2. ピッと音が鳴ったら、目的の操作を言う。

発した言葉 (例)	応答メッセージ
えあこんおん (エアコンオン)	エアコンをオンします
えあこんおふ (エアコンオフ)	エアコンをオフします
あつい	設定温度を 1 下げます
さむい	設定温度を 1 上げます
ないきじゅんかん (内気循環)	内気循環にします
がいきどうにゅう (外気導入)	外気導入にします
にじゅうごど (25°C)	設定温度を 25 にします (18 ~ 32°Cの間で設定可能)

※ 音声でエアコンを調節する

Honda インターナビシステムが音声を認識すると、応答メッセージが流れます。

音声操作の詳細は、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

■ 音声が正しく伝わらないとき

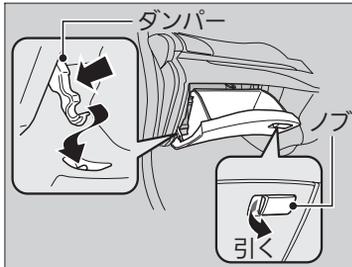
1. 取り消しスイッチを押す。
2. 再度、発話スイッチを押す。
3. ピッと音が鳴ったら、目的の操作を言い直す。

エアコンのお手入れ

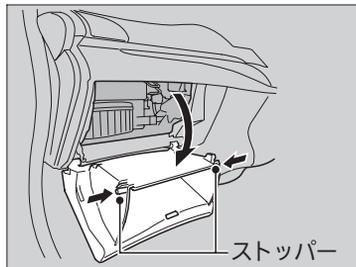
■ エアコンを常用しないとき

装置各部のオイルを切らさないため、ときどきエンジンを低回転させた状態で、数分間冷房または除湿暖房を行ってください。

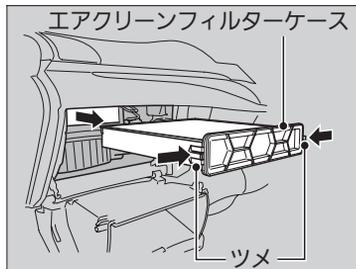
■ エアクリーンフィルターの交換



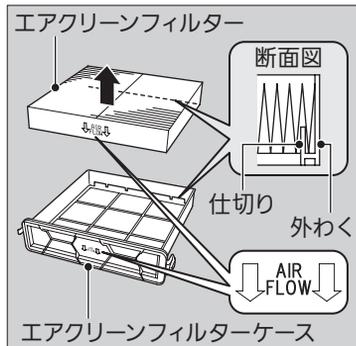
1. グローブボックスを開け、ダンパーを外す。



2. グローブボックスの両側に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。



3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースを引き出す。



4. エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを引き出す。
5. ケースの外わくと仕切りの間に、フィルターの端を差し込むようにして交換する。
 - ▶ 「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。

オーディオ



オーディオ装置.....	144
リヤカメラシステム	
リヤカメラシステムのカスタマイズ.....	146
カメラ画像について	148

オーディオ装置について

オーディオ・テレビ・DVD の取り扱いについては、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

リヤカメラシステム*

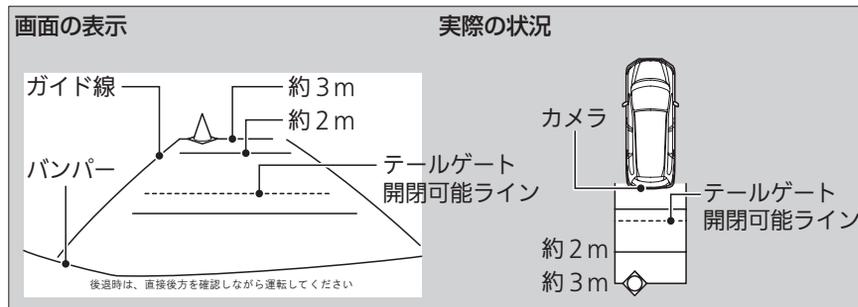
リヤカメラシステムについて

マルチビューカメラシステム装備車は、別冊の「マルチビューカメラシステム」取扱説明書をご覧ください。

リヤカメラシステムは、ナビゲーションシステムの液晶画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

セレクトレバーを **R** に入れると自動的に画面が切り換わります。

画面に表示される映像の範囲



リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

リヤカメラシステムについて

⚠ 注意

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。

画面を見るときは、必要最小限にする

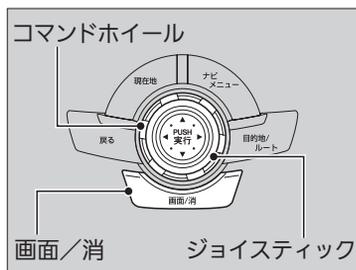
画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- リヤカメラシステムの映像は、ナビゲーション画面よりも優先して表示されます。
- エンジン始動直後は、セレクトレバーを **R** の位置に入れても、ナビゲーションシステムが起動するまでリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。

リヤカメラシステムのカスタマイズ

■ ガイド線の表示 / 非表示

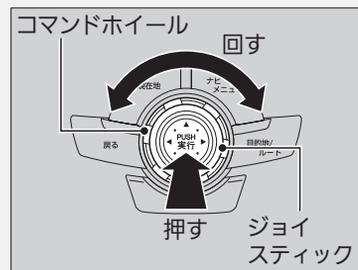


1. エンジンスイッチを **II** にして、セレクトレバーを **R** にする。
2. **画面 / 消** を押す。
▶ 調整項目選択画面が表示されます。
3. ジョイスティックを下げたて調整項目画面を切り換える。

4. コマンドホイールを回して **ガイド表示** を選択し、ジョイスティックを押す。
5. コマンドホイールで **設定完了** を選択し、ジョイスティックを押す。

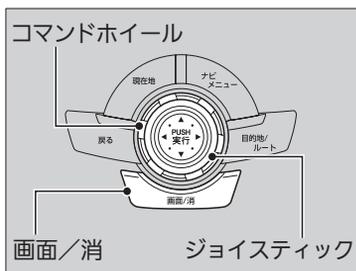
ガイド線を表示させるときは、再度**手順 1** から **5** を行ってください。

※ ガイド線の表示/非表示



項目を選択するには、コマンドホイールを回して項目を選び、ジョイスティックを押して確定させます。

画面調整のしかた



1. エンジンスイッチを **II** にして、セレクトレバーを **R** にする。
2. **画面/消** を押す。
 - ▶ 調整項目選択画面が表示されます。
3. コマンドホイールを回して **調整したい項目** を選び、ジョイスティックを押す。
 - ▶ 調整項目が決定します。
4. コマンドホイールを回して調整する。

明るさ	: -(暗い) ← → +(明るい)
コントラスト	: -(弱い) ← → +(強い)
黒の濃さ	: 黒 ← → 灰
色合い	: 赤 ← → 緑
色の濃さ	: -(薄い) ← → +(濃い)
5. 調整が終了したら、ジョイスティックを押す。
 - ▶ 調整項目選択画面に戻ります。続けて調整することができます。
6. すべての調整が終了したらジョイスティックを下げて調整項目画面を切り換える。
7. コマンドホイールで **設定完了** を選択し、ジョイスティックを押す。

画面調整のしかた

安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> • 夜間や雨の日、および暗い場所 • カメラが高温になっている場合 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合^{※1} 	気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> • カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合 • カメラのレンズが汚れている場合 	

^{※1} 強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、上下に光の筋ができるスマア現象が起きることがあります。



運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。

運転の前に.....	150	ブレーキ操作	
運転操作		ブレーキシステム.....	169
エンジンの始動.....	152	ABS (アンチロックブレーキシステム) ..	171
走行時の注意点.....	154	電子制御ブレーキアシスト	172
オートマチックについて	155	CMBS (追突軽減ブレーキ)	173
オートマチック車の		駐停車操作	177
シフト操作.....	156,160,162	給油	
クルーズコントロール	164	指定燃料について.....	179
VSA (ビークルスタビリティアシスト) ..	167	給油のしかた.....	179
		アクセサリーと改造.....	182

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
 - ▶ 霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
 - ▶ 屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
 - ▶ 足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
 - ▶ 走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
 - ▶ 空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
▶ **タイヤの点検と整備 P.204**
- 車の周囲に子供はいないか？
車の周りに障害物はないか？
 - ▶ 運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

車内での確認項目

- フロアマットがペダルに引っかかっているか？
- フロアマットが固定されているか？
- フロアマットを重ねていないか？
 - ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。

車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。

無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。

凍結すると、キーが差し込めなくなります。

車内での確認項目

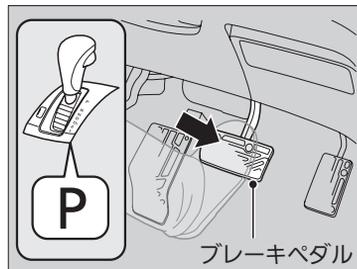
運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合ったフロアマットをお使いください。

- フロントシートの足元にものを置いていないか？
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
 - ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか？
 - ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
 - ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
 - ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
 - ☒ **シートの調節** P.110
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
 - ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
 - ☒ **ミラー類の調節** P.108
 - ☒ **ハンドルの調節** P.107
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
 - ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
 - ☒ **シートベルトの着用** P.24
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか？
 - ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが確実に閉まっているか確認します。
 - ☒ **車内での施錠 / 解錠** P.83
- エンジンかけたとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
 - ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
 - ☒ **警告灯** P.53

エンジンの始動



1. パーキングブレーキをかける。

2. セレクトレバーが **P** であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。

▶ **N** でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される **P** で行ってください。

⊠エンジンの始動

⚠警告

バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。

バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

知識

寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリーをOFFにしてから行います。

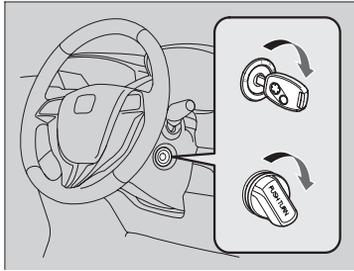
寒いときのエンジンの始動は、バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリーをすべてOFFにしてから行ってください。

エンジンスイッチを15秒以上 **III** にしないでください。

エンジンがかかったらすぐに、手を離してください。自動的に **II** に戻ります。

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。そのため、あらかじめ登録されたキーでないとうエンジンの始動ができません。

⊠イモビライザーシステム P.91



3. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを **III** に回す。
 - ▶ エンジンがかかったら、エンジンスイッチを離します。

発進時の操作

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを **D** にする。
 - ▶ 後退する場合は **R** にします。
2. パーキングブレーキを解除する。
 - ▶ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。
 - **パーキングブレーキ** P.169
3. ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

▶▶ エンジンの始動

知識

エンジンがかからない場合は、10秒以上待ってから操作してください。

エンジンがかからない、かかってもすぐに止まる場合は、10秒以上待ってからアクセルペダルを軽く踏みながら**手順3**を繰り返してください。エンジンがかかったらアクセルペダルを離します。

アドバイス

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおい기가消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。

Honda販売店で点検を受けてください。

▶▶ 発進時の操作

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。

車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

⚠ 注意

アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。

急発進して思わぬ事故の原因となります。

走行時の注意点

■ 霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

■ 風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。

トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

■ 雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。

わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンの破損や電装品の故障につながるおそれがあります。

■ その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

※ 走行時の注意点

走行中はエンジンを止めないでください。

下記のような状態になり危険です。

- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

走行中はセレクトレバーを **N にしないでください。**

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

※ 雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。

ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

オートマチックについて

■ クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

■ キックダウン

セレクトレバーが[D][S]で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

※ クリープ現象

知識

エンジン始動直後は、クリープ現象が強くなります。

エンジン始動直後やエアコン作動時は、自動的にエンジン回転が上がリクリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。

ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

※ キックダウン

上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がリ、速度が出すぎてしまうことがあります。

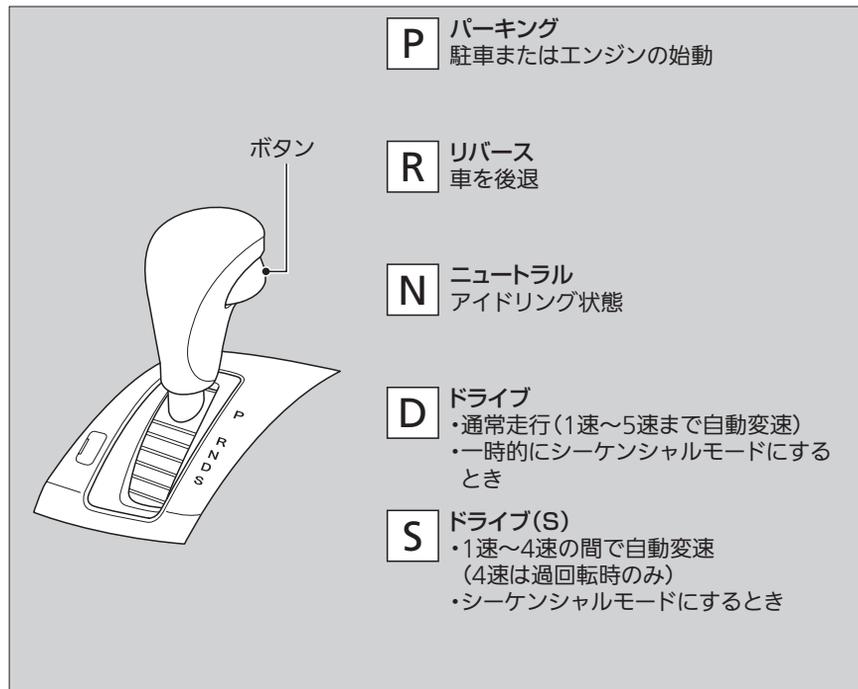
アクセルペダルは慎重に操作してください。滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

シフト操作

Absolute

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■セレクトポジションの名称とはたらき



☒シフト操作

セレクトレバーが**P**以外のときは、エンジンス
イッチが**0**まで回らないため、キーを抜くこ
とはできません。

Rのポジションのときは、チャイム音が鳴り運
転者にセレクトレバーが**R**に入っていることを
知らせます。

Nのポジションのときでも、エンジンが冷えて
いるときはトランスミッションフルードの粘性
により、車がわずかに動き出すことがあります。
ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に
応じてパーキングブレーキをかけてください。

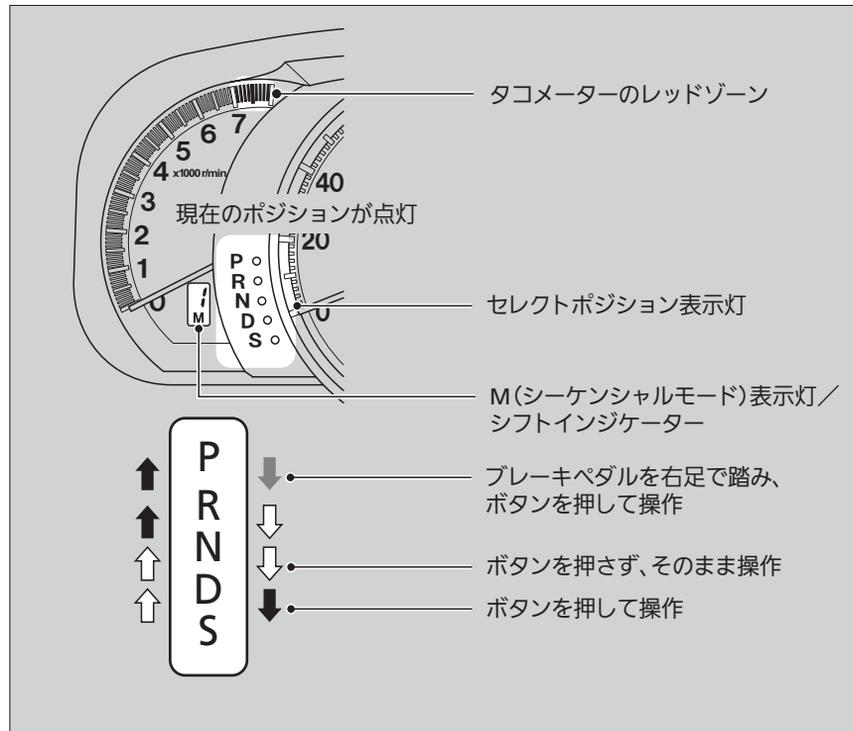
⚠注意

**シフトダウンする際の車速には、十分注
意する。**

滑りやすい路面では、急激なエンジンブ
レーキがタイヤのスリップを招くことがあり
ます。

■ セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。
エンジンスイッチを **II** にすると、**D** が数秒点灯します。



次ページに続く

▶▶ セレクトレバーの操作

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても **D** の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン(限界回転数)以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります

■ シーケンシャルモードとは

ハンドルにあるシフトスイッチで、ハンドルから手を離さずに手動で1～5速まで変速することができます。走行中にシフトスイッチを引くと、シーケンシャルモードへ切り換わります。

■ セレクトポジションが[D]のとき

一時的にシーケンシャルモードとなり、シフトインジケーターが点灯します。定速走行の状態になると、シーケンシャルモードは自動的に解除され、シフトインジケーターが消灯します。カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

■ セレクトポジションが[S]のとき

シーケンシャルモードとなり、**[M]**表示灯とシフトインジケーターが点灯します。10km/h以下になると、自動的に1速にシフトダウンします。車速が上がっても自動的にシフトアップはしません。

発進は1速または2速でのみ行うことができます。

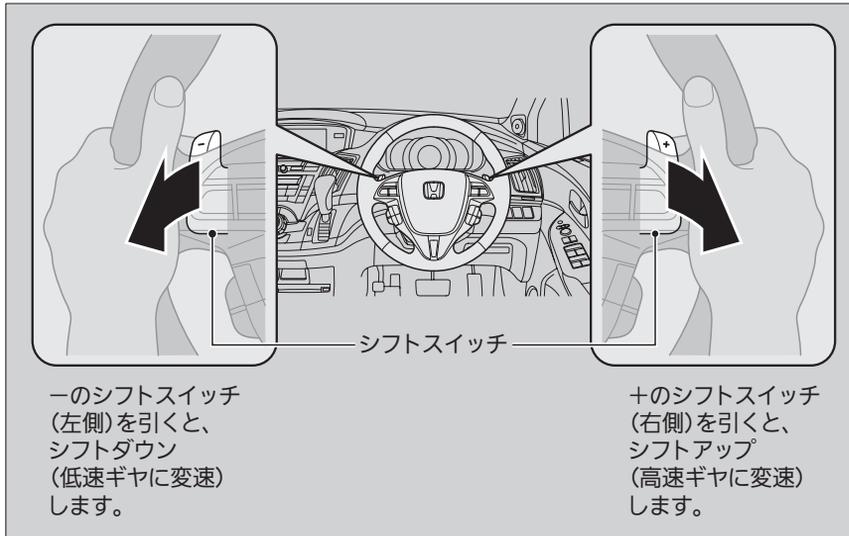
モードを解除する場合は、セレクトレバーを**[S]**から**[D]**に動かしてください。シーケンシャルモードが解除され、**[M]**表示灯とシフトインジケーターが消灯します。

■ 2速固定モード

セレクトポジションが**[S]**で停止または10km/h以下のときに、+側のシフトスイッチを引くと2速固定モードになり2速に固定されます。雪道などの滑りやすい路面で発進しやすくなります。

2速固定モードを解除する場合は、+側または-側のシフトスイッチを引くか、セレクトレバーを**[S]**から**[D]**に動かしてください。

■ シーケンシャルモードの操作



▶▶ シーケンシャルモードの操作

1回のシフトスイッチ操作で、ギヤは1段変速します。

連続して変速する場合は、いったんシフトスイッチから指を離してから操作してください。シフトスイッチを引いたままにしても、連続変速はしません。

シーケンシャルモードでは、以下の条件のときにシフトスイッチを操作すると変速します。

セレクトレバーが[D]のとき

	シフトアップ	シフトダウン
1速←→2速	10km/h以上	38km/h以下
2速←→3速	10km/h以上	88km/h以下
3速←→4速	34km/h以上	100km/h以下
4速←→5速	48km/h以上	

セレクトレバーが[S]のとき

	シフトアップ	シフトダウン
1速←→2速	0km/h以上	50km/h以下
2速←→3速	10km/h以上	100km/h以下
3速←→4速	34km/h以上	140km/h以下
4速←→5速	48km/h以上	

シフトダウン時に速度範囲を超えているときは、表示灯が点滅します。

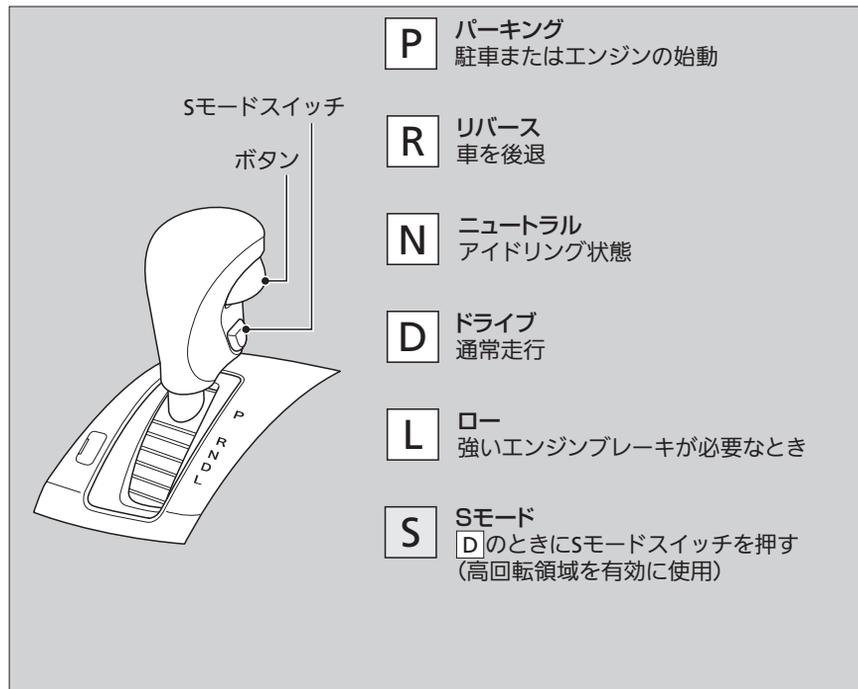
点滅している間に車速が速度範囲内に下がるとシフトダウンを行います。

シフト操作

M、L、Liタイプ (CVT車)

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■セレクトポジションの名称とはたらき



※シフト操作

セレクトレバーが**P**以外のときは、エンジンスイッチが**0**まで回らないため、キーを抜くことはできません。

Rのポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが**R**に入っていることを知らせます。

Nのポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

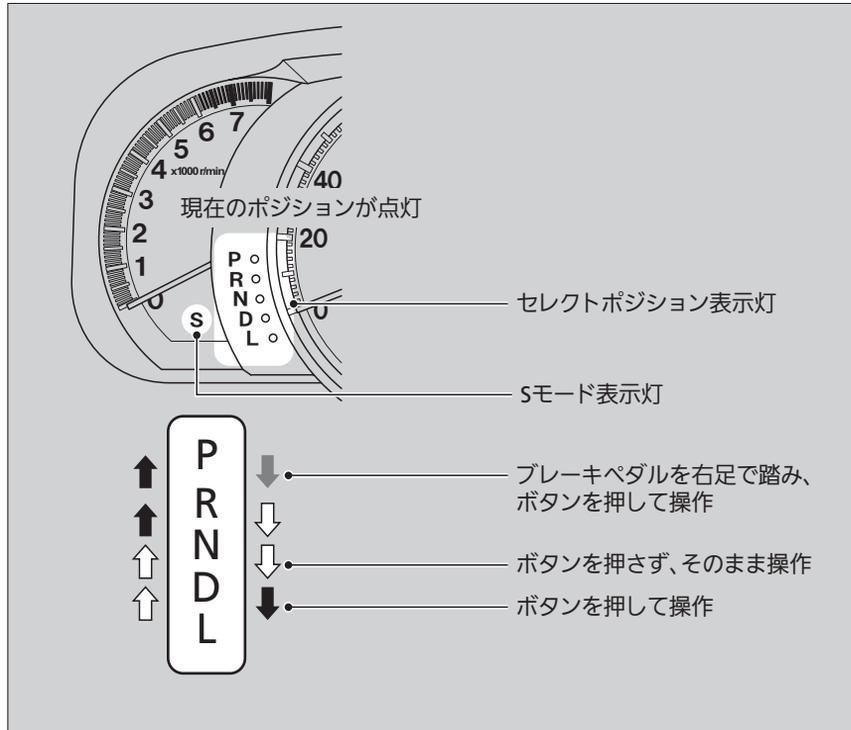
⚠ 注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。

滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

■ セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。
エンジンスイッチを **II** にすると、**D** が数秒点灯します。



▶▶ セレクトレバーの操作

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても **D** の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

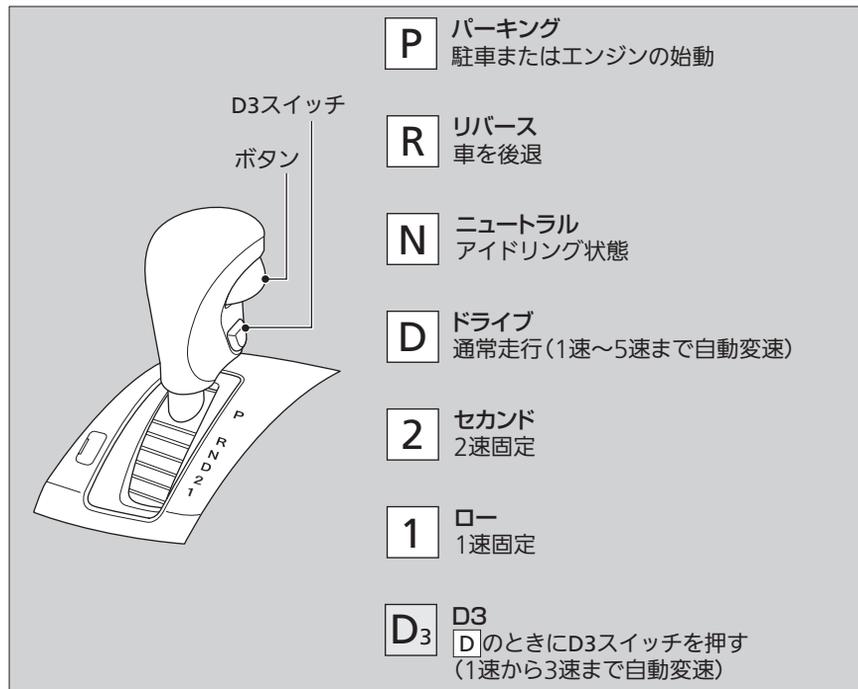
車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります

シフト操作

M、L、Liタイプ (5AT)車

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■セレクトポジションの名称とはたらき



☒シフト操作

セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが0まで回らないため、キーを抜くことはできません。

Rのポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーがRに入っていることを知らせます。

Nのポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

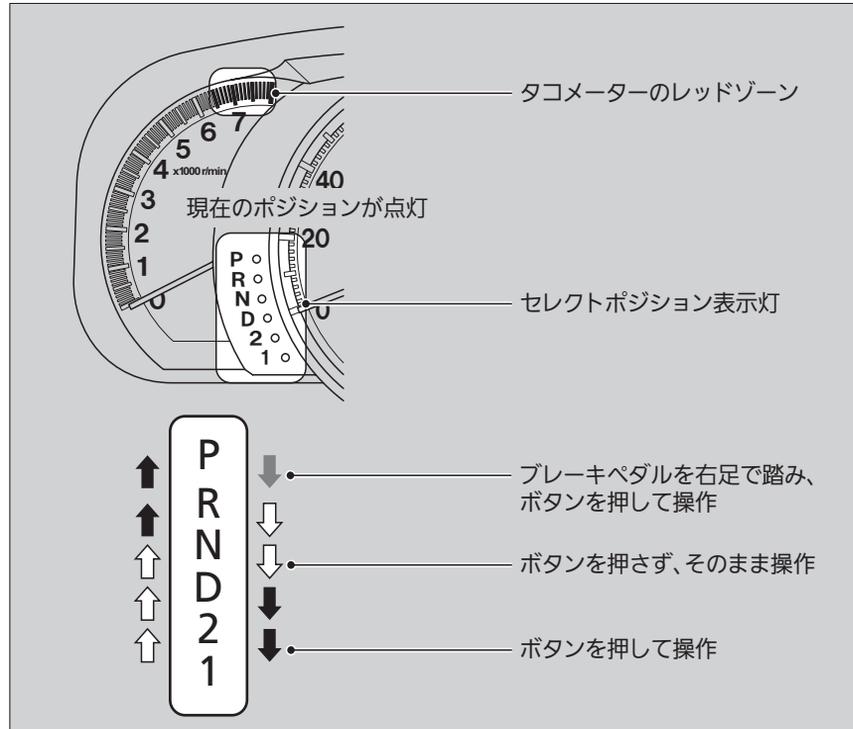
⚠注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。

滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

■ セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。
エンジンスイッチを **II** にすると、**D** が数秒点灯します。



▶▶ セレクトレバーの操作

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても **D** の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン（限界回転数）以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります

クルーズコントロール*

高速道路のような加速・減速操作の少ない自動車道などで、定速運転をするときアクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つための装置です。

クルーズコントロールは手元のスイッチ操作で、車速の上げ/下げなどが行えます。

こんなときに

■使用できるシフトポジション

Absolute **D** または **S** で2速以上のとき

L、**Li**、**D** のとき

■使用できる車速

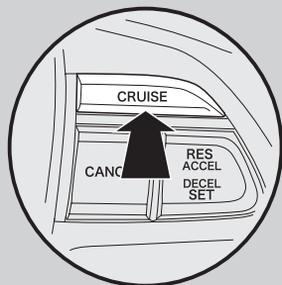
約30km/h～100km/hの希望値

十分な車間距離がある

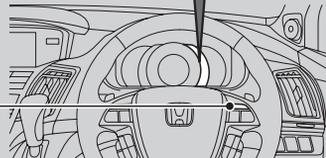


操作

■ハンドルの**CRUISE**スイッチを押す



メーターの**CRUISE MAIN**が点灯
クルーズコントロールがONになります



⊠クルーズコントロール



警告

下記のような道路で、クルーズコントロールを使用しない。

道路状況によっては、思わぬ事故につながります。

- **混んでいて、車間距離が十分にとれない道路**

道路状況に合った速度で走行できません。

- **急な下り坂のある道路**

エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。

- **凍結や積雪などで滑りやすい道路**

タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

知識

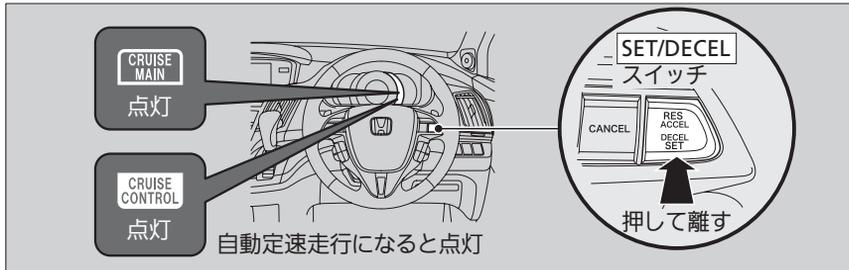
エンジンスイッチを**1**または**0**にすると

クルーズコントロールは自動的にOFFになります。

上り坂や下り坂では、条件により一定速度を保てない場合があります。

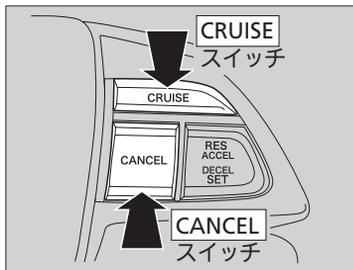
CVT車は、ECONモードがONのときは、よりスムーズな加速となります。

■ 車速をセットするには



アクセルペダルで希望の車速を出し、**SET/DECEL** を押します。
SET/DECEL を離すと、離れたときの車速にセットされ自動定速走行になります。
 同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が点灯します。

■ 解除するには



次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が消灯します。

- **CANCEL** を押す
- **CRUISE** を押す
- ブレーキペダルを踏む
- セレクトレバーを **N** にする

▶▶ クルーズコントロール

自動定速走行をしないとき

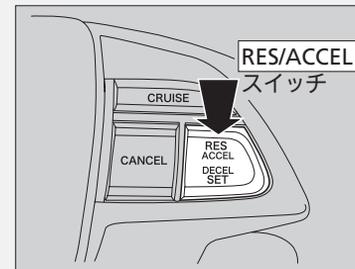
安全のため **CRUISE** を押してOFFにしてください。

エンジンスイッチを **1** または **0** にすると、**CRUISE** は自動的にOFFになります。

▶▶ 解除するには

解除前の設定車速に復帰させる

自動定速走行を解除したあとも、30km/h以上の車速で走行中に **RES/ACCEL** を押すことで、解除前の設定車速の自動定速走行に戻すことができます。



ただし、下記の場合は復帰できません。

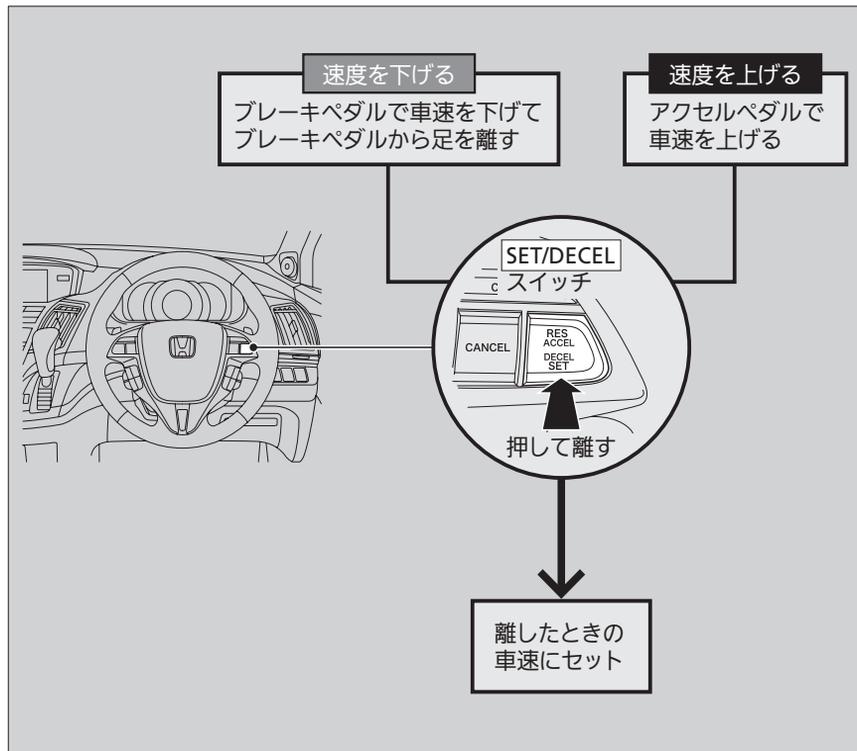
- 解除後、車速が30km/h未満になったとき
- **CRUISE** でOFF操作をしたとき

車速が25km/h以下になると

自動的に自動定速走行が解除になります。

■ 車速を調節するには

アクセルペダル、ブレーキペダルの操作で希望車速を上げ/下げして、手元の **SET/DECEL** で車速を設定することができます。



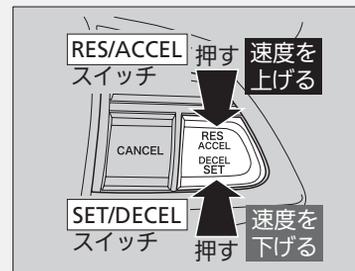
☒ 車速を調節するには

手元のスイッチで車速を調節

手元の **RES/ACCEL** と **SET/DECEL** の操作でも、車速を上げ/下げすることができます。

RES/ACCEL スイッチ

- 1回押すごとに
約1.5km/hずつ車速が上がる
- 押し続けると
車速が上がり、手を離れたときの車速に固定



SET/DECEL スイッチ

- 1回押すごとに
約1.5km/hずつ車速が下がる
- 押し続けると
車速が下がり、手を離れたときの車速に固定

VSA (ビークルスタビリティアシスト)*

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

■ ABS (アンチロックブレーキシステム)機能 ▶ P.171

■ TCS (トラクションコントロールシステム)機能

滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

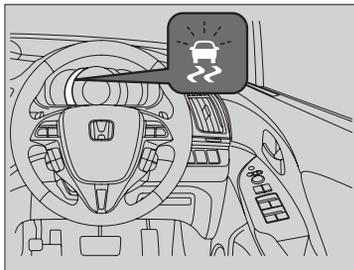
■ 横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装着しています。

▶▶ 電子制御ブレーキアシスト P.172

VSA の作動と警告灯



TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 警告灯が点滅します。

▶▶ VSA (ビークルスタビリティアシスト)

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

新雪やぬかるみから脱出したいときに、でVSAをOFFにするとエンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が空転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS機能と横滑り抑制機能がOFFになるため、走行には十分に気をつけてください。

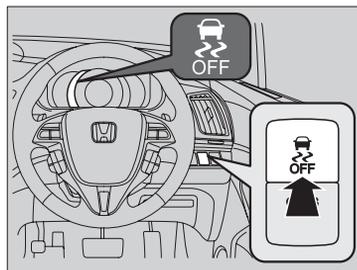
アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSAが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

VSA警告灯が運転中に点灯するときや、エンジンスイッチをにしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。

通常の運転には支障はありませんが、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

■ VSA の ON と OFF



VSA を停止 (OFF) 状態にするには、 を“ピッ”とブザーが鳴るまで押してください。

VSA が停止状態になり VSA OFF 警告灯が点灯します。

再度使用 (ON) するには、 を“ピッ”とブザーが鳴るまで押します。

4WD (四輪駆動機構)*

4WD (四輪駆動機構) は、積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において、2WD 車 (二輪駆動車) に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありませんので以下の点に注意してください。

- アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行う
- 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすい場所での連続走行はしない
- 渡河などの水中走行はしない
- ブレーキ性能は 2WD 車と比べてほとんど差がないため、滑りやすい路面では十分に車間距離をとって走行する

※ VSA (ビークルスタビリティアシスト)

知識

前回の走行時に OFF にした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的に ON になります。

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

※ 4WD (四輪駆動機構)

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、4WD が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

知識

4WD の状態で走行中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上がると、システム保護のため 4WD から 2WD に切り換わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WD に復帰します。

ブレーキシステム

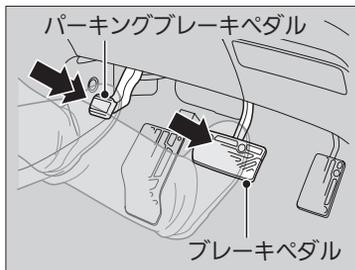
■ パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキペダルにより操作します。



■ パーキングブレーキをかける

左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込む。



■ パーキングブレーキを解除する

1. 右足でブレーキペダルを踏む。
2. 左足でパーキングブレーキペダルを踏み、ゆっくりと戻す。

▶▶ パーキングブレーキ

アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車軸が損傷するおそれがあります。パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

知識

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、「パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー」が鳴ります。

完全に解除すると、ブザーは止まります。

停車したときも、ブザーは止まります。

パーキングブレーキを解除するときは、いったん停車してから操作してください。

駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時は、凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけないでください。

セレクトレバーを[P]にして、石などで輪止めをしておきます。

■ フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。緊急制動時により大きな制動力を発生させる電子制御ブレーキアシストが装備されています。

また、ブレーキのロックを防止する ABS (アンチロックブレーキシステム) で、安全性の向上を図っています。

☒ABS (アンチロックブレーキシステム) P.171

☒フットブレーキ

ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。

Honda販売店で点検を受けてください。また、きしむような音がときどき聞こえるのは、異常ではありません。

知識

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

■ ABS とは

ABS (アンチロックブレーキシステム)とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

■ ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これはABSの正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。なお、低速(車速約10km/h以下)ではABSは作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



ABS 警告灯

エンジンスイッチを **II** にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

▶▶ ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABS警告灯が運転中に点灯するときや、エンジンスイッチを **II にしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。**

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABSが作動していない可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABSは、制動距離を短くするためのものではありません。

ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABSの装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

電子制御ブレーキアシスト*

■ 電子制御ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

■ 電子制御ブレーキアシストの作動

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

➤VSA (ビークルスタビリティアシスト) P.167

E-プリテンショナー装備車

ブレーキアシストの作動と同時に運転席と助手席のシートベルトが引き込まれます。

➤E-プリテンショナー P.24

☒ 電子制御ブレーキアシスト

知識

VSA警告灯が点灯しているときは、VSAシステムによる電子制御ブレーキアシストは作動しません。

なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。

CMBS (追突軽減ブレーキ)*

自車が前方の車両のほぼ真後ろから追突のおそれがあるとき、運転者のブレーキ操作を支援し、追突するときの衝撃を軽減する装置です。

こんなときに

前方の車両と比べて時速差が
15km/h以上速い場合



追突のおそれを検知

エンブレムの奥に、
CMBSのレーダーセンサーを装備

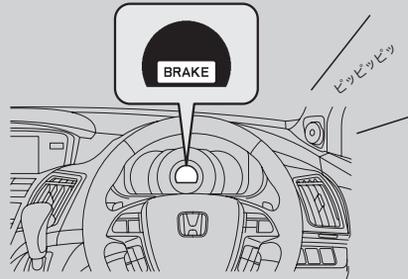


作動

追突警報
↓
追突軽減ブレーキが作動します。

- ・ディスプレイに警告表示
- ・警告ブザーが鳴る
- ・弱いブレーキで注意をうながす
- ・E-プリテンショナーが作動
- 同時に、運転席と助手席のシートベルトを巻き取り、拘束効果を高めます。
- ・続いて、追突するときの衝撃を軽減するためのブレーキが作動
- ・CMBSによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

オレンジ色の点滅



CMBS が作動しないのは、下記の場合です。

- ・前方の車両との車間距離が極端に短いとき
- ・交差点などで、自車の前方に車が飛び出したとき
- ・歩行者や動物に対して

▶▶ CMBS (追突軽減ブレーキ)



CMBS (追突軽減ブレーキ)は、追突を自動的に回避したり、車を自動的に停止することはできません。

正しく運転しないと追突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

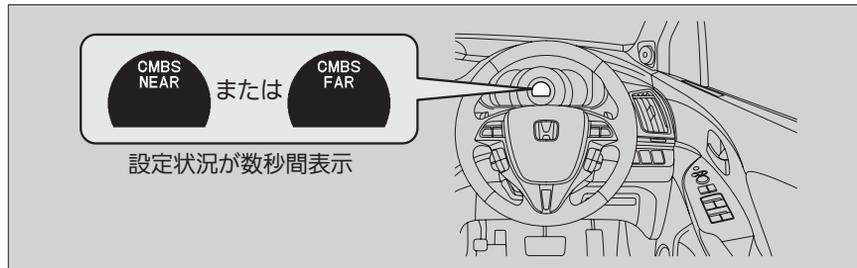
次のような場合には、前方の車両を正しく検出できず、CMBSが作動しない場合があります。

- ・自車の前方に別の車両が割り込み、急な減速を行ったとき
- ・急加速を行い、前方の車両に接近しているとき
- ・雨、霧、雪などの悪天候で、レーダーが検知しにくいとき
- ・カーブなどの道路状況により、レーダーで前方の車両を正しく検出できないとき
- ・自転車や二輪車など、レーダーが検知しにくいとき
- ・フロントグリルのエンブレムが汚れているとき
- ・衝突を回避しようとして、運転者がブレーキやハンドルを操作した場合

運
転

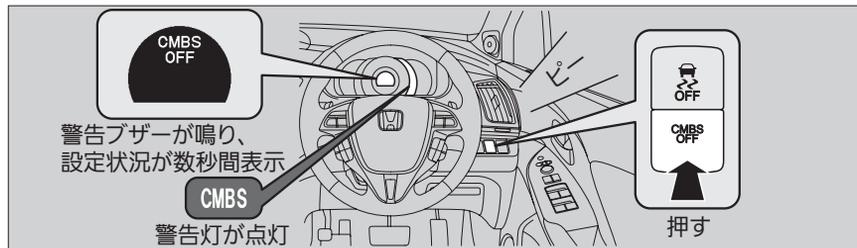
■ CMBS を使用 (ON) する

エンジンスイッチを **II** にすると、設定状況が数秒間表示され追突軽減ブレーキは ON になります。



■ CMBS を停止 (OFF) する

CMBS を停止 (OFF) 状態にするには、ハンドル右横の **CMBS OFF** を「ピーツ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用 (ON) するには **CMBS OFF** を「ピーツ」とブザーが鳴るまで押します。



☒ CMBS (追突軽減ブレーキ)

以下のような場合、CMBSが自動停止し、CMBS警告灯が点灯します。

CMBS

- タイヤの異常を検出したとき
- 山岳路や悪路を長時間走行したとき
- パーキングブレーキをかけて走行したとき
- 雨、霧、雪などの悪天候となったとき
- フロントグリルのエンブレムが汚れたとき

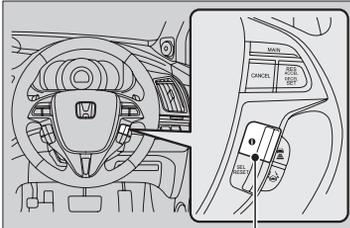
CMBSが作動できる状態になると、CMBSは自動復帰します。

CMBSを停止 (OFF) にした状態でエンジンを切ると、再始動時にCMBSは停止 (OFF) となっています。

エンジンスイッチを **II** にするときは、車を静止させてください。駐車場のターンテーブル上など、車両が動いているときにエンジンスイッチを **II** にすると、ヨーレートセンサーが正しく機能しなくなり、走行中に前方の車両を正しく検知できないことがあります。

■ 追突警報距離の切り換え

道路状況に合わせて、追突警報距離を切り換えることができます。



インフォメーション(i)スイッチ

1. インフォメーション (i) スイッチを数秒間押し続ける。
▶ 「カスタマイズエントリー」画面に切り換わります。
2. 「CMBS 設定」を選択し、決定する。
▶ 「カスタマイズセットアップ」画面に切り換わります。



▶▶ CMBS (追突軽減ブレーキ)

NEAR、FARどちらの場合も、ブレーキ作動開始は変わりません。

- エンブレムが汚れてレーダーセンサーが前の車両を検知しにくい場合、警報がディスプレイ上に表示されます。
- 雨、霧、雪などの悪天候のときにも、下記の表示が出る場合があります。



汚れの場合は、安全な場所でエンブレムの汚れを拭き取ってください。

エンブレムの汚れを拭き取ったあとに、エンジンを再始動しなかったときでもシステムは復帰しますが、状況により復帰に時間がかかる場合があります。



3. 「NEAR」か「FAR」を選択し、決定する。
- ▶ 「NEAR (FAR)に設定しました」と数秒間表示された後、「カスタマイズエントリー」画面に戻ります。
 - ▶ 走行中またはセレクトレバーが[P]以外
のときは、通常表示に戻ります。



4. 「戻る」を選択し、決定する。
- ▶ 通常画面に切り換わります。

■ 追突以外での作動について

次のような場合、CMBS が作動することがあります。車間距離を確保し、適切な速度で走行してください。

- 追い越しや交差点などで前方の車両や対向車に接近して走行するとき
- 低いゲートや狭いゲートなどを規制速度を超えるような速度で通過しようとするとき

道路や自車の状況により、一時的にとりの車線の車や周囲の設置物、道路の段差、落下物を検知してCMBS が作動することがあります。

■ CMBS (追突軽減ブレーキ)

システムを正しく正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- エンブレムは常にきれいにしておく
- エンブレムのお手入れにベンジン、シンナー類、クレンザーなどの磨き粉類を使わない
- エンブレムにステッカーを貼らない
- エンブレムを交換しない

次の場合は、Honda販売店にご相談ください。

- レーダーセンサーに衝撃が加わったとき
- フロントグリル周辺の修理を行うとき

サスペンションの改造はしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

次のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- カーゴスペースや座席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- タイヤが指定空気圧に調節されていないとき

停車する

1. セレクトレバーは[D]のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
 - ▶ 停車時間が長い場合は[N]にします。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかける。

駐車する

1. セレクトレバーは[D]のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
3. セレクトレバーを[P]に入れる。
4. エンジンを切る。
 - ▶ 車から離れるときは必ず施錠してください。

※ 停車する

注意

停車中の空ぶかしはしない。

万一、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で[P][N]以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。

トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

※ 駐車する

注意

駐車時はエンジンを止める。

万一、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

車が完全に止まらないうちに[P]に入れしないでください。

トランスミッション破損の原因となります。

■ 立体駐車場について

立体駐車場入庫時は制限寸法（全長、全幅、全高、重量）に注意してください。制限を満たしていない場合は、入庫しないでください。

☒ 駐車する

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

仮眠するときは、エンジンを止めてください。

無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。

車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

積雪時は、ワイパーアームを起こしてください。

雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。

指定燃料について

■ 指定燃料

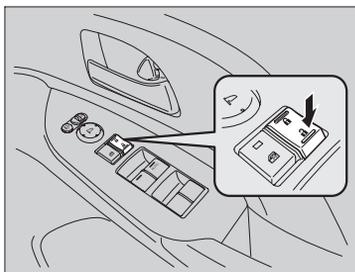
Absolute 無鉛プレミアムガソリン

M、L、Li 無鉛レギュラーガソリン

■ タンク容量

60 リットル

給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくするように車を停める。
2. エンジンを停止させる。
3. マスタードアロックスイッチで運転席ドアを解錠する。
 - ▶ 車の外側のフューエルリッドが解錠されます。

▶ 指定燃料について

指定燃料以外の燃料（有鉛ガソリン、粗悪ガソリン、軽油、灯油、高濃度アルコール含有燃料）を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。

以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

▶ 給油のしかた



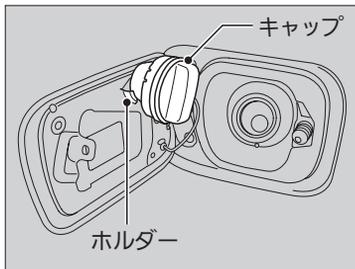
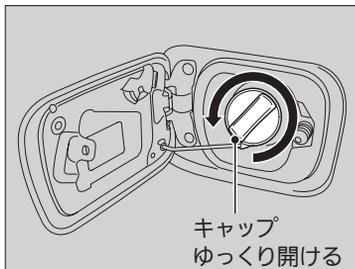
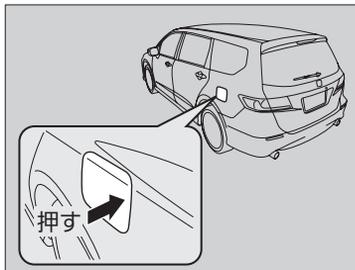
警告

燃料補給時は火気厳禁。

燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に止める
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱い屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



4. フューエルリッドの右端を突き当たるまで押し、手を離す。
▶ リッドが少し浮き上がります。

5. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。

▶ キャップはホルダーにかけ、給油します。

6. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。

▶ 満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

☒給油のしかた

警告

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。

静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

知識

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。

燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

注意

キャップはゆっくり開ける。

急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

燃料蒸気を吸わないでください。

燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

7. 給油後、「カチッ」という音が1回以上するまでキャップを締め付ける。
▶ フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

▶▶ 給油のしかた

 **注意**

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。

気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。

閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda純正以外のキャップを使わないください。

純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

知識

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
 - ▶ アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。
また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
 - ▶ サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けしないでください。

車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品には下記のマークが付いています。

HONDA

GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。



メンテナンスの前に	
点検整備について.....	184
メンテナンスを安全に行うために.....	185
メンテナンスに関する注意事項.....	185
ボンネット内のメンテナンス	
ボンネット内のメンテナンス項目.....	186
ボンネットを開ける.....	187
推奨エンジンオイル.....	188
ウインドウォッシャー液の補給.....	188
電球の交換	189
ワイパーブレードラバーの点検と整備	201
タイヤの点検と整備	
タイヤの点検.....	204
タイヤのローテーション.....	206
冬期のタイヤ.....	207
キーレスエントリー一体キー/ Hondaスマートキー	
キーレスエントリー一体キー/ Hondaスマートキーの取り扱いと 電池交換.....	208
清掃	
日常のお手入れ.....	211
車内の清掃.....	211
車外の清掃.....	212

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。

普段と違う点（音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど）に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

■点検整備の種類

■日常点検

長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■定期点検

12 か月および 24 か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。

お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

■ メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

■ 車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
 - ▶ エンジンをかけるときは必ず十分な換気を行ってください。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
 - ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
 - ▶ 指示されたとき以外は、エンジンをかけないでください。

メンテナンスに関する注意事項

■ メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

▶▶ メンテナンスを安全に行うために



警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。

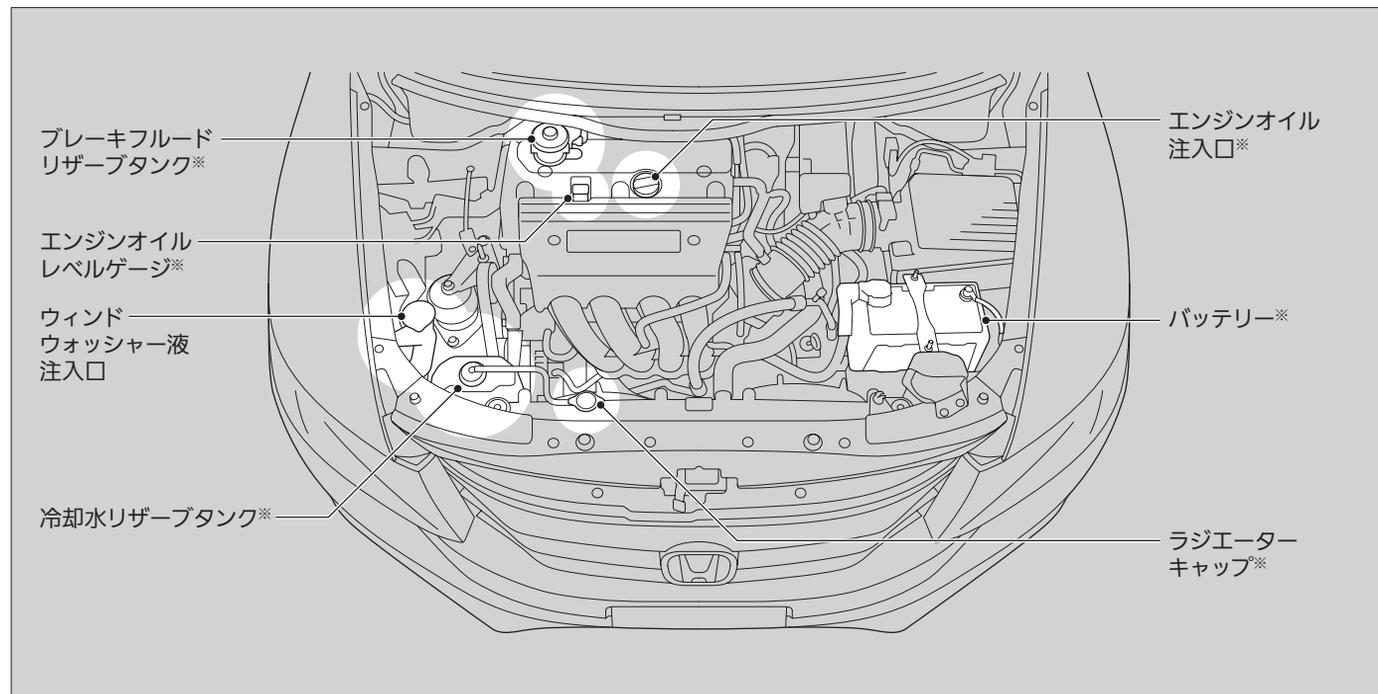
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。

必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。

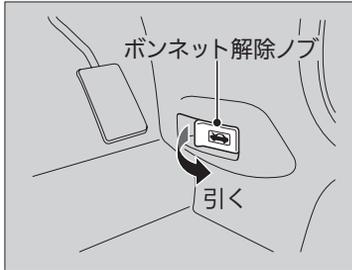
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

ボンネット内のメンテナンス項目

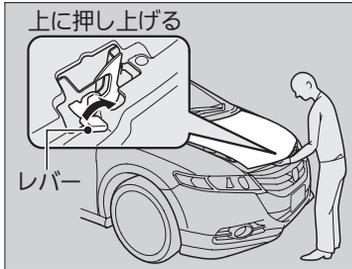


※点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

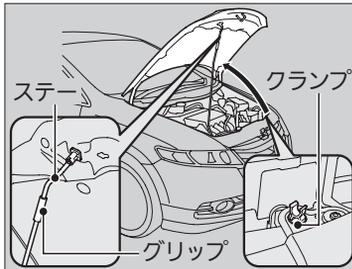
ボンネットを開ける



1. 車を止め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。
▶ ボンネットが少し浮き上がります。



3. ボンネット中央のレバーを上押ししてロック機構を解除し、ボンネットを開ける。



4. グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約 30cm の高さから手を離します。

▶▶ ボンネットを開ける

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。

ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。



注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

推奨エンジンオイル

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながる場合があります。

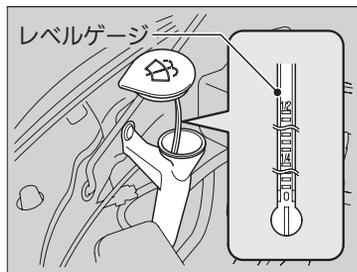


推奨エンジンオイル:

Honda純正エンジンオイル、
☑Honda純正エンジンオイル P.244,245
API SM級以上かオイル缶にAPI
CERTIFICATION (エーピーアイ
サーティフィケーション) マークの
入ったエンジンオイル

ウィンドウォッシャー液の補給

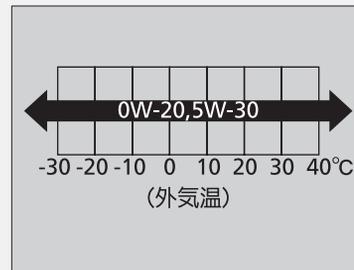
ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

☑推奨エンジンオイル

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

☑ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

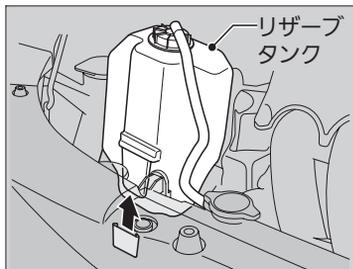
ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ハイビームヘッドライト : 12V-60W

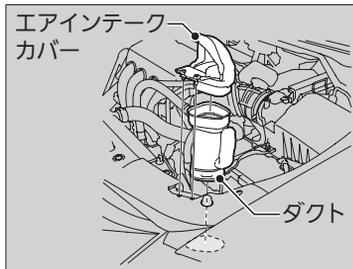
ロービームヘッドライト : 12V-35W

■ ハイビームヘッドライト



右側ハイビームヘッドライト

1. エンジン冷却水リザーブタンクを取り外す。

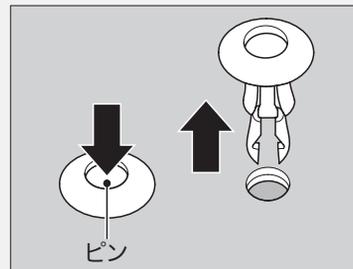


左側ハイビームヘッドライト

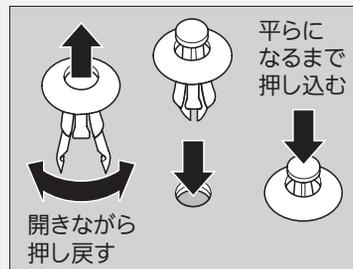
1. クリップのロックを解除して、エアインテークカバーおよびダクトを取り外す。

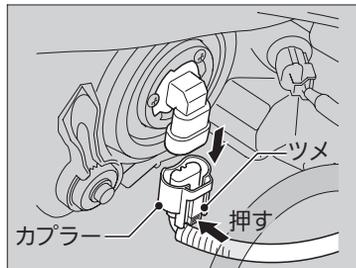
▶▶ ヘッドライト電球

クリップのロックを解除するときは、クリップ中央部のピンを「カチッ」と音がするまで軽く(2mm程度)押し込みます。



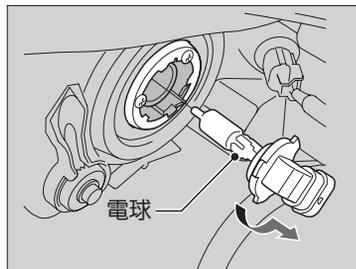
固定するときは、クリップ中央部のピンを押し戻して、取り付け穴に差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。





右側・左側ハイビームヘッドライト

2. カプラーを外す。
▶ カプラーはツメを押しながら外します。



3. 古い電球を左に回し、抜き取る。
4. 新しい電球を右に回して固定する。
5. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

ロービームヘッドライト

電球の点検や交換は必ず Honda 販売店に依頼してください

※ハイビームヘッドライト

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

※ヘッドライト電球

知識

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet が付いていたり、水がたまっていたりしている場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

※ロービームヘッドライト

⚠ 注意

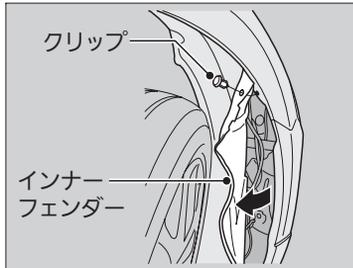
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。

不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

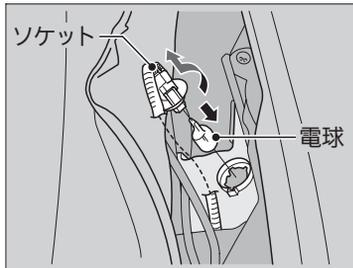
前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

前面方向指示器/前面非常点滅表示灯: 12V-21W (橙色)



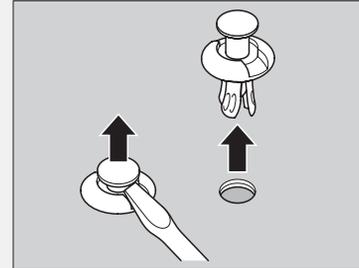
1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱい切る。
2. クリップを抜き、インナーフェンダーをめくる。



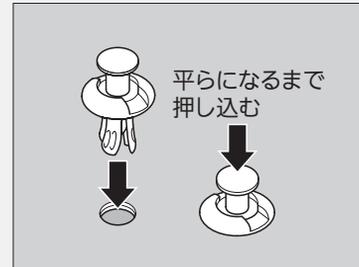
3. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
4. 新しい電球を差し込む。

▶▶ 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



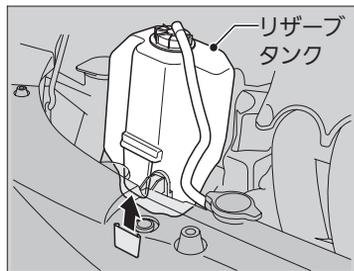
クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。



車幅灯電球

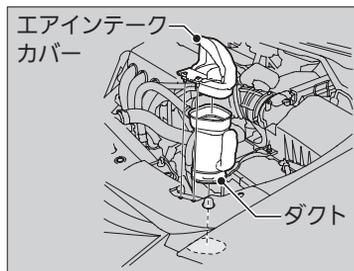
交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

車幅灯: 12V-5W



右側車幅灯

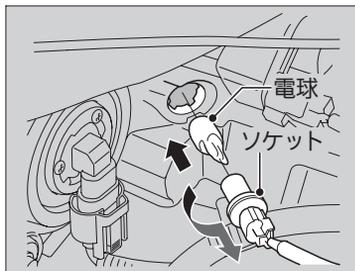
1. エンジン冷却水リザーブタンクを取り外す。



左側車幅灯

1. クリップのロックを解除して、エアインテークカバーおよびダクトを取り外す。

☑クリップの取り外し、取り付け P.189

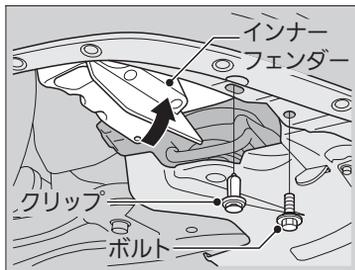
**右側・左側車幅灯**

2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

フォグライト電球*

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

フォグライト：12V-55W

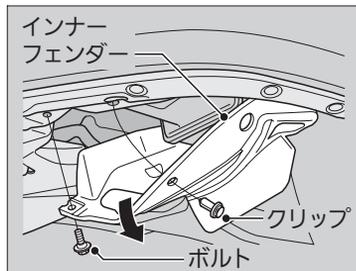
**右側フォグライト**

1. クリップとボルトを外し、インナーフェンダーを上押し込む。

※フォグライト電球

フォグライトはハロゲン球です。

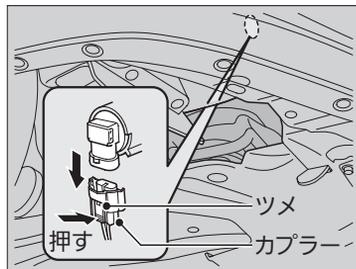
扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。



左側フォグライト

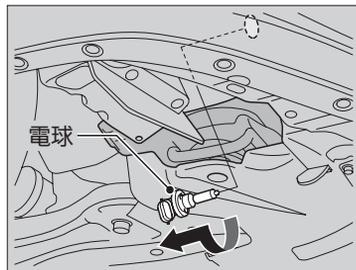
1. クリップとボルトを外し、インナーフェンダーを下にめくる。

❏ クリップの取り外し、取り付け P.191



右側・左側フォグライト

2. カプラーを外す。
▶ カプラーはツメを押しながら外します。



3. 古い電球を左に回して抜き取る。
4. 新しい電球を右に回して固定する。
5. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

❏ フォグライト電球

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

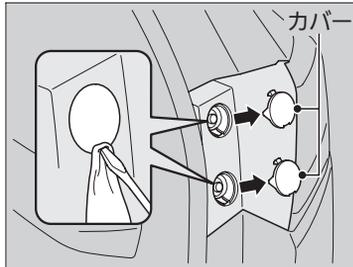
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

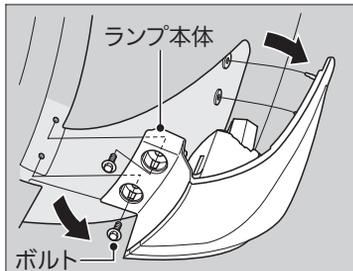
制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

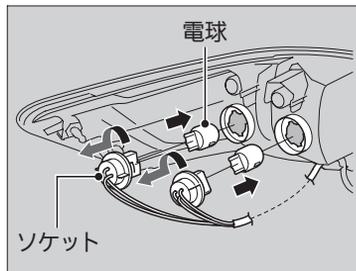
制動灯/尾灯	: 12V-21/5W
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	: 12V-21W (橙色)



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ボルトを外し、ランプ本体を車両の外側にずらすようにして取り外す。



3. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
4. 新しい電球を差し込む。

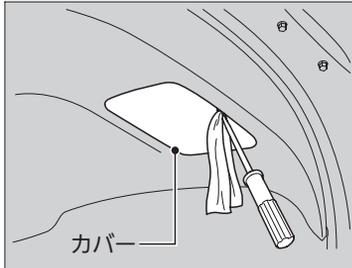
ハイマウントストップランプ電球

ハイマウントストップランプはLEDを使用しています。電球の点検、交換はHonda 販売店に依頼してください。

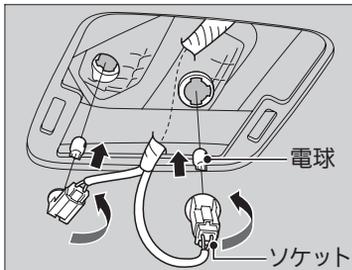
尾灯、後退灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

尾灯	:12V-5W
後退灯	:12V-16W



1. テールゲート内側にあるカバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。
▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

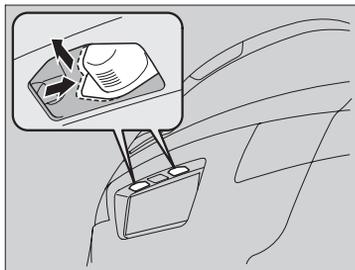


2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

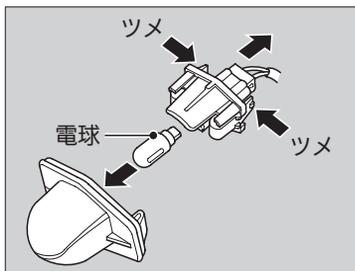
番号灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

番号灯: 12V-5W



1. レンズの側面を押してランプ本体を外す。



2. ツメを押してカバーを外す。

3. 古い電球を抜き取る。

4. 新しい電球を差し込む。

その他の電球

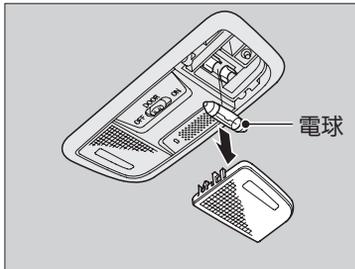
■ フロントシート室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

フロントシート室内灯: 12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

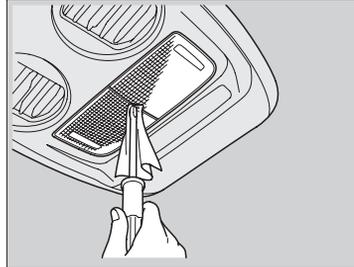


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

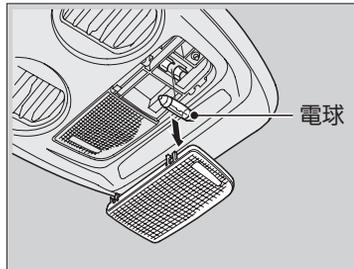
■ セカンドシート室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

セカンドシート室内灯: 12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

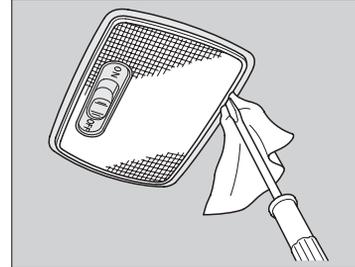


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

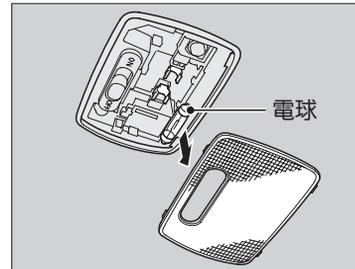
■ サードシート室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

サードシート室内灯: 12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

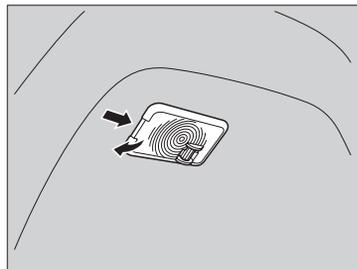


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

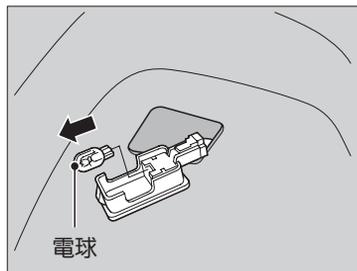
■ カーゴスペース照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

カーゴスペース照明灯: 12V-5W



1. ランプ本体の側面を押し、ランプ本体を外す。

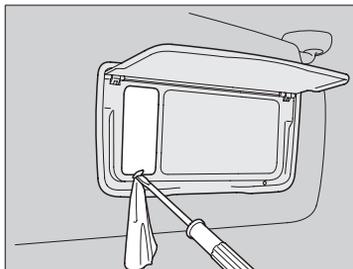


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

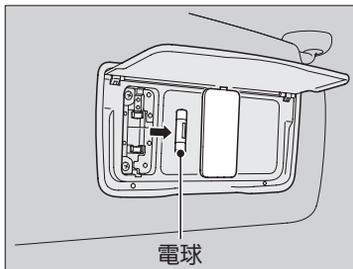
■ バニティミラー照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

バニティミラー照明灯: 12V-2W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

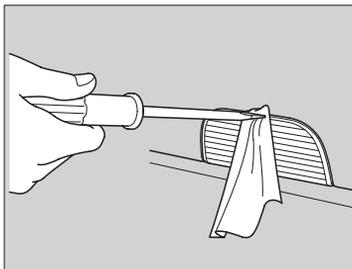


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

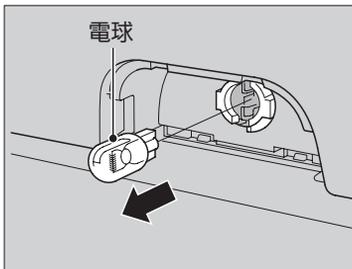
■ ドア開閉灯電球*

下記の電球をご使用ください。

ドア開閉灯: 12V-2CP(3.8W)



1. レンズの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

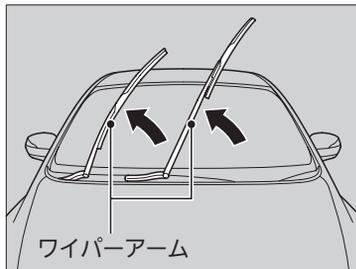


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

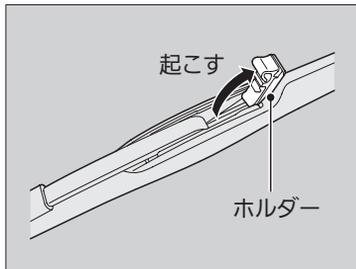
ワイパーブレードドラバーの点検

ワイパーブレードドラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

フロントワイパーブレードドラバーの交換



1. 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起こす。

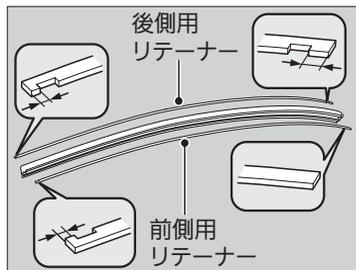
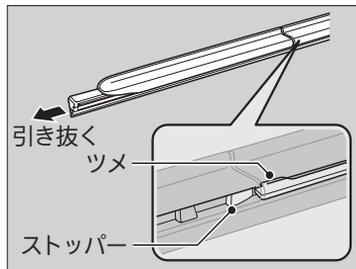
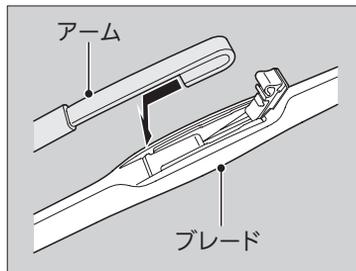


2. ホルダーを起こす。

» フロントワイパーブレードドラバーの交換

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。



3. ブレードをスライドさせ、ワイパーアームから取り外す。

4. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。

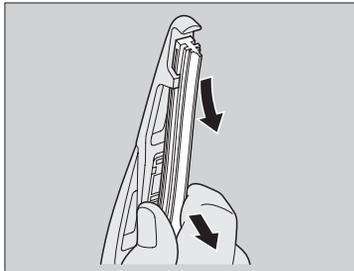
5. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。

6. ラバーをブレードの端から差し込む。
▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けてホルダーを閉じます。

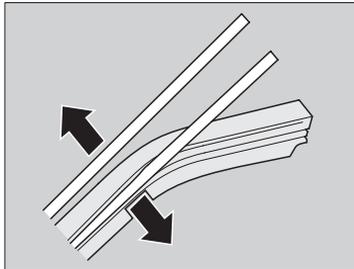
※ フロントワイパーブレードの交換

ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。

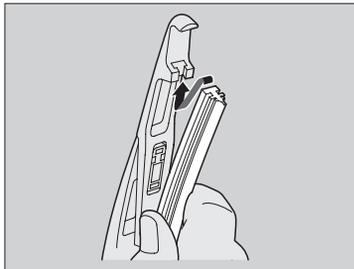
リヤワイパーブレードラバーの交換



1. ラバーを引いて先端部をブレードのツメから外す。
2. ラバーをブレードから引き抜く。



3. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける



4. ブレード中央部のツメからラバーを挿入し、ブレード両端のツメにラバーを通す。

タイヤの点検

■ タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。

安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

■ 日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
 - ▶ つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
 - ▶ 状況に応じて、タイヤを交換してください。

※ タイヤの点検について



警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

標準タイヤの仕様

Absolute

サイズ	225/45R18 91W
空気圧	230kPa[2.3kgf/cm ²]
リムサイズ	18×7 J

M,L,Li

サイズ	215/60R16 95H
空気圧	220kPa[2.2kgf/cm ²]
リムサイズ	16×6 1/2J (スチールホイール) 16×6 1/2J (アルミホイール)

■ 空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

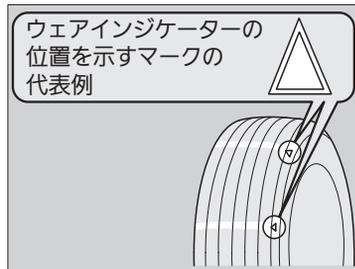
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

☞仕様 P.244、245

■ 損傷、異物、磨耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
 - ▶ 異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
 - ▶ 裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケータが同じ高さになっていないか？



ウェアインジケータ（摩耗限界表示）

ウェアインジケータはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mm浅くなっています。接地面が摩耗して、ウェアインジケータと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

☞タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。

必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。

この取扱説明書が手元がない場合は、車のラベルをご覧ください。

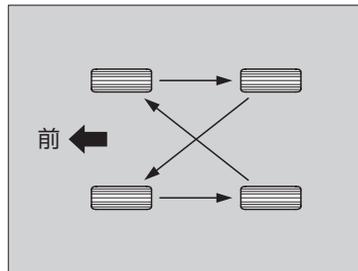
タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。

サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS、VSA*、4WD*、CMBS*、ACC/LKAS*などが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

タイヤのローテーション

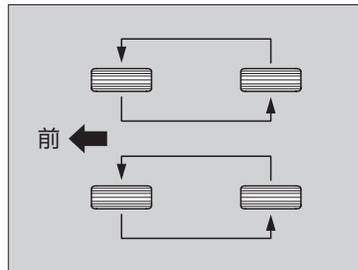
5,000km 走行したときタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■ 回転指示マークがないタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

■ 回転指示マークがあるタイヤの場合

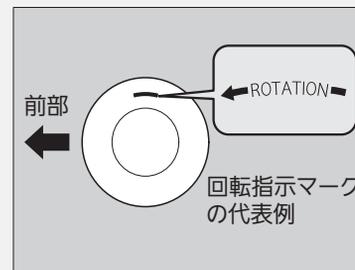


左図のように、タイヤをローテーションさせます。

※ タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、
タイヤ回転指示マークがあります。

下図のように回転指示マークが前へ向くように
取り付けてください。



冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。

また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。

装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

■ スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

■ タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

▶▶ 冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。

チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは、2WD車、4WD車ともに前輪に装着します。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。

なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

■ 取り扱いについて

キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキーの取扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い/低い場所に置かない
- 液体にひたさない

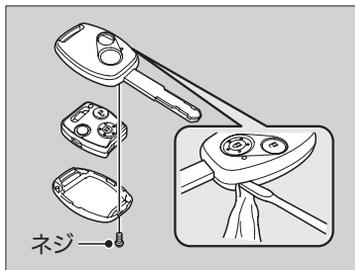
※ 取り扱いについて

キーレスエントリー一体キー/Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

■ 電池交換のしかた

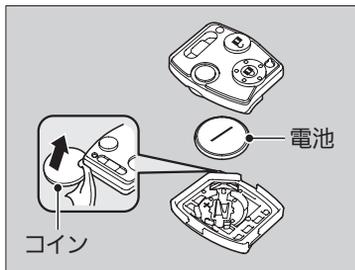
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

■ キーレスエントリー一体キー*



ボタン電池 CR1616

1. 発信器下部のネジを外し、カバーを開く。
 - ▶ カバーに傷が付かないように、マイナスドライバーに布などを巻いてカバーを取り外します。
2. ケースを開ける。
 - ▶ ケースに傷が付かないように、コインに布などを巻いてケースを開けます。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。
 - ▶ 交換後、もとのように組み立てネジをしっかり締めてください。



▶▶ 電池交換のしかた

アドバイス

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店ででの交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

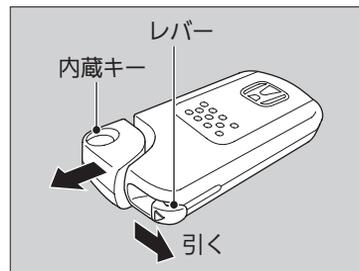
知識

電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

⚠ 注意

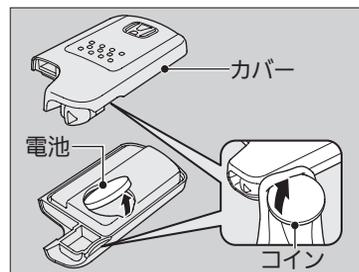
電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

■Honda スマートキー*



ボタン電池 CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。
2. カバーを外す。
▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。



日常のお手入れ

■ 走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

■ 洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。

以下の場合、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

車内の清掃

内装の清掃は、ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

■ シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

▶▶ 洗車について

凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

▶▶ 車内の清掃

室内に水をかけないでください。

オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。

故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。

ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。

固形タイプの芳香剤のご使用をおすすめします。

■ 本革*のお手入れ

本革シートなどは、ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませ汚れを落とします。その後、真水を含ませた柔らかい布で洗剤分を拭き取り、風通しをよくして乾燥させます。

■ 車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。

汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納する
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わない

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す
- ウィンドーまわりは、近づけすぎると室内に水が入ることがあるため、特に注意して行う
- エンジンルームには水をかけない

■ ワックスをかけるとき

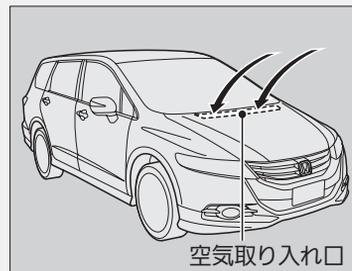
ワックスは、月に1回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

※ 本革のお手入れ

サイドエアバッグ装備車の助手席を湿った状態で使用すると、サイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないことがあります。よく乾かしてからお使いください。

※ 車外の清掃

故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。故障の原因になります。



※ ワックスをかけるとき

みがき粉（コンパウンド）入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

■ バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

■ ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■ はっ水ガラス* について

前席ウィンドー（ドアガラス）にはっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

■ アルミホイール* のお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

▶▶ バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda 販売店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

▶▶ ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

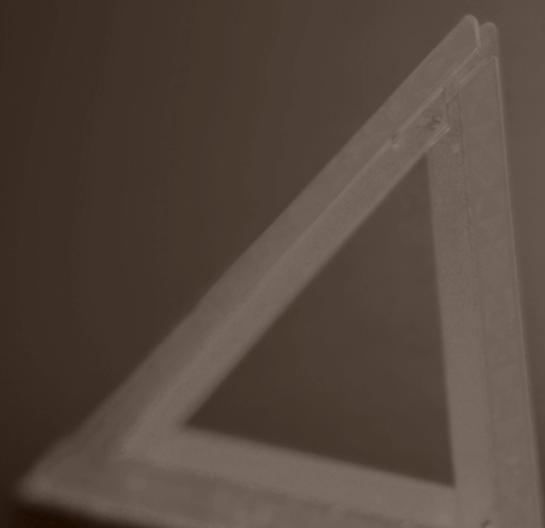
- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉（コンパウンド）入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない。
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす。

▶▶ アルミホイールのお手入れ

この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda 販売店にご相談ください。

万一の場合には

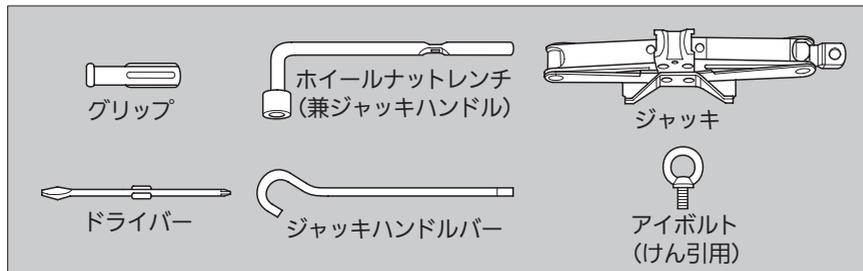
この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。



工具、発炎筒.....	215
パンクしたとき.....	216
ジャッキの取り扱い	
ジャッキのかけかた.....	223
エンジンが始動しない	
エンジンの状態の確認.....	225
内蔵キーの差し込みかた.....	226
ジャンプスタート.....	227
セレクタレバーが動かない.....	229
オーバーヒート.....	230
警告灯の点灯/点滅.....	231

ヒューズ	
ヒューズの設置場所.....	234
ヒューズの点検と交換.....	237
けん引.....	238
フューエルリッドが解錠できないとき.....	241
テールゲートが開かないとき.....	242

工具の種類



発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

工具の種類

■ジャッキのかけかた P.223

発炎筒



警告

ガソリンなどの燃えやすい物のそばで使わない。

火災や爆発のおそれがあります。



注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせてないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

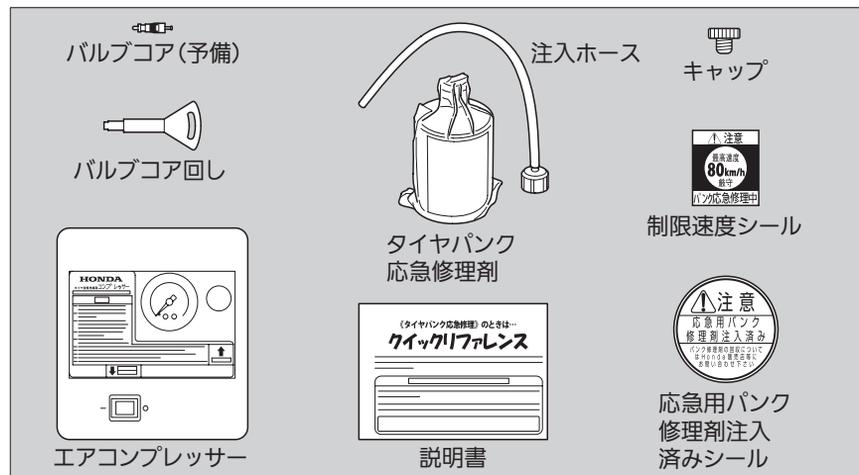
パンクしたタイヤの応急修理

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかりと握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理をします。

■ 走行中、パンクに気がついたときは

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. セレクトレバーを **P** に入れる。
3. パーキングブレーキをかける。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを **0** にする。

■ タイヤ修理の準備



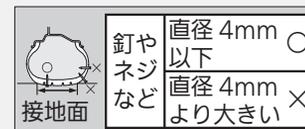
※ パンクしたタイヤの応急修理

以下のような場合、**タイヤパンク応急修理キット**は使用できません。Honda販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき (梱包のアルミ袋が破れている場合、有効期限は通常より最大2年短くなります)



- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 約4mm以上の切り傷や刺し傷によるパンクするとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき



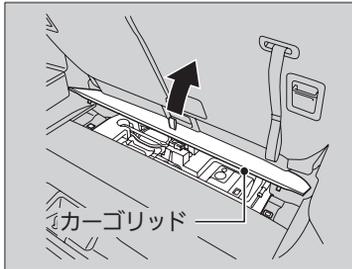
- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

アドバイス

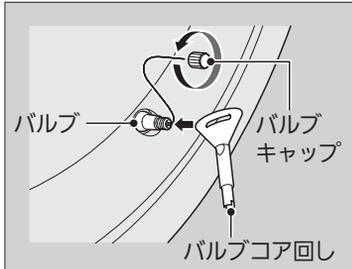
タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。

抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急修理が不可能になる場合があります。

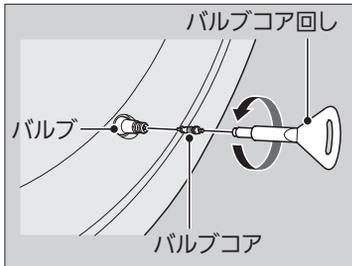
応急修理剤の注入



1. カーゴリッドを開けて、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。



2. バルブからバルブキャップを取り外す。
3. バルブコア回しの角をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。



4. バルブコア回しで、バルブコアを左に回して外す。
 - ▶ 外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。

応急修理剤の注入

知識

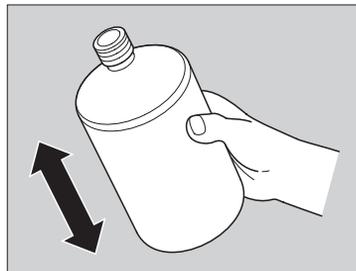
応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。

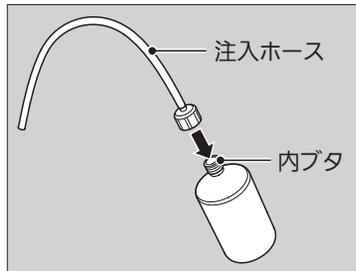
⚠ 注意

タイヤの空気は完全に抜く。

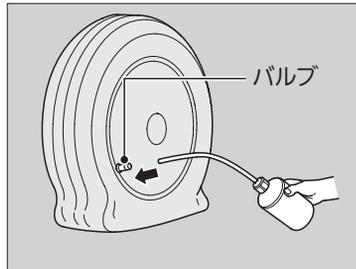
タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。



5. アルミ袋を破って、応急修理剤のボトルを取り出す。
6. 応急修理剤のボトルをよく振る。



7. 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態、ボトルに注入ホースを取り付ける。
▶ 注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。



8. 注入ホースをバルブに差し込む。

※応急修理剤の注入

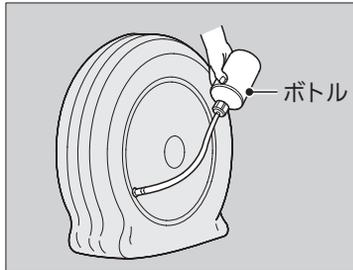
⚠ 注意

応急修理剤の取り扱いに注意する。

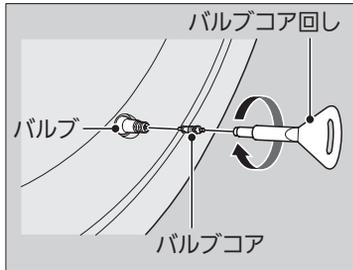
- 誤って飲用した場合は、できるだけたくさんのお水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり皮膚に付いた場合は、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。
- お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。

修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。

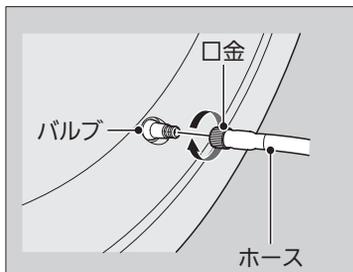


9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。
▶ 全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。
10. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。



11. バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで右に回し、しっかりねじ込む。

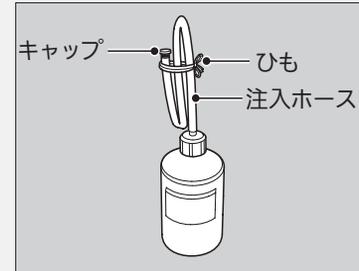
■ エアの注入



1. エアコンプレッサーを準備する。
2. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。

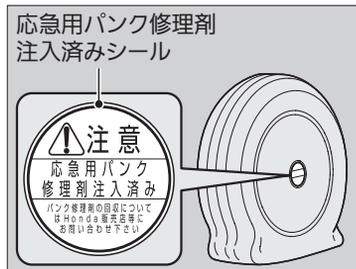
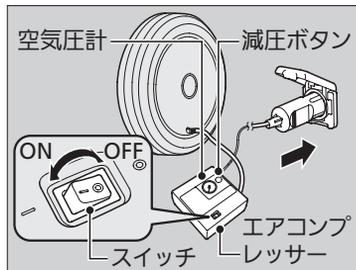
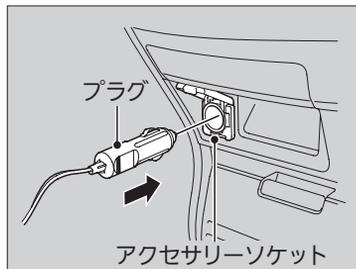
▶▶ 応急修理剤の注入

注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、キャップで注入ホースに栓をして、ひもなどで束ねてください。



注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。捨てずに、Honda販売店か専門修理工場までお持ちください。

万一の場合には



3. エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリソケットに差し込む。
4. エンジンスイッチを **1** にする。

5. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、指定の空気圧まで高める。

▶ **指定空気圧** P.244、245

- ▶ エアコンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を点検、調整します。
- ▶ 空気を入れすぎたときは、減圧ボタンを押して空気を抜きます。

6. エアコンプレッサーの電源を OFF にする。
7. 修理が完了したタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
 - ▶ タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。

▶ **エアの注入**

タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーの電源を OFF にしてください。

10分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。Honda販売店やロードサービスに連絡してください。

知識

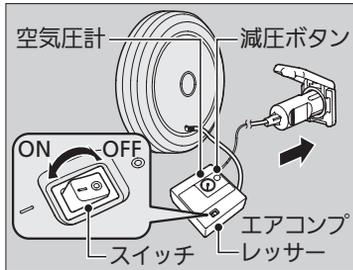
備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。お取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

■点検走行

応急修理剤および空気の注入後も、しばらくの間はパンク穴から空気が漏れていきます。法定速度を守って注意深く運転しながら空気圧を点検し、応急修理を完了させます。

なお、応急修理は特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修したものです。応急修理完了後も慎重に運転し、できるだけ早く Honda 販売店または専門修理工場で、タイヤの修理、交換を行ってください。



1. 点検走行を開始する。
 - ▶ 法定速度を守ってください。高速道路では 80km/h 以下を厳守してください。
2. 10分または 5km 走行したあと安全な場所に車を停める。
3. エアコンプレッサーに付属の空気圧計で空気圧を点検する。
4. 空気圧が低下していたら、エアコンプレッサーを使って指定の空気圧まで高める。
5. さらに 10分または 5km 走行して、同様の点検を繰り返す。
 - ▶ 空気圧の低下が見られなければ、応急修理は完了です。
 - ▶ このときにタイヤの空気圧が指定空気圧より低下していた場合は、運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

▶▶点検走行

走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

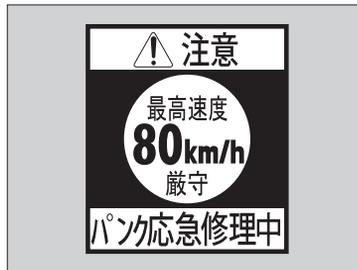
⚠注意

走行中異常を感じたら、ただちに運転を中止する。

応急修理剤での補修が不完全な場合、空気圧が低下して安定性を損なうおそれがあります。運転をやめ、Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

空気圧点検時は、最小空気圧に注意する。
 空気圧が最小空気圧*より低くなっていたら、応急修理剤では修理できません。Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

※最小空気圧 = 130kPa (1.3kgf/cm²)



6. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。

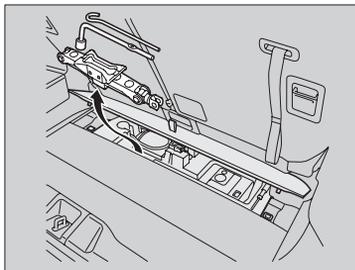
※点検走行

注意

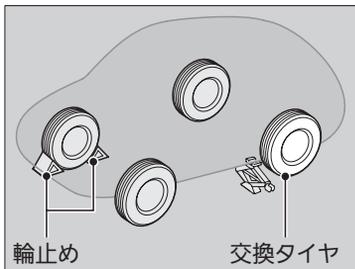
ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。

ジャッキのかけかた



1. カーゴリッドを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。
2. パーキングブレーキをかける。



3. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。
4. 交換するタイヤに最も近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

ジャッキのかけかた

警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。

車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

注意

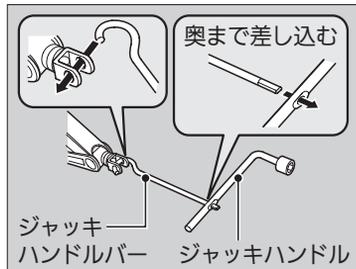
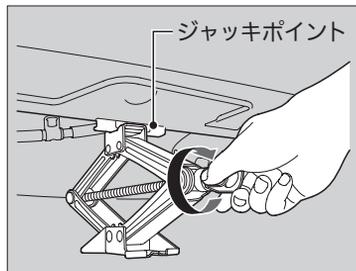
ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。

- エンジンかけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下に物を入れたりしない

知識

この車に搭載されているジャッキをお使いください。

他のジャッキでは支えられる重量（呼荷重）が不足したり、形状が合わないことがあります。

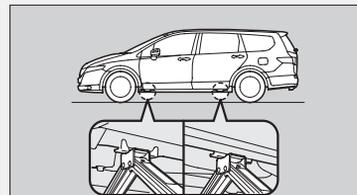


5. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を実印の方向に回す。
▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。

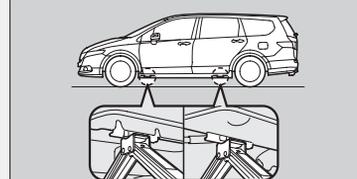
6. タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

※ ジャッキのかけかた

ジャッキをかける位置は、下記の通りです。



M、L、Li



Absolute

エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、エンジンスイッチを **III** にして、スターターの状態を確認してください。

▶ エンジンの状態の確認

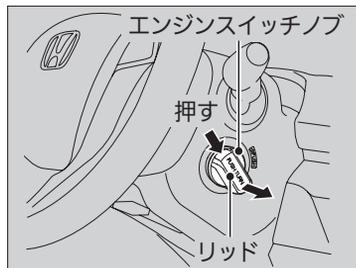
すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

▶ ジャンプスタートの方法 P.227

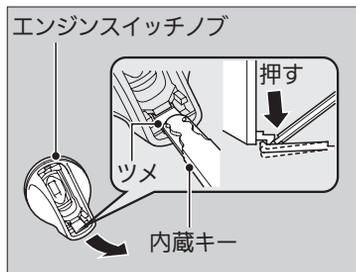
スターターの状態	確認項目
スターターが全く回らない! スターターの回転が非常に遅い! バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	室内灯などの明るさを確認する 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 <ul style="list-style-type: none">室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合室内灯などの明るさに問題がない場合 ▶ ヒューズの点検と交換 P.237
スターターは正常に回るが… ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	エンジン始動の手順を実行する もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。▶ エンジンの始動 P.152 イモビライザーシステム表示灯を確認する イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。▶ イモビライザーシステム P.91 燃料の量を点検する 燃料が入っているか確認してください。▶ 燃料計 P.61 ヒューズを点検する 全てのヒューズを確認してください。ヒューズに問題がない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。▶ ヒューズの点検と交換 P.237

内蔵キー*の差し込みかた

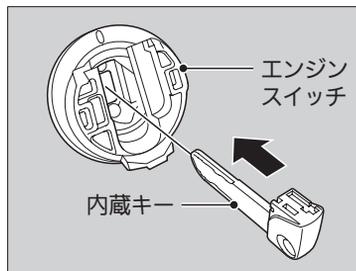
Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、内蔵キーを使ってください。



1. エンジンスイッチノブのリッドを外す。
▶ リッド上端を押しながらリッドを外します。



2. エンジンスイッチノブを外す。
▶ 内側のツメを、内蔵キーの先端で押して外します。



3. エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

ジャンプスタートの方法

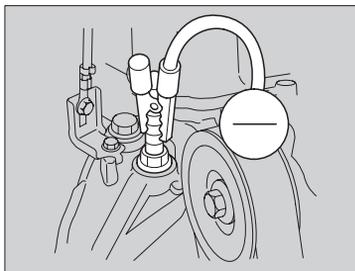
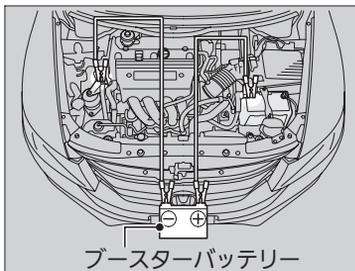
ジャンプスタートとは、他の車のバッテリーなどとブースターケーブルでつなぐことで電気を一時的に供給しエンジンをスタートさせる方法です。

処置のしかた

まず、ボンネットを開け、バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。

次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。

ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。



1. ブースターケーブルを、自車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
▶ 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
3. もう 1 本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの ⊖ 端子に接続する。
4. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
5. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
6. 自車のエンジンをかける。

※ジャンプスタートの方法



警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。

ジャンプスタートの操作を間違えると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

寒冷時は、バッテリーの性能が低下します。

エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

知識

気温が極端に低い場所にバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。バッテリー液が凍結したバッテリーでジャンプスタートすると、バッテリーが壊れることがあります。

■ エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
3. 自車のバッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

※ エンジン始動後の作業

ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。



警告

バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。

バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店でバッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。

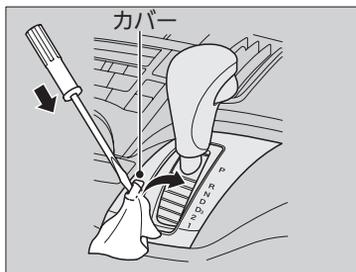
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

セレクトレバーが動かない

セレクトレバーが、**P**の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

■ ロックを解除する



1. パーキングブレーキをかける。
2. エンジンスイッチからキーを抜く。
 - ▶ Honda スマートキー装備車はエンジンスイッチを**0**（プッシュオフ)にします。
3. 細いマイナスドライバーの先端に布を巻き、シフトロック解除穴のカバーを外す。
 - ▶ マイナスドライバーの先端を、図のように切り欠きに入れて外します。
4. シフトロック解除穴にキーを差し込む。
 - ▶ Honda スマートキー装備車は内蔵キーを差し込みます。
5. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを**N**に入れる。
 - ▶ ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

オーバーヒートしたときの対処方法

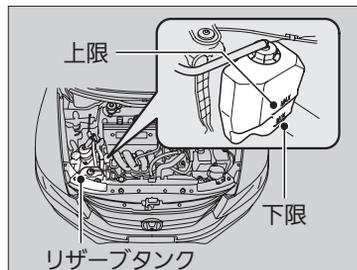
次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針が **H** の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

■最初にすること

1. ただちに車を安全な場所に停める。
 - ▶ セレクトレバーを **P** に入れ、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。
2. 蒸気が出ていない場合：エンジンをかけたままボンネットを開ける。
蒸気が出ている場合：エンジンを止め、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

■次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきからエンジンを止める。
 - ▶ 冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを止めます。
2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
 - ▶ 冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し水温計を確認する。水温計の針が下がった場合は、運転を再開します。下がらないときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

※オーバーヒートしたときの対処方法



オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。

ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。

冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス

水温計の針が **H** の目盛りまで上がった状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda販売店に修理を依頼してください。

油圧警告灯が点灯した



■点灯の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

■点灯したらすぐにとすること

1. ただちに車を安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■車を停車してからすること

1. エンジンを止め、1分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
 - ▶ 必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。
 - ▶ **消灯した**: 運転を再開してください。
 - ▶ **10秒以内に消灯しない**: エンジンを止めて、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

充電警告灯が点灯した



■点灯の理由

バッテリーが充電されていないと点灯します。

■点灯したらすること

電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

油圧警告灯が点灯した

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

充電警告灯が点灯した

アドバイス

一時的に停車する場合は、エンジンを止めないでください。エンジンを始動すると、バッテリーが急速に放電します。

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



■点灯 / 点滅の理由

エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■点灯したときは

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるまでお待ちください。

ブレーキ警告灯が点灯した



■点灯の理由

- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

※ PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

アドバイス

PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

※ ブレーキ警告灯が点灯した

ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS 警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

EPS 警告灯が点灯した



■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

»EPS警告灯が点灯した

アドバイス

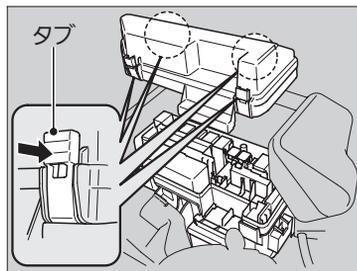
停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返すなどしてシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを **0** にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、3つのヒューズボックスに入っています。

■ ボンネット内のヒューズボックス

ボンネット内の助手席側に付いているエアクリーナーボックスの隣にあります。タブを押して開けてください。



■ 各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		バッテリー	120A
		助手席側ヒューズボックス	60A
2		EPS	70A
		助手席側ヒューズボックス	40A
		リヤファンモーター	30A
		ABS/VSA	40A
		ABS/VSA	30A
	—	—	—

	表示	装備	容量	
3		イグニッションメイン	50A	
	—	—	—	
		助手席側ライトメイン	50A	
		運転席側ヒューズボックス	60A	
		運転席側ライトメイン	40A	
		メインファン	30A	
		ワイパーモーター	30A	
		—	—	
	4		リヤデフロスター	30A
	5		サブファン	20A
6	—	—	—	
7	—	—	—	
8		ヒーターモーター	40A	
9		非常点滅表示灯	15A	
10		ホーン/制動灯	15A	
11		運転席 E-プリテンショナー	30A	
12		助手席 E-プリテンショナー	30A	
13		イグニッションコイル	15A	

※ヒューズの設置場所

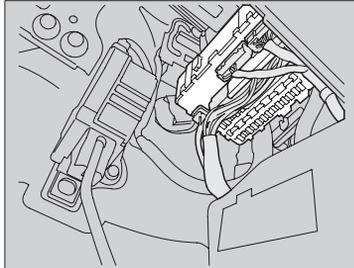
ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

	表示	装備	容量
14		PGM-FI サブ	15A
15		バックアップ	10A
16		室内灯	10A
17		PGM-FI メイン	15A
18		ドライブバイワイヤー	15A
19		フロントガラス熱線	15A
20		MG クラッチ	7.5A
21	—	—	—

■ 室内運転席側のヒューズボックス

アクセルペダルの上にあります。



■ 各ヒューズの装備と容量

表示	装備	容量
1	E-プリテンショナー	7.5A ^{※1}
2 —	—	—
3	ABS/VSA	7.5A
4	ワイパー	10A
5	乗員姿勢検知システム	7.5A
6	ウォッシャー	15A
7	オプション	7.5A
8 —	—	—
9	フューエルポンプ	20A
10	ECU	10A
11	メーター	7.5A
12	SRS エアバッグシステム	10A
13	発電機	15A

▶▶ ヒューズの設置場所

ヒューズボックスの下に、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

表示	装備	容量
14	運転席パワーシート 前後スライド/ 高さ調節 (前側)	20A ^{※2}
15 —	—	—
16	エアコン	7.5A
17	キーロック	7.5A
18	アクセサリ	7.5A
19	運転席パワーシート リクライニング/ 高さ調節 (後側)	20A ^{※2}
20	サンルーフ	20A
21 —	—	—
22	アクセサリソケット	20A
23	右側ドアロック	15A
24	運転席パワーウィンドー	20A
25	後席右側 パワーウィンドー	20A
26	右側フォグライト	10A ^{※3}

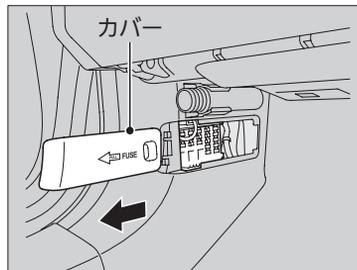
表示	装備	容量
27	右側ヘッドライト ハイビーム	10A
28	右側車幅灯 / 尾灯	10A
29 —	—	—
30	右側ヘッドライト ロービーム	15A
31 —	—	—

- ※1: ACC/LKAS 装備車
- ※2: パワーシート装備車
- ※3: フォグライト装備車

万
一
の
場
合
に
は

■ 室内助手席側のヒューズボックス

助手席の足元にあります。カバーを引いて開けてください。



☒ ヒューズの設置場所

ヒューズボックスのカバーに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

■ 各ヒューズの装備と容量

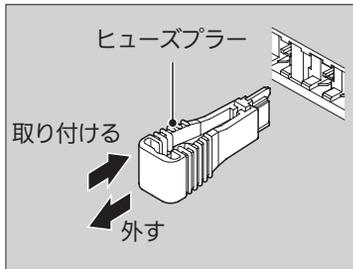
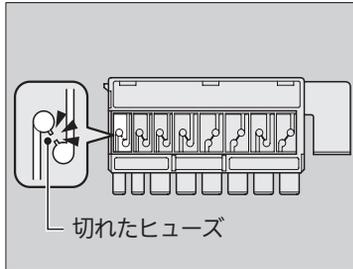
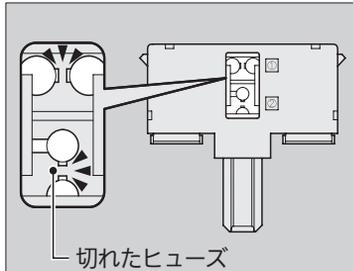
表示	装備	容量
1 	左側ヘッドライト ハイビーム	10A
2 	左側車幅灯 / 尾灯	10A
3 	オーディオ	10A
4 	左側ヘッドライト ロービーム	15A
5 	左側フォグライト	10A ^{※1}
6 	室内イルミネーション	10A
7 	左側ドアロック	15A
8	—	—
9	—	—
10 	—	—

表示	装備	容量
11 	後席左側 パワーウィンドー	20A
12	—	—
13 	助手席パワーウィンドー	20A
14 	—	—
15	オーディオアンプ	20A
16 	マルチビューモニター システム	7.5A
17 	Honda インターナビ システム	7.5A
18 	—	—
19 	シートヒーター	20A ^{※2}
20	—	—
21	—	—
22	—	—

※1: フォグライト装備車

※2: シートヒーター装備車

ヒューズの点検と交換



1. エンジンスイッチを **0** にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリを OFF にする。
2. ヒューズボックスのフタを取り外す。

3. エンジンルーム内の大きいヒューズを点検する。
 - ▶ 切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。

4. エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。
 - ▶ 切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

※ヒューズの点検と交換

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

規定容量はP.234～P.236の一覧で確認してください。

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。同じ規定容量のヒューズがない場合は、規定容量の小さいヒューズに交換してください。

交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、フタの裏にヒューズプラーがついています。

ヒューズプラーは、切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

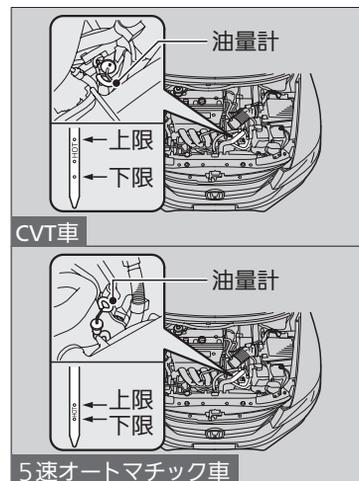
非常時のけん引

けん引は専門業者に依頼して2WD車は四輪または前輪、4WD車は四輪を持ち上げて行ってください。

■ やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。

1. トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。
 - ▶ 下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。



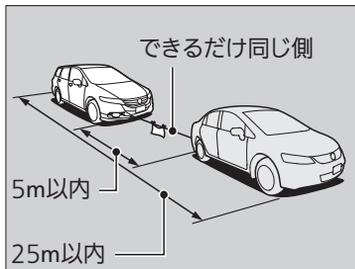
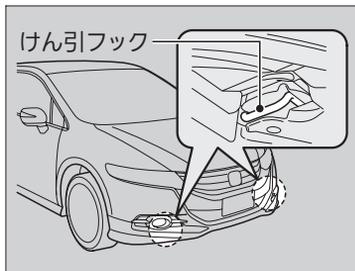
■ 非常時のけん引

アドバイス

車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、2WD車は四輪または前輪、4WD車は四輪を持ち上げてけん引してください。

ロープやチェーンなどを使ってけん引される場合は、車体に当たる部分に布を巻いてください。そのままけん引されると、車体に傷が付くことがあります。

バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。



2. ロープをけん引フックにかける。

3. ロープ中央部に白い布 (0.3m 平方以上) を付ける。

4. エンジンをかけてセレクトレバーを **[D]** にし、約 5 秒間保持する。

▶ エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを **[I]** または **[II]** にします。

5. セレクトレバーを **[N]** にする。

6. パーキングブレーキを解除する。

7. 速度 30km/h 以下、走行距離 80km 以内でけん引する。

▶ けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

※非常時のけん引

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。

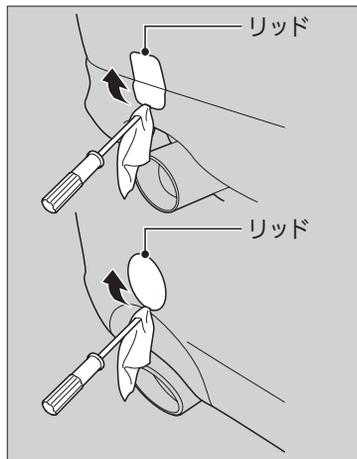
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる
- CVT車は、トランスミッションが破損するおそれがある

知識

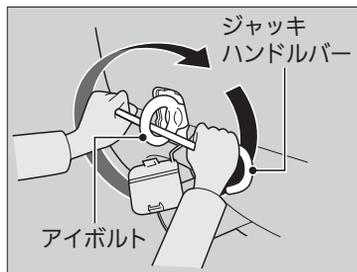
長い下り坂では、ブレーキの温度が上がってブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

■ やむをえず他車をけん引する場合

やむをえず他車のけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



1. カーゴリッドを開け、ジャッキハンドルバー、マイナスドライバー、アイボルトを取り出す。
2. マイナスドライバーの先でリッドを開ける。
▶ バンパーが傷付かないよう、マイナスドライバーの先に布などを巻き付けてください。



3. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。

※ やむをえず他車をけん引する場合

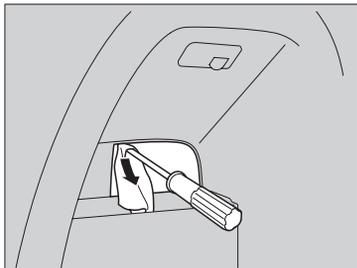
アイボルト以外のところにロープをかけないでください。

車体が破損、変形する場合があります。

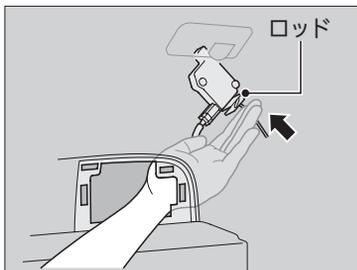
自車より重い車のけん引は避けてください。

■ 解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. カーゴスペース照明灯の下にあるリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
 - ▶ リッドが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. アクチュエーターのロッドを後方に引く。
 - ▶ ロッドを引くと解錠し、元の位置に戻すと施錠します。

▶▶ 解錠できないときの対処方法

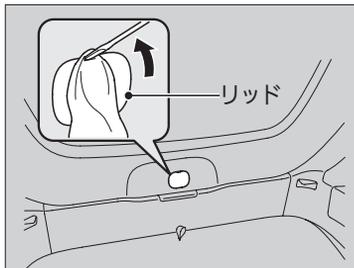
アドバイス

応急処置後は、Honda販売店で点検を受けてください。

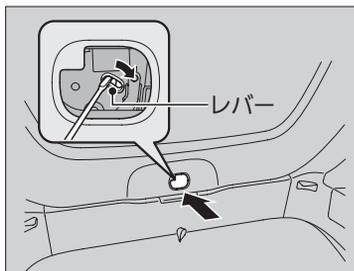
テールゲートが開かないとき

開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ リッドが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ドライバーを使ってレバーを右に動かしたままの状態、テールゲートを押し開ける。

開かないときの対処方法

アドバイス

応急処置後は、Honda販売店で点検を受けてください。

注意

テールゲートを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。

人やものにぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。

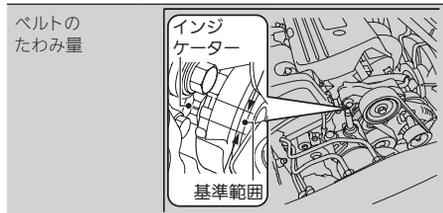
仕様: Absolute	244
仕様: M/L/Li	245

仕様：Absolute

■仕様

名称	オデッセイ
排気量	2,354 cm ³
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	7名

■調整



点火プラグ	NGK	ILZKR7B-11S
	DENSO	SXU22HCR11S
電極のすき間	基準値	1.0-1.1mm
ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	96.9mm以上 (約196N (20kgf) の力)
	カーペットとのすき間 (参考値)	79.3mm以上 (約196N (20kgf) の力)
パーキングブレーキ	踏みしろ	5~6ノッチ ^{※1} 6~7ノッチ ^{※2} (約294N (30kgf) の力)
燃料種類	無鉛プレミアムガソリン	
燃料タンク容量	60ℓ	

※1：2WD車
※2：4WD車

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

■バッテリー

容量/タイプ	36AH (5) /55B24L
--------	------------------

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5ℓ
-------	------

■電球

ヘッドライト (ロービーム)	12V-35W ^{※3}
ヘッドライト (ハイビーム)	12V-60W ^{※4}
フォグライト	12V-55W ^{※4}
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W (橙色)
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	12V-21/5W
尾灯	12V-5W
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W (橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
カーゴスペース照明灯	12V-5W
フロントシート室内灯	12V-8W
セカンドシート室内灯	12V-8W
サードシート室内灯	12V-8W
パニティミラー照明灯	12V-2W
ドア開閉灯	12V-2CP (3.8W) ^{※5}

※3：ディスチャージヘッドライト

※4：ハロゲンバルブ

※5：CP…キャンドルパワー (光度の単位)

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSF-II
規定量	1.2ℓ (交換時)

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ブレーキフルードDOT3/DOT4	
-----	--------------------------	--

■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正	2.5ℓ (交換時) ^{※1}
	ウルトラATF-Z1	2.9ℓ (交換時) ^{※2}

■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM ^{※6}	API SM/GF4級 SAE 0W-20
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
規定量	オイル交換時	3.8ℓ
	オイル、オイルフィ ルター同時交換時	4.0ℓ

※6：0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラエクーラント	
規定濃度	50%	
規定量	6.6ℓ (交換時：リザーブタンク0.78ℓ含む)	

■タイヤ

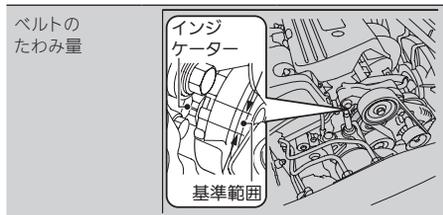
サイズ	225/45R18 91W	
空気圧	230 (2.3)	
kPa (kgf/cm ²)		
ホイールサイズ	アルミホイール	18×7 J ^{※1}

仕様：M/L/Li

■仕様

名称	オデッセイ
排気量	2,354 cm ³
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	7名

■調整



点火プラグ	NGK	DILZKR7A11GS
電極のすき間	基準値	1.0-1.1mm
ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	96.9mm以上 {約196N (20kg ϕ) の力}
	カーペットとのすき間 (参考値)	79.3mm以上 {約196N (20kg ϕ) の力}
パーキング ブレーキ	踏みしろ	5~6ノッチ ^{※1} 6~7ノッチ ^{※2} {約1294N (30kg ϕ) の力}
燃料種類	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	60 ℓ	

※1：2WD車
※2：4WD車

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。
交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

■バッテリー

容量/タイプ	36AH (5) /55B24L
--------	------------------

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5 ℓ
-------	------------

■電球

ヘッドライト (ロービーム)	12V-35W ^{※3}
ヘッドライト (ハイビーム)	12V-60W ^{※4}
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W (橙色)
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	12V-21/5W
尾灯	12V-5W
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W (橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
カーゴスペース照明灯	12V-5W
フロントシート室内灯	12V-8W
セカンドシート室内灯	12V-8W
サードシート室内灯	12V-8W
パニティミラー照明灯	12V-2W ^{※5}
ドア開閉灯	12V-2CP (3.8W) ^{※5, 6}

※3：ディスチャージヘッドライト
※4：ハロゲンバルブ
※5：L/Li
※6：CP…キャンドルパワー (光度の単位)

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSF-II
規定量	1.2 ℓ (交換時)

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ブレーキフルードDOT3/DOT4	
-----	--------------------------	--

■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正	2.5 ℓ (交換時) ^{※1}
	ウルトラATF-Z1 ^{※7}	2.9 ℓ (交換時) ^{※2}
	Honda純正	2.8 ℓ (交換時)
	ウルトラHMME ^{※8}	

※7：5AT車
※8：CVT車

■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM ^{※9}	API SM/GF4級 SAE 0W-20
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
規定量	オイル交換時	4.0 ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	4.2 ℓ

※9：0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラエクーラント	
規定濃度	50%	
規定量	6.6 ℓ ^{※7} (交換時：リザーブタンク0.78 ℓ 含む)	
	6.2 ℓ ^{※8} (交換時：リザーブタンク0.78 ℓ 含む)	

■タイヤ

サイズ	215/60R16 95H	
空気圧 kPa (kgf/cm ²)	220 (2.2)	
ホイールサイズ	スチールホイール	16×6 1/2JJ ^{※10}
	アルミホイール	16×6 1/2J

※10：M

数字

4WD (四輪駆動機構) 168

A

ABS (アンチロックブレーキシステム) 171

ABS警告灯 56,171

ACC (アダプティブクルーズコントロール)

警告灯 55

A/C (エアコン) 130

AT (オートマチック

トランスミッション) 155

AVG (平均燃費表示) 64

AV入力端子 126

C

CMBS (追突軽減ブレーキ) 173

CMBS警告灯 57

CRUISE CONTROL

(クルーズコントロール) 164

D

DUAL (デュアル) モード 135

E

ECONスイッチ 107

ETC車載器 128

EPS警告灯 57,233

H

Hondaインターナビシステム 別冊

Hondaスマートキー 76,78

Hondaスマートキーシステム警告灯 54

Hondaスマートキー電池消耗警告 100

Hondaスマートキー持ち去り警告 99

エンジンスイッチ 98

電池交換のしかた 210

I

ISOFIX 43

L

LKAS (レーンキープアシストシステム)

警告灯 7,55

M

MIST 103

M (シークンシャルモード) 表示灯 157

P

PGM-FI警告灯 53,232

R

RANGE (航続可能距離表示) 64

S

SEL/RESETスイッチ 65

SRSエアバッグ 29

エアバッグシステム警告灯 56

T

TRIP/RESETスイッチ 62

U

USB端子 127

V

VSA (ピークルスタビリティアシスト) 167

VSA警告灯 56,167

VSA OFF警告灯 57,168

W

W (ワット) 数 244,245

ア

アイボルト 215,240

アクアクリーンミラー 109

アクセサリー 182

アクセサリーソケット 125,220

安全に関する表示 17

安全のための確認事項 21

アンチロックブレーキシステム (ABS) 171

ABS警告灯 56,171

イ

一酸化炭素の危険性	51
イモビライザーシステム	91
イモビライザーシステム表示灯	59
イルミネーションコントロールスイッチ	105
インフォメーションスイッチ	65
インフォメーションディスプレイ	62

ウ

ウィンカースイッチ (方向指示器)	100
ウィンドーの開閉	93
ウィンドウォッシャー	
ウィンドウォッシャースイッチ	103
ウィンドウォッシャー液の補給	188
ウェアインジケータ	205

運

エンジンの始動	152
シフト操作	156,160,162
ブレーキ操作	169
クルーズコントロール	164

エ

エアコン	130
エアクリンフィルター	131
エアコンの使いかた	132
窓の曇りや霜の取りかた	134
モード切り換えスイッチ	132,133

エアバッグ	29
SRSエアバッグ	29
エアバッグシステム警告灯/表示灯	37
エアバッグシステム故障診断記録装置	17

エアバッグのお手入れ	39
サイドエアバッグ	32
サイドエアバッグ自動停止システム	34
サイドカーテンエアバッグ	35
エンジンオイル	188
推奨エンジンオイル	188,244,245
油圧警告灯	53,231
エンジンスイッチ	97,98
エンジンスイッチ警告ブザー	99
エンジンの始動	152
エンジンが始動しない	225
ジャンプスタート	227
エンジン冷却水	244,245

オ

追越合図 (パッシング)	101
応急修理剤 (タイヤパンク)	216
オーディオ装置	144
オートライトコントロール警告灯	57
オーバーヒート	230
オドメーター	63,66
温度センサー	63

カ

外気温表示	63,66
鍵 (かぎ)	76
カスタマイズ機能	68
ガソリン	179,244,245
カップホルダー	123

キ**キー**

Hondaスマートキー	76
キーが 0 から 1 に回らない	15
キーが 1 から 0 に回らない	15
キー閉じ込み防止装置	82
キーナンバータグ	77
キーの種類と機能	76
キーレスエントリー	76,79
キーレスエントリー一体キー	76
キーレスエントリーでドアが開かない	16
後席ドアが開かない	15
電池交換のしかた	208
内蔵キー	77,226
キー閉じ込み防止装置	82
キーナンバータグ	77
キーレスエントリー	76,79
電池交換のしかた	208
キックダウン	155
給油	179
給油のしかた	179
指定燃料	179,244,245
燃料計	61
燃料残量警告灯	55

ク

空気圧	204,244,245
グラブレード	5
クリーブ現象	155
グリップ	215
クルーズコントロール	164
クルーズコントロール表示灯	60
クルーズメイン表示灯	60
車の改造	182
グローブボックス	122

ケ

経過時間表示	67
計器	52
警告灯	53
ABS警告灯	56
ACC警告灯	55
CMBS警告灯	57
EPS警告灯	57,233
Hondaスマートキーシステム警告灯	54
LKAS警告灯	55
PGM-FI警告灯	53,232
VSA警告灯	56
VSA OFF警告灯	57
エアバッグシステム警告灯	56
オートライトコントロール警告灯	57
シートベルト非着用警告灯	54
充電警告灯	54,231
ドア/テールゲート開閉警告灯	21,57
トランスミッション警告灯	54
燃料残量警告灯	55

ブレーキ警告灯	53,232
油圧警告灯	53,231
けん引	238

コ

コートフック	122
交換	
カーゴスペース照明灯電球	200
後退灯電球	197
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯電球	195
サードシート室内灯電球	199
車幅灯電球	192
制動灯/尾灯電球	195
セカンドシート室内灯電球	199
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯電球	191
側面方向指示器電球 側面非常点滅表示灯電球	195
ドア開閉灯電球	200
ハイマウントストップランプ電球	196
パニティミラー照明灯電球	200
番号灯電球	198
尾灯電球	197
フォグライト電球	193
フロントシート室内灯電球	199
ヘッドライト電球	189
ワイパーブレードドラバー	201
工具	215
後席用オートエアコン	136

後席用クーラー	138
航続可能距離表示	64,67

サ

サービス診断記録装置	17
データの開示について	18
サイドエアバッグ	32
サイドエアバッグ自動停止表示灯	38,58
サイドエアバッグ自動停止システム	34
サイドカーテンエアバッグ	35
サンバイザー	5

シ

シーケンシャルモード	158
シフトインジケーター/ M (シーケンシャルモード) 表示灯	157
シートの調節	110
アームレスト	119
サードシート	116
セカンドシート	113
フロントシート	110
ヘッドレスト	118
シートヒーター	128

シートベルト.....22	ス	ソ
E-プリテンショナー.....24	水温計.....61	側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯電球.....195
シートベルトの着用.....24	スイッチ操作	タ
シートベルトの点検.....28	ECONスイッチ.....107	タイヤ.....204
シートベルト非着用警告灯.....23	イルミネーションコントロールスイッチ.....105	ウェアインジケータ.....205
シートベルトプリテンショナー.....23	エンジンスイッチ.....97,98	指定空気圧.....204,244,245
シートベルトリマインダー.....23	フォグライトスイッチ.....102	タイヤの点検.....204
妊娠中のかたのシートベルトの 着用のしかた.....27	フロントガラス熱線スイッチ.....106	タイヤのローテーション.....206
時刻の設定.....75	方向指示器(ウィンカースイッチ).....100	タイヤパンク応急修理キット.....216
室内装備品.....122	ライトスイッチ.....101	冬期のタイヤ.....207
室内灯.....120	リヤデフロスタースイッチ.....106	パンク.....216
シフトインジケータ.....157	ワイパー/ウォッシャー.....103	タイヤチェーン.....207
シフトスイッチ.....158	ステアリング.....107	タコメータ.....61
シフト操作.....156,160,162	スノータイヤ.....207	チ
ジャッキ.....215,223	スパークプラグ.....244,245	チェーン.....207
ジャッキハンドル	スピードメータ.....61	チャイルドシート.....40
(ホイールナットレンチ).....215,224	セ	ジュニアシート.....50
ジャッキハンドルバー.....215,224	清掃.....211	乳児のチャイルドシート.....41
車外の清掃.....212	制動灯.....195	幼児のチャイルドシート.....42
車内の清掃.....211	セキュリティシステム.....91	チャイルドブルーフ.....84
車幅灯.....192	イモビライザーシステム.....91	駐停車操作.....177
車両限定型ISOFIXチャイルドシート.....44	セキュリティアラームシステム.....91	ツ
ジャンプスタート.....227	セレクトポジション.....156,160,162	追突軽減ブレーキ(CMBS).....173
充電警告灯.....54,231	セレクトポジション表示灯.....157,161,163	CMBS警告灯.....57
瞬間燃費表示.....64,67	セレクトレバー	
仕様.....244,245	セレクトレバーが動かない.....229	
ショルダーアンカー.....25	セレクトレバーの操作.....156,160,162	

テ

デフロスター	134
リヤデフロスタースイッチ	106
テールゲートの開閉	9,89
ドア/テールゲート開閉警告灯	21,57
テールゲートが開かないとき	242
デュアルポジションカーゴボード	129
点火プラグ	244,245
電子制御ブレーキアシスト	172
電池交換	208

ト

ドアの施錠と解錠	76
Hondaスマートキー	76
キー閉じ込み防止装置	82
キーナンバータグ	77
キーの種類と機能	76
キーレスエントリー	79
キーレスエントリー一体キー	76
キーレスエントリーでドアが開かない	16
後席ドアが開かない	15
車外でのドアの施錠/解錠	79
車内での施錠/解錠	83
チャイルドプルーフ	84
ドア/テールゲート開閉警告灯	21,57
ドアミラー	108
冬期のタイヤ	207
スノータイヤ	207
タイヤチェーン	207
時計	75
トップテザーアンカレッジ	48

トップテザーストラップ	48
ドライバー	215
トラブルシューティング	
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	16
エンジンが始動しない	225
オーバーヒートした	230
キーが 0 から 1 に回らない	15
キーが 1 から 0 に回らない	15
キーレスエントリーでドアが開かない	16
警告灯が点灯/点滅した	231
けん引してもらいたい	238
後席ドアが開かない	15
ジャンプスタートしたい	227
セレクトレバーが動かない	229
走行するとブザーが鳴る	16
ハイオクガソリンは使える?	16
パンクした	216
ヒューズが切れた	234
ブレーキを踏むと音がする	16
ブレーキを踏むと振動する	15
レギュラーガソリンは使える?	16
トランスミッション警告灯	54
トランスミッションフルード	244,245
トリップメーター	62,63

ナ

内蔵キー	77,226
------	--------

ネ

燃料	179,244,245
燃料計	61

燃料残量警告灯	55
---------	----

ハ

パーキングブレーキ	169
排気ガスの危険性	51
灰皿	124
ハイビーム	101
電球の交換	189
ハイビーム表示灯	7,58
ハイマウントストップランプ	196
ハザードスイッチ	表紙ウラ
発炎筒	215
パッシング	101
バッテリー	
ジャンプスタート	227
充電警告灯	54,231
容量	244,245
パニティミラー	5
パワーウィンドーの開閉	93
パンク	216
ハンドル	107
ハンドル位置調節レバー	107
ハンドルロック	97,98

ヒ

ヒータードアミラー	109
非常点滅表示灯スイッチ	表紙ウラ
尾灯	197
ヒューズ	234
ヒューズの設置場所	234,235,236
ヒューズの点検と交換	237
表示灯	58
ACC表示灯	60
LKAS表示灯	60
ECON表示灯	60
イモビライザーシステム表示灯	59
クルーズコントロール表示灯	60
クルーズメイン表示灯	60
サイドエアバッグ自動停止表示灯	58
シフトインジケーター/ M(シーケンシャルモード)表示灯	157
セキュリティアラームシステム 作動表示灯	60
セレクトポジション表示灯	157,161,163
ハイビーム表示灯	58
フォグライト点灯表示灯	58
方向指示器表示灯	58
ライト点灯表示灯	58

フ

ブースターケーブル	227
フォグライト	
電球の交換	193
フォグライトスイッチ	102
フォグライト点灯表示灯	58

ブザー

運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	16
走行するとブザーが鳴る	16
フューエルリッドが解錠できないとき	241
フューエルリッドの開けかた	179
ブレーキシステム	169
ABS(アンチロックブレーキシステム)	171
CMBS(追突軽減ブレーキ)	173
電子制御ブレーキアシスト	172
パーキングブレーキ	169
フットブレーキ	170
ブレーキ警告灯	53,232
ブレーキを踏むと音がする	16
ブレーキを踏むと振動する	15
ブレーキフルード	244,245
ブレーキ警告灯	53,232
フロントガラス熱線スイッチ	106
フロントシート	110
フロントシートアームレスト	119
フロントシートヘッドレスト	110,111,118
フロントマニュアルシート	110
フロントパワーシート	111

へ

平均車速表示	67
平均燃費表示	64,67
ヘッドライト	101
追越合図(パッシング)	101
電球の交換(ハイビーム)	189
電球の交換(ロービーム)	190
ハイビーム	101

ハイビーム表示灯	58
ライト点灯表示灯	58
ロービーム	101
ヘッドレスト	
フロントシート	110,111,118
セカンドシート	113,118
サードシート	118

ホ

ホーンスイッチ	1
ホイールサイズ	204,244,245
ホイールナットレンチ (ジャッキハンドル)	215,224
方向指示器(ウィンカースイッチ)	100
方向指示器表示灯	58
ボンネット内のメンテナンス	186
ウィンドウォッシャー液の補給	188
推奨エンジンオイル	188,244,245
ボンネット内のメンテナンス項目	186
ボンネットを開ける	187
冷却水の点検と補給	230

マ

マスタードアロックスイッチ	82,83,179
マルチインフォメーションディスプレイ	65

ミ

ミラー	108
ドアミラー	108
パニティミラー	5
ルームミラー	108

メ

メーター	7,61
インフォメーションディスプレイ	62
水温計	61
スピードメーター	61
タコメーター	61
燃料計	61
マルチインフォメーションディスプレイ	65
メンテナンス	183
キーレスエントリー一体キー/ Hondaスマートキー	208
清掃	211
タイヤの点検と整備	204
ボンネット内のメンテナンス	186
メンテナンスに関する注意事項	185
メンテナンスを安全に行うために	185
ライト類の点検と整備	189
ワイパーブレードラバーの点検と整備	201

モ

モード切り換え (エアコン)	132,133
----------------	---------

ユ

油圧警告灯	53,231
有料道路自動料金支払いシステム (ETC) 車載器	128

ヨ

四輪駆動機構 (4WD)	168
--------------	-----

ラ

ライトスイッチ	101
追越合図 (パッシング)	101
ハイビーム	101
ハイビーム表示灯	58
ライト点灯表示灯	58
ロービーム	101
ライト類の点検と整備	189
カーゴスペース照明灯電球	200
後退灯電球	197
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯電球	195
サードシート室内灯電球	199
車幅灯電球	192
制動灯/尾灯電球	195
セカンドシート室内灯電球	199
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯電球	191
側面方向指示器電球 側面非常点滅表示灯電球	195
ドア開閉灯電球	200
ハイマウントストップランプ電球	196
パニティミラー照明灯電球	200
番号灯電球	198
尾灯電球	197
フォグライト電球	193
フロントシート室内灯電球	199
ヘッドライト電球	189
ラジエーター	230

リ

リザーブタンク	230
リヤカメラシステム	145
リヤデフロスタースイッチ	106

ル

ルームミラー	108
--------	-----

レ

冷却水	230
オーバーヒート	230
水温計	61
補給	230

ロ

ロービーム	101
電球の交換	190
ロアアンカレッジ	47

ワ

ワイパー/ウォッシャー	103
ワイパーブレードラバー	201

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>
(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※: QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010 イイフレイオ

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名



HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。

最新のHonda販売店情報は、携帯電話からも検索できます。
(検索方法は巻末をご覧ください)

Honda ホーム
ページにある
検索ボックス
に入力してく
ださい。

<http://www.honda.co.jp/manual/>

クルマ、およびインターネットナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。

30SLE610
00X30-SLE-6104

©2009 本田技研工業株式会社
Y N 4000.2011.02.A